# 平成 29 年度

# 東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部

# 目次


哲学Ⅰ……6
哲学Ⅱ……8
倫理学Ⅰ……10
倫理学Ⅱ……12
心理学Ⅰ……14
心理学Ⅱ……16
宗教学Ⅰ……18
宗教学Ⅱ……20
芸術Ⅰ……22
芸術Ⅱ……24
歴史学AⅠ……26
歴史学AⅡ……28
歴史学BⅠ……30
歴史学BⅡ……32
科学史Ⅰ……34
科学史Ⅱ……36
文学AⅠ……38
文学AⅡ……41
文学BⅠ……43
文学BⅡ……46
法学Ⅰ……48
法学Ⅰ（憲法）……50
法学Ⅱ……52
政治学Ⅰ……54
政治学Ⅱ……56
経済学Ⅰ……58
経済学Ⅱ……60
社会学AⅡ……62
社会思想史Ⅰ……64
社会思想史Ⅱ……66
文化人類学Ⅰ……68
文化人類学Ⅱ……70
社会科学特論Ⅰ……72
社会科学特論Ⅱ……74
Japanese Culture and Society Ⅰ……76
Japanese Culture and Society Ⅱ……79
Japanese Culture and Society Ⅱ……81
グローバル教養科目・Linguistics……83
グローバル教養科目・Japanese as a Foreign Language……85
グローバル教養科目・United States Foreign Policy……87
グローバル教養科目・American Politics & Government……89
グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences……91
グローバル教養科目・Science and Technology in Society……93
物理学入門……95
生物学入門……96
化学入門……98
数学ⅠM……100
数学ⅠD……102
数学ⅠT……104

物理学ⅠM.....106
物理学ⅠD・T.....108
数学Ⅱ（α）.....110
数学Ⅱ（β）.....112
数学Ⅱ（γ）.....114
数学Ⅱ（δ）.....116
物理学ⅡM.....118
物理学ⅡD・T.....120
統計学（α）.....122
統計学（β）.....124
化学（一般化学）M.....126
化学（一般化学）D.....129
化学（一般化学）T.....132
化学基礎(α).....135
化学基礎(β).....138
生物学（細胞・遺伝子）M.....140
生物学（細胞・遺伝子）DT.....142
生物学（構造・機能）M.....144
生物学（構造・機能）DT.....146
細胞生物学基礎.....148
人体の生物学基礎.....150
英語.....152
英語a.....153
英語a.....155
英語a.....157
英語a.....159
英語a.....161
英語a.....163
英語a.....165
英語a.....167
英語a.....169
英語a.....171
英語a.....173
英語a.....175
英語a.....177
英語b.....179
英語b.....181
英語b.....183
英語b.....185
英語b.....187
英語b.....189
英語b.....191
英語b.....193
英語b.....195
英語b.....197
英語b.....199
英語c.....201
英語c.....203
英語c.....205
英語c.....207
英語c.....209

英語 c....211
英語 c....213
英語 c....215
英語 c....218
英語 c....220
英語 c....222
英語 c....224
英語 c....226
英語 d....228
英語 d....230
英語 d....232
英語 d....234
英語 d....236
英語 d....238
英語 d....240
英語 d....242
英語 d....244
英語 d....246
英語 d....248
日本語 a....250
日本語 b....251
日本語 c....252
日本語 d....253
ドイツ語....254
ドイツ語 a....255
ドイツ語 a....258
ドイツ語 a....261
ドイツ語 a....264
ドイツ語 a....268
ドイツ語 a....272
ドイツ語 b....275
ドイツ語 b....277
ドイツ語 b....279
ドイツ語 b....281
ドイツ語 b....283
ドイツ語 b....285
ドイツ語 c....287
ドイツ語 c....290
ドイツ語 c....293
ドイツ語 c....296
ドイツ語 c....299
ドイツ語 c....302
ドイツ語 d....305
ドイツ語 d....308
ドイツ語 d....311
ドイツ語 d....314
ドイツ語 d....317
ドイツ語 d....320
フランス語 a....322
フランス語 a....325
フランス語 b....328

フランス語ｂ……331
フランス語ｃ……334
フランス語ｃ……336
フランス語ｄ……338
フランス語ｄ……341
フランス語ｄ……343
フランス語ｄ……346
中国語ａ……348
中国語ａ……350
中国語ｂ……352
中国語ｂ……354
中国語ｃ……356
中国語ｃ……358
中国語ｄ……360
中国語ｄ……362
スペイン語ａ……364
スペイン語ｂ……366
スペイン語ｃ……368
スペイン語ｄ……370
物理学実験……372
化学実験……375
生物学実験……378
サイエンス PBL 入門……381
科学基礎実験Ｔ……383
**科学基礎実験Ｎ･Ｏ･Ｋ**……386
科学基礎演習……389
情報科学Ｎ……391
情報科学Ｔ……393
情報科学Ｏ・Ｋ……395
情報処理(α)……398
情報処理(β)……401
スポーツ・健康科学……404
スポーツ・健康科学……406
フィットネスマネージメント……408
フィットネスマネージメント……411
フィットネスマネージメント……414
フィットネスマネージメント……417
**フィットネスマネージメント**……420
フィットネスマネージメント……422
フィットネスマネージメント……424
**フィットネスマネージメント**……426
Ｓ・フランスとヨーロッパの現代……428
Ｓ・ロシア語入門１……430
**Ｓ･漢文講読**……432
**Ｓ･英語文献講読**……434
**Ｓ･初等力学**……436
Ｓ・メンタルトレーニング……438
**Ｒ･離散構造Ⅰ**……440
Ｒ・講義と実習によるバイオサイエンス１……442
Ｓ・物理実験学基礎……444
Ｓ・タンパク質の科学……445

S・Essentials of Molecular and Cellular Biology ..... 447
R・整数論 ..... 450
S・水の科学 ..... 452
S・Topics in the News ..... 454
S・ Mathematics for Natural Scientists ..... 457
S・国際文化論 ..... 459
S・分子分光学演習：基礎編 ..... 461
S・英語で学ぶ力学 ..... 462
S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門 ..... 463
S・ウニの発生と海産生物の観察実習 ..... 465
S・イギリス文学講読 ..... 467
S・フランス語でニュースを読む ..... 469
S・日本の古典 ..... 471
S・ロシア語入門２ ..... 473
R・離散構造Ⅱ ..... 475
S・数学解析 ..... 477
S・糖の科学 ..... 479
S・実用統計学 ..... 481
R・講義と実習によるバイオサイエンス 2 ..... 483
S・表象文化論 ..... 485
S・生体分子分光学演習 ..... 487
R・グリム童話を読む ..... 489
S・彫刻（塑造） ..... 493
S・Essentials of Medical Language ..... 495
S・Discussions on Human Behavior ..... 498
S・一般化学演習 ..... 500
R・符号理論 ..... 502
S・Basic Concepts in Physics ..... 504
S・中国語中級 ..... 506
S・翻訳演習 ..... 508
教養総合講座 ..... 510
医療人間学概論（倫理学） ..... 523
医療人間学概論（法学） ..... 525
医療人間学セミナーⅠ（法学） ..... 527
医療人間学セミナーⅠ（倫理学） ..... 528
医療人間学セミナーⅡ（法学） ..... 530
医療人間学セミナーⅡ（倫理学） ..... 531

| 時間割番号 | 000001 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 哲学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 田中　智彦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

◇ 曜日・時間: 月曜１限

◇ 対象学科：全学科

◇ 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表 1-1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7）人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

私たちは徹頭徹尾、世界と関係している。だからこそ私たちがそのことに気づく唯一つの方法は、そのように世界と関係する運動を中止することなのである。〔中略〕それは常識や自然的態度のもっている諸確信を放棄することではない（それどころか逆に、そうした諸確信こそ哲学の恒常的なテーマなのだ）。そうではなく、むしろそれらの確信がまさにあらゆる思惟の前提として「自明のもの」になっており、しかしそうとは気づかれないで通用しているからこそ、そうするのである。　　メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、「わたし」あるいは「自己」というものの成り立ちについて考察します。それはいいかえれば、「わたし」が「わたし」としてあること、ありうることの根拠を、あらためて問う試みです。そしてそこからは、「わたし」と「他者」との間には、また「世界」との間には、どのような関係性があるのか、ありうるのかという問いへと、さらに議論は展開していくことになるでしょう。

なお、授業は講義形式で行います。また受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。

**授業の到達目標**

(1)上記の試みをつうじて、私たちの生とそれが営まれるこの世界とについて理解を深めること。

(2)「わたし」「他者」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。

(3)「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 2 | 4/24 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 3 | 5/1 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 4 | 5/8 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 5 | 5/15 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 6 | 5/22 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 7 | 5/29 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 8 | 6/5 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 9 | 6/12 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 10 | 6/19 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 11 | 6/26 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 12 | 7/3 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 13 | 7/10 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 14 | 7/24 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 15 | 7/31 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | 田中　智彦 |

**授業方法**

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます（その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します）。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

**授業内容**

この授業では順次、以下の論点を取り上げていきます。

第 1 回–5 回:「わたし」あるいは「自己」の成り立ちについて
第 6 回–10 回:「わたし」あるいは「自己」と「他者」との関係性について
第 11 回–15 回:それらをふまえたときに見えてくる「世界」のありようについて

**成績評価の方法**

◇評価:期末試験もしくは期末レポート 80%
その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など)
◇再評価:有(試験もしくはレポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

教科書はありません。毎回レジュメを配布します。

**参考書**

参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

**連絡先**

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

田中 智彦:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

| 時間割番号 | 000002 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 哲学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 田中　智彦 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

◇ 曜日・時間: 月曜 1 限

◇ 対象学科:全学科

◇ 受入人数:15 名程度

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

身体性は存在と所有の境界ゾーンである。あらゆる所有はある仕方で、私の身体に関連して定義される。私の身体は、絶対的な所有であるというそのことによって、いかなる意味でも所有であることをやめるものである。所有することとは、所有物を自由にすることができるということ、所有物に対して力を所有するということである。この自由にすること、あるいはこの力ということには、必ず有機体の介在が含まれている。ところが、この有機体そのものは、まさにそのことによって、私がそれを自由にできるとは言えなくなるのである。

マルセル『存在と所有』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、私たちの「生命」と「身体」について考察します。またそれらと深く関係する他の論点についても――たとえば「健康」「正常」といった概念や、「病む」「老いる」といった経験についても――あわせて考察してゆきます。そしてそのことは、私たち人間にとって「生」とは、「死」とは何かということを、あらためて問うことにもつながるでしょう。

受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。

**授業の到達目標**

(1)上記の試みをつうじて、私たちの生命・身体とそれらが住まうこの世界とについて理解を深めること。

(2)「生命」「身体」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。

(3)「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

(4)テキストをより精確に読み、より深く理解できるようになること。

(5)自分のとは異なる視点を理解し、摂取し、自分の視点をより豊かなものにできるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 2 | 10/2 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 3 | 10/16 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 4 | 10/23 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 5 | 10/30 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 6 | 11/6 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 7 | 11/13 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 8 | 11/20 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 9 | 11/27 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 10 | 12/4 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 11 | 12/11 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 12 | 12/18 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 13 | 1/15 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 14 | 1/22 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |
| 15 | 1/29 | 09:10-10:40 | 4 番教室 | 田中　智彦 |

**授業方法**

授業はセミナー形式で行います。受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。授業ではそれらをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。

**授業内容**

この授業では順次、以下の論点を取り上げていく予定です。

第 1 回–7 回:「私」と「身体」と「社会」との関係性について

第 8 回–11 回:「生」と「死」、「生者」と「死者」について

第 12 回–15 回:「健康」「病」「正常」「異常」の諸概念について

**成績評価の方法**

◇評価:期末レポート 70%

その他 30%(出席状況、コメントシートへの回答など)

◇再評価:有(試験もしくはレポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にしたうえで授業に臨むことです。授業ではそれらの疑問点やコメントをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。このプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、「読み」の他の可能性へと自分を開いていけるようになるでしょう。そのためにも、準備段階からディスカッションまでの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な摂取・応用に努めてください。

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

テキストは初回にお知らせします。論文等をテキストに用いる場合は随時コピーを配布します。

**参考書**

参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる記録とを併用します。

**連絡先**

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

田中 智彦:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

| 時間割番号 | 000003 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 倫理学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 田中　智彦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

◇ 曜日・時間:金曜2限

◇ 対象学科:全学科

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表1-9)市民としての倫理観を養う

別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

**授業の目的、概要等**

人間の思考のなかで重要なのは、彼らが考えたことよりも、むしろ彼らによって考えられなかったことのほうなのである。このノン・パンセは、初めから人間のもろもろの思考を体系化し、それ以降はこれを際限なく言語であげつらいうるものとなし、さらにこれについて考える、という任務にむかって限りなく開かれたものにするのである。　　フーコー『臨床医学の誕生』

この授業では上の言葉を導きの糸にして、「生命倫理(学)」について考察してゆきます。もっともそれは、生命倫理について概説することでもなければ、学説史をたどることでもありません。生命倫理において「思考されずにあること」「語られずにあること」を問うことによって、すなわち、生命倫理の「ノン・パンセ」を問うことによって、今日の生と死をめぐる倫理のありようを批判的に検討する試みです。そしてそのことは、いわゆる「医の倫理」はもとより、生と死をめぐる「倫理」が具えるべき視点を、いわば裏側から照らし出すことになるでしょう。

**授業の到達目標**

(1)上記の試みをつうじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

(2)現代の生と死のありようと医学・医療の特質が提起する倫理の問いについて基本的な理解を得ること。

(3)「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 11番教室 | 田中　智彦 |

**授業方法**

授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありえます(その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します)。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

**授業内容**

この授業では次のような論点を取り上げていきます。

第1回-5回:生と死をめぐる法、政治、経済の問題と、倫理のありようとについて

第6回-10回:生命倫理の来歴と特質およびそれらに具わる倫理的な問題について

第11回-15回:医学・医療の特質とそこから要請される倫理の問いについて

**成績評価の方法**

◇評価：期末試験もしくは期末レポート　80%

　　その他　20%（出席状況、コメントシートへの回答など）

◇再評価：有（試験もしくはレポート）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

　授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格：原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

　教科書はありません。毎回レジュメを配布します。

**参考書**

　参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

　出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

**連絡先**

田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

田中　智彦:毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟 2 階 哲学研究室

| 時間割番号 | 000004 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 倫理学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 田中　智彦 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

◇ 曜日・時間:金曜 2 限

◇ 対象学科:全学科

◇ 受入人数:15 名程度

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7)人間の心への理解を深める

別表 1-9)市民としての倫理観を養う

**授業の目的、概要等**

創造的な注意とは存在しないものに現実に注意を向けることである。道端に転がっている生気のない無名の肉体には人間性は存在しない。それでも立ち止まって見つめるサマリア人は、この不在の人間性に注意を向けているのであり、そしてその後に続く行いは、そこで問われているのが真の注意であることを証し立てているのである。　ヴェイユ『著作集Ⅳ』〔一部改訳〕

ヴェイユは『ルカによる福音書』に登場する「善きサマリア人」のたとえ話にこのような注釈をつけました。この授業ではこうしたヴェイユの視点を導きの糸にして、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」について考察してゆきます。

「人間の尊厳」も「いのちの尊厳」も、すでに語り尽くされている感があるかもしれません。あるいはその大切さは承知していても、どこか「机上の空論」でしかないような印象が否めないかもしれません。またそれゆえに、「人間の尊厳」や「いのちの尊厳」の名の下に「死」が語られ、「死を与える」ことまでもが正当化されても、私たちはさして違和感を覚えなくなっているのかもしれません。しかし、はたして「尊厳」とは、本当にそのようなものでしかないのでしょうか。

この授業ではあらためてそうした問いを立て、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」という概念の意義と問題点 を検討するとともに、一般にそう思われているのとは異なる解釈の可能性を探ります。その試みは、これらの 概念とは不可分の「人権」について、さらには私たち「人間」の生と死について、再考することにもつながるでしょう。

**授業の到達目標**

(1)上記の試みをつうじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。

(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。

(3)「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。

(4)テキストをより精確に読み、より深く理解できるようになること。

(5)自分のとは異なる視点を理解し、摂取し、自分の視点をより豊かなものにできるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 田中　智彦 |

**授業方法**

授業はセミナー形式で行います。受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。授業ではそれらをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。

**授業内容**

この授業では次のような論点を取り上げていきます。

第 1 回–8 回:「人間の尊厳」とは――ハンセン病をめぐる諸問題を手がかりに

第 9 回–12 回:「いのちの尊厳」とは――出生前診断をめぐる諸問題を手がかりに

第 13 回–15 回:「人間の尊厳」「いのちの尊厳」を再考する

**成績評価の方法**

◇評価:期末レポート　70%

その他　30%(出席状況、コメントシートへの回答など)

◇再評価:有(試験もしくはレポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にしたうえで授業に臨むことです。授業ではそれらの疑問点やコメントをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。このプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、「読み」の他の可能性へと自分を開いていけるようになるでしょう。そのためにも、準備段階からディスカッションまでの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な摂取・応用に努めてください。

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

テキストは初回にお知らせします。論文等をテキストに用いる場合は随時コピーを配布します。

**参考書**

参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

**連絡先**

田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

田中　智彦:毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟 2 階 哲学研究室

| 時間割番号 | 000005 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 心理学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 佐藤　舞 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:月曜　2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1―7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅰ」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

**授業の到達目標**

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤　舞 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

第1回:ガイダンス
第2回:感覚と知覚
第3回:記憶
第4―6回:学習
第7回:思考
第8―9回:動機づけ
第10―11回:感情
第12―13回:パーソナリティ
第14回:知能
第15回:まとめ

**成績評価の方法**

評価　:　試験　　80%　・　レポート　　0%　・　その他(授業の感想等)　　20%

再評価:　有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

**教科書**

特に指定しません。必要な資料は配布します。

**参考書**

講義の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。　・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードの提出を優先します。

| 時間割番号 | 000006 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 心理学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 佐藤 舞 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:月曜 2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1―7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

**授業の到達目標**

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 佐藤 舞 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

第1回:ガイダンス

第2―5回:発達

第6―8回:社会

第9―11回:臨床

第12―14回:ストレスと健康

第15回:まとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業の感想等) 20%

再評価: 有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

**教科書**

特に指定しません。必要な資料は配布します。

**参考書**

講義の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。　・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードの提出を優先します。

| 時間割番号 | 000007 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 宗教学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 宮田　義矢 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－5)

**授業の目的、概要等**

目的:諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要:授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチついて学んでいきます。

**授業の到達目標**

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |

**授業方法**

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

**授業内容**

1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「宗教」とは何か:地域・文化から宗教を見る
3. ユダヤ教①:「唯一神」とは何者か
4. ユダヤ教②:「唯一神」と「選びの民」の歴史
5. キリスト教①:「唯一神」とイエスの教え
6. キリスト教②:三位一体の「唯一神」
7. キリスト教③:三大宗派の展開
8. イスラーム①:「唯一神」対偶像
9. イスラーム②:「唯一神」の世界化
10. イスラーム③:宗教を通じた異文化理解
11. 仏教①:「仏」の登場
12. 仏教②:「仏」の悟りとは何か
13. 仏教③:三大潮流の「仏」の位置づけ
14. 聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義

15. 授業内試験:試験と授業のまとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50%

再評価: 有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

**教科書**

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。

**参考書**

近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。

島薗進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年 。

岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。

そのほか、適宜授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3 の出席が必要です。

| 時間割番号 | 000008 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 宗教学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 宮田　義矢 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：1－5）

**授業の目的、概要等**

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要：授業では、宗教の関わる出来事・事件等を事例に宗教学の様々なアプローチついて学んでいきます。

**授業の到達目標**

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 宮田　義矢 |

**授業方法**

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

**授業内容**

1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「無宗教」の日本人:「無宗教」意識の来源
3. 日本の宗教①:神道と仏教
4. 日本の宗教②:近代以降の日本宗教
5. メディアと宗教:宗教事件の報道
6. 「カルト」問題:どこからが「カルト」なのか
7. 宗教心理学:心理現象としての宗教理解
8. 死後生信仰:死後生信仰の展開
9. 神話:聖典と現代の宗教問題
10. 修行:宗教の現代的展開
11. 死生観:現代的な死生観の構築
12. シャーマニズム:憑依から預言まで
13. シャーマニズム:こっくりさんと近代
14. スピリチュアル:「宗教」を通じて見ることの意義
15. 授業内試験:試験と授業のまとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50%

再評価: 有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

**教科書**

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。

**参考書**

近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。

島薗進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年 。

岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3 の出席が必要です。

| 時間割番号 | 000009 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 芸術Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 木津 文哉, 豊福 誠, 林 武史, 齋藤 典彦, 青木 宏希, 井戸川 敦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜日 2限

対象学科:医学科、歯学科

募集人数:20人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):Ⅰ―6

**主な講義場所**

座学:10番教室

実技:13番教室

**授業の目的、概要等**

この科目は、彫刻、絵画、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。

**授業の到達目標**

人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 青木 宏希 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 林 武史 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 林 武史 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 木津 文哉 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 木津 文哉 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 齋藤 典彦 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 齋藤 典彦 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 豊福 誠 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 豊福 誠 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 13番教室 | 井戸川 敦 |

**授業方法**

授業は初回にガイダンスを行う。全15回の授業の1～9回を各専門領域の講師による講義。10～15回をデッサン実習とする。

**授業内容**

第1回 芸術Ⅰガイダンス デザイン論

第2・3回 彫刻論

第4・5回 映像メディア論

第6・7回 絵画論

第8・9回 工芸論

第10～15回 デッサン実習

**成績評価の方法**

評価 : レポート66% ・デッサン実習44% ※レポート出席点実習作品などで総合的に評価する。

再評価: 無

レポート提出には3分の2以上の出席が必要

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各回美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で自分の興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。

| 時間割番号 | 000040 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 芸術Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 室田　尚子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：1−6）

**授業の目的、概要等**

〈社会における芸術音楽と大衆音楽〉

西洋音楽は、大きく「芸術音楽」と「大衆音楽」という2つのジャンルに分けることができる。だが、歴史的に見て、この2つのジャンルが互いに影響を及ぼし合う中で生まれた音楽は少なくない。また、どちらのジャンルに属するのか、すぐには判断できない作品もある。そもそも、「芸術音楽」と「大衆音楽」というジャンル概念そのものが、常に固定したものではなく、歴史的・文化的・地理的なコンテクストによって変化していることにも注意が必要だ。本講義では、特に社会状況との密接な関連から生まれた音楽を紹介しながら、ジャンルの考え方や、社会における音楽のあり方について考えていく。

**授業の到達目標**

①音楽を社会における文化活動の1つとしてとらえ、その多様なあり方を知ること。

②音楽における「ジャンル」について問題意識を持つこと。

③「音楽とは何か」について自分なりの考えを育み、それを言語化すること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 2 | 10/6 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 3 | 10/13 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 4 | 10/20 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 5 | 10/27 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 6 | 11/10 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 7 | 11/17 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 8 | 11/24 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 9 | 12/1 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 10 | 12/8 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 11 | 12/15 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 12 | 12/22 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 13 | 1/12 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 14 | 1/19 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |
| 15 | 1/26 | 10:50−12:20 | 1 番教室 | 室田　尚子 |

**授業方法**

CD や DVD を鑑賞しながらの講義形式。

**授業内容**

1. 授業内容についてのガイダンス
2. 「芸術音楽」と「大衆音楽」～現代社会におけるジャンルの問題
3. 西洋音楽の崩壊と再生～ワーグナーの楽劇
4. オペラの革新～ドビュッシーの『ペレアスとメリザンド』
5. ジャズの影響圏
6. 芸術キャバレーとその音楽
7. オペラの解体～ヴァイルの『三文オペラ』
8. 映画の音楽
9. 社会が音楽を生み出す～映画『カストラート』
10. ジェンダーと音楽～オペラ『蝶々夫人』をめぐる諸問題
11. 商業音楽としてのクラシック
12. ネットと音楽～ボーカロイドの可能性
13. 特撮と音楽～仮面ライダーというジャンル

14. ヴィジュアル系の地平
15. 学期末試験

**成績評価の方法**

評価 : 試験 70 % ・ レポート % ・ その他(出席 ) 30 %
再評価: 有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直し、授業内容についてノートにまとめておくことが望ましい。

**履修上の注意事項**

・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。

**備考**

キーワード:音楽、クラシック、オペラ、ポピュラー音楽、ジャズ、シャンソン、ロック、映画、ジェンダー、ボーカロイド、ヴィジュアル系

| 時間割番号 | 000012 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 歴史学A Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜 2 限

募集人数:40 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

**授業の目的、概要等**

＜ヨーロッパ近現代史＞ 20 世紀はロシア革命によって幕が開き、ソ連崩壊によって終焉を迎えた。二つの大戦を経験し、冷戦によって分断されたヨーロッパの経験はヨーロッパにとどまらず現代世界を理解する上で重要な視座を与えてくれる。講義では、冷戦終結とソ連崩壊によって大きく変わるまでのヨーロッパの近代史を、ヨーロッパ東西の歴史的、文化的な断層に着目しながら考えていきたい。

**授業の到達目標**

ヨーロッパ近代史のダイナミズムを知り、現代世界の成り立ちを理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ガイダンス | 高尾　千津子 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ヨーロッパとは | 高尾　千津子 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ヨーロッパの近代1 | 高尾　千津子 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ヨーロッパの近代2 | 高尾　千津子 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ヨーロッパの近代3 | 高尾　千津子 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 第 1 次世界大戦 | 高尾　千津子 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ロシア革命 | 高尾　千津子 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 戦間期1 | 高尾　千津子 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 戦間期2 | 高尾　千津子 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 戦間期3 | 高尾　千津子 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 第2次世界大戦 | 高尾　千津子 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 戦後世界1 | 高尾　千津子 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 戦後世界2 | 高尾　千津子 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 冷戦終結とソ連崩壊 | 高尾　千津子 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

1 ガイダンス

2 ヨーロッパの東と西 1

3 ウクライナ ヨーロッパの断層

4 19 世紀のヨーロッパ

5 ナショナリズムとはなにか

6 社会主義と共産主義

7 第一次世界大戦の起源

8 ロシア革命とソ連の形成

9 東欧の成立と少数民族問題

10 全体主義の時代

11 スターリン体制とはなにか

12 第二次世界大戦

13 戦後のヨーロッパと冷戦

14 ソ連の崩壊とヨーロッパ統合

15 まとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 40% ・ その他(授業への参加とコメント・ペーパー、課題図書感想) 60%

再評価: 有(再評価方法 レポート)

レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要である

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各回ごとに参考文献を指示する。またパワーポイントファイルと資料を授業ごとに配布するので、必ず復習しておくこと。

**教科書**

授業で資料を配付する

**参考書**

ヨーロッパ史の時間と空間／オスカー・ハレツキ:慶応大学出版会, 2002

共産党宣言／マルクス, エンゲルス [著],大内兵衛, 向坂逸郎 訳:岩波書店, 2007

民族とネイション : ナショナリズムという難問／塩川伸明 著,:岩波書店, 2008

ブラッドランド : ヒトラーとスターリン大虐殺の真実／ティモシー・スナイダー 著,布施由紀子 訳,:筑摩書房, 2015

ロシア革命 : 破局の 8 か月／池田/嘉郎:岩波書店, 2017

地図で読む世界史 : 超図解 5 大テーマで理解する、教養として知っておきたい世界の歴史／柴宜弘 編著,:実務教育出版, 2015

**履修上の注意事項**

5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日 PM12:30-PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000013 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 歴史学AⅡ | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:　金曜２限

募集人数:20 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3

**授業の目的、概要等**

＜20 世紀の日本＞　明治以来ヨーロッパ・モデルを導入し、近代化に努めた日本は、同時に植民地帝国の道を歩んだ。日本の 20 世紀前半は日露戦争から第一次世界大戦、シベリア出兵、満洲事変、日中戦争、太平洋戦争へと連なる「戦争の半世紀」でもあった。授業では最初に日本近代史の重要な場面について講義を行い、20 世紀の日本の歴史を通して世界における日本の立場を理解し、＜現在＞の意味について考える。その上で、履修者は関心のある歴史上の人物の回想や日記、あるいは事件をめぐる新聞や映像資料などを調べ、履修者各自の理解と解釈を発表して全員で討論する。

**授業の到達目標**

近代日本を取り巻く国際情勢、戦前日本の思想と行動を理解し、現代への指針を得る。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | ガイダンス | 高尾　千津子 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 近代日本と世界 1 | 高尾　千津子 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 近代日本と世界 2 | 高尾　千津子 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 昭和史1 | 高尾　千津子 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 昭和史2 | 高尾　千津子 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 昭和史3 | 高尾　千津子 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 昭和史4 | 高尾　千津子 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論1 | 高尾　千津子 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論2 | 高尾　千津子 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論3 | 高尾　千津子 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論4 | 高尾　千津子 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論5 | 高尾　千津子 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論6 | 高尾　千津子 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 発表と討論7 | 高尾　千津子 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業方法**

演習形式

**授業内容**

1 ガイダンス
2 近代日本と世界　講義　1
3 近代日本と世界　2
4 近代日本と世界　3
5 近代日本と世界　4
6 近代日本と世界　5
7 近代日本と世界　6
8 発表とグループ討論
9 発表とグループ討論
10 発表とグループ討論
11 発表とグループ討論
12 発表とグループ討論
13 発表とグループ討論
14 発表とグループ討論
15 総括

**成績評価の方法**

評価 ： 最終レポート 40% ・コメント・ペーパー20%・発表と討論（授業への参加）40%

再評価: 有（再評価方法 レポート）

レポート提出資格には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で事前に配布するプリントを読み、発表と討論への準備をしておくこと。また授業時に提示する参考文献を読んでおくこと。

**教科書**

授業でプリント、資料を配付する。

**参考書**

模索する 1930 年代 : 日米関係と陸軍中堅層／加藤陽子 著,:山川出版社, 2012

敗北を抱きしめて : 第二次大戦後の日本人／ジョン・ダワー [著],三浦陽一, 高杉忠明 訳,:岩波書店, 2004

単一民族神話の起源 :<日本人>の自画像の系譜／小熊英二 著,:新曜社, 1995

キメラ : 満洲国の肖像／山室 信一 著,:中央公論新社

生きて帰ってきた男／小熊英二:岩波新書, 2015

ライシャワーの日本史／エドウィン・O.ライシャワー [著],國弘正雄 訳,:講談社, 2001

シベリア出兵 : 近代日本の忘れられた七年戦争／麻田雅文 著,:中央公論新社, 2016

シベリア抑留 : スターリン独裁下、「収容所群島」の実像／富田武 著,:中央公論新社, 2016

**履修上の注意事項**

履修希望者は初回のガイダンスに必ず出席すること。五回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日 PM12:30-PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000010 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 歴史学ＢⅠ | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜１限

募集人数: 40 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-3

**授業の目的、概要等**

＜ヨーロッパ社会とユダヤ教徒の歴史＞

ユダヤ教はキリスト教の母胎であり、イスラーム教にも影響を与えた。神殿破壊後各地に離散したユダヤ人は、宗教的少数派としていかに生き残ったのだろうか。講義では中世から近現代にいたるまでのヨーロッパにおけるユダヤ教徒の内部社会と文化、キリスト教世界のユダヤ観、反ユダヤ主義等の問題を通して、ヨーロッパの文化と歴史を新たな角度から考えたい。

**授業の到達目標**

キリスト教世界のなかで少数派として存続したユダヤ人の歴史を通して、ヨーロッパの深層を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ガイダンス | 高尾　千津子 |
| 2 | 4/24 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ユダヤ古代史1 | 高尾　千津子 |
| 3 | 5/1 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 古代史2 | 高尾　千津子 |
| 4 | 5/8 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 古代史3 | 高尾　千津子 |
| 5 | 5/15 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ユダヤ人中世史 | 高尾　千津子 |
| 6 | 5/22 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 中世ヨーロッパ | 高尾　千津子 |
| 7 | 5/29 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 近代ヨーロッパ | 高尾　千津子 |
| 8 | 6/5 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 近代ヨーロッパ2 | 高尾　千津子 |
| 9 | 6/12 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 近代ヨーロッパ3 | 高尾　千津子 |
| 10 | 6/19 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 近代ヨーロッパ4 | 高尾　千津子 |
| 11 | 6/26 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 近代ヨーロッパ5 | 高尾　千津子 |
| 12 | 7/3 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | アメリカ移民 | 高尾　千津子 |
| 13 | 7/10 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 現代史1 | 高尾　千津子 |
| 14 | 7/24 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 現代史2 | 高尾　千津子 |
| 15 | 7/31 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

1 ガイダンス
2 古代ユダヤ教とその成り立ち
3 ディアスポラとガルート
4 キリスト教とユダヤ教の関係
5 ゲットーと内部社会
6 中世ヨーロッパのユダヤ教徒
7 フランス革命と解放
8 ドレフュス事件と反ユダヤ主義
9 ロシア帝国のユダヤ人
10 ポグロムとはなにか
11 シオニズム運動の始まりと発展
12 アメリカのユダヤ人
13 ナチスドイツと反ユダヤ主義
14 ホロコースト
15 まとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への参加とコメントペーパー )40 %

再評価: 有(再評価方法 レポート)

レポート提出には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各回ごとに指示した参考文献やプリントを読んでおく。

**教科書**

授業で資料を配付する。

**参考書**

ロシアとユダヤ人 : 苦悩の歴史と現在／高尾千津子 [著],:東洋書店, 2014

ユダヤ教の歴史／市川裕 著,:山川出版社, 2009

ユダヤ系アメリカ人／本間長世:PHP 新書, 1998

封印されたホロコースト : ローズヴェルト、チャーチルはどこまで知っていたか／リチャード・ブライトマン 著,川上洸 訳,:大月書店, 2000

13 歳のホロコースト : 少女が見たアウシュヴィッツ／エヴァ・スローニム 著,那波かおり 訳,:亜紀書房, 2015

ユダヤ人の歴史／レイモンド・P・シェインドリン 著,入江規夫 訳,:河出書房新社, 2012

**履修上の注意事項**

5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日 PM12:30-PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000011 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 歴史学BⅡ | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜 1 限

募集人数: 40 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-3

**授業の目的、概要等**

＜西洋近代と「パレスチナ・イスラエル紛争」＞

「パレスチナ・イスラエル紛争」は決して数千年の長きにわたるものではなく、またイスラームとユダヤ教の対立から始まったのでもない。ヨーロッパ近代における「ユダヤ人問題」と反ユダヤ主義、帝国主義と戦争、冷戦などの要因がどのようにこの問題を生み出し、複雑化させていったかを考えていく。

**授業の到達目標**

中東問題の歴史的根源を知り、国際社会がいかに中東問題、パレスチナ問題に関わってきたのかについて理解を深める。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ガイダンス | 高尾　千津子 |
| 2 | 10/2 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 問題のありか | 高尾　千津子 |
| 3 | 10/16 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | パレスチナ問題　歴史1 | 高尾　千津子 |
| 4 | 10/23 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 歴史2 | 高尾　千津子 |
| 5 | 10/30 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 歴史3 | 高尾　千津子 |
| 6 | 11/6 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 歴史 4 | 高尾　千津子 |
| 7 | 11/13 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 歴史 5 | 高尾　千津子 |
| 8 | 11/20 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | パレスチナ問題の歴史まとめ | 高尾　千津子 |
| 9 | 11/27 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 討論1 | 高尾　千津子 |
| 10 | 12/4 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 中東戦争 | 高尾　千津子 |
| 11 | 12/11 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | インティファーダ | 高尾　千津子 |
| 12 | 12/18 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 中東和平 | 高尾　千津子 |
| 13 | 1/15 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 中東和平2 | 高尾　千津子 |
| 14 | 1/22 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | グループ討論2 | 高尾　千津子 |
| 15 | 1/29 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業方法**

講義が中心であるが、履修者の理解をより深めるために、グループ討論を適宜行う。

**授業内容**

1 ガイダンス

2 パレスチナ問題とは何か

3 パレスチナとナクバ

4 発端としての第一次世界大戦

5 イギリス委任統治がもたらしたもの

6 ホロコースト、反ユダヤ主義とユダヤ難民

7 国連とパレスチナ分割決議

8 近現代史の総括とグループ討論

9 パレスチナ難民問題

10 冷戦と中東戦争の歴史

11 インティファーダとはなにか

12 中東和平の進展と挫折

13 現代イスラエルの多様性

14 アメリカとイスラエル

15 総括とグループ討論

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 0% ・ 最終レポート 40% ・ その他(討論への参加、コメントペーパー、課題図書) 60%

再評価: 有(再評価方法 レポート)

レポート提出には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で配布したプリントと資料を必ず復習しておくこと。提示した参考文献を下調べしておくこと。

**教科書**

授業でプリントを配付する。

**参考書**

イスラエルを知るための 60 章／立山良司 編著,:明石書店, 2012

アラブとイスラエル : パレスチナ問題の構図／高橋和夫 著,:講談社, 1992

〈中東〉の考え方／酒井啓子 著,:東京都品川区立品川図書館, 2012

平和を破滅させた和平 : 中東問題の始まり「1914-1922」／デイヴィッド・フロムキン 著,平野勇夫, 椋田直子, 畑長年 訳,:紀伊國屋書店, 2004

世界史の中のパレスチナ問題／臼杵陽 著,:講談社, 2013

ホロコースト後のユダヤ人／野村真理:世界思想社, 2012

**履修上の注意事項**

5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日 PM12:30-PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000014 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 科学史Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 田中 丹史 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 金曜 2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3 人間の歴史的営みを理解する

**授業の目的、概要等**

現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。

**授業の到達目標**

1. 科学史・技術史の基礎を理解する。
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。
3. 医療の概史を知ることができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 田中 丹史 |

**授業方法**

講義形式をとる

**授業内容**

第1回:ガイダンス(本講義の目的)
第2回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術
第3回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス
第4回:病院と医学史
第5回:中世の産業革命と12世紀ルネサンス
第6回:疾病史:ペストとコレラ
第7回:ルネサンスと科学・技術
第8回:科学革命
第9回:産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア
第10回:科学の職業化と専門化
第11回:20世紀以降の科学技術政策
第12回:医療政策の展開
第13回:日本の公害:水俣病とイタイイタイ病
第14回:日本の科学技術の歴史
第15回:まとめ

**成績評価の方法**

| |
|---|
| 評価 : 試験　　% ・ レポート 100　　% ・ その他(　　)　　% |
| 再評価:　有(再評価方法 レポート)　・ 無 |
| **成績評価の基準** |
| 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示** |
| 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。 |
| **教科書** |
| なし |
| **参考書** |
| 橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて：自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010.<br>中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008. |
| **履修上の注意事項** |
| 特になし |
| **参照ホームページ** |
| なし |

| 時間割番号 | 000015 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 科学史Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 田中 丹史 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 金曜 2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3 人間の歴史的営みを理解する

**授業の目的、概要等**

本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。

**授業の到達目標**

1. 現代の環境問題の基礎を理解する。
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。
3. 環境倫理の基礎を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 14 | 1/19 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |
| 15 | 1/26 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 田中 丹史 |

**授業方法**

講義形式をとる

**授業内容**

第1回:ガイダンス(本講義の目的)
第2回:水俣病の歴史的考察
第3回:水俣病の歴史的考察(2)
第4回:水俣病とイタイイタイ病の比較検討
第5回:地球温暖化論とコミュニケーション
第6回:地球温暖化論と科学諮問・国際関係
第7回:環境リスクマネジメントの概論
第8回:生物多様性の基礎
第9回:遺伝資源へのアクセスと利益配分
第10回:生物多様性と希少種の保全・保護
第11回:アメリカの自然の権利訴訟
第12回:日本の自然の権利訴訟
第13回:動物の権利論の概説
第14回:動物の権利論と生命操作
第15回:理解度の確認 本講義のまとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 % ・ レポート100 % ・ その他( ) %

| |
|---|
| 再評価:　有(再評価方法 レポート)　・ 無 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。 |
| **教科書**<br>なし |
| **参考書**<br>授業中に指示します。 |
| **履修上の注意事項**<br>特になし |
| **参照ホームページ**<br>なし |

| 時間割番号 | 000016 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文学ＡⅠ | | | | |
| 担当教員 | 土佐　朋子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・時間・曜日：月曜１限

・募集人数：

・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：

別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－7）人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

人はなぜ文学作品を生み出していくのか、また、それを享受するという営みにはどのような意味が見いだせるのだろうか。このような問いを立て、それに向き合うことそのものが目的であるが、自分なりの現段階での考えが形作られるとよいと思っている。

堀辰雄『風立ちぬ』を主に扱う。

文学に描かれる様々な要素の中から、今年度は、病や死、あるいは喪失体験の描出に焦点をあてて考察する。言葉によって構築される世界には、唯一絶対の「真実」ではなく、人間の認識や欲望が描き出される。できるだけ具体的な作品を読みながら、人間が語ることの考えていきたいと思う。

**授業の到達目標**

①人の死や病、喪失体験がどのように言語化されるのかということに対する理解を深める。

②批評や常識にとらわれず、頼ることなく、文学作品を自分で「読む」力を身につける。

③人間と言葉や語りに対する関心を高め、問題意識を持てるようになること。

④日本文学・文化に対する理解を深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 09:10-10:40 | 10番教室 | ガイダンス | 授業の目的と問題提起 | 土佐　朋子 |
| 2 | 4/24 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 死と文学 | 日本文学において、死を語ることはいかに始められ、どのような歴史を持つに至ったかを考察する。 | 土佐　朋子 |
| 3 | 5/1 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 亡妻文学の系譜 | 日本文学における亡妻文学の歴史を考察する。 | 土佐　朋子 |
| 4 | 5/8 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』の二人―『智恵子抄』の二人との比較― | 文学の常套手段として、「純粋」な時空が、俗世からの脱出／俗世との対立によって生み出されることを考察する。 | 土佐　朋子 |
| 5 | 5/15 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』の「時間」 | 文学作品における時間編集が、描出される世界にどのように関わるのかを考察する。 | 土佐　朋子 |
| 6 | 5/22 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』の「私」―小説が書けない小説家― | 当該作品を、美しい物語の執筆を試みるが挫折する語り手「私」に焦点を当てるとどう読めるか、考察する。 | 土佐　朋子 |
| 7 | 5/29 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』と宮崎駿『風立ちぬ』―二つの「美」― | 同題の二つの作品について、「美」の完成という観点から比較対照することにより、それぞれの作品の性格について考察する。 | 土佐　朋子 |
| 8 | 6/5 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』に描かれる「生と死」 | 第5回目で考察して「時間」という観点と、「生と死」がどのように描かれるかという問題とを関わられながら、文学が描く「生と死」のありようの一つを考察する。 | 土佐　朋子 |
| 9 | 6/12 | 09:10-10:40 | 10番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』― | 死にゆく者と、遺される者。死は― | 土佐　朋子 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 「私」の再生ー | 般的に遺される者によって語られる。そのことの意味を考察する。 | |
| 10 | 6/19 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』と高村光太郎『智恵子抄』ー「死」の表象ー | 言葉は、時に死の瞬間を直接的に描写し、時にあえて描写を避ける。そのことの意味を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 11 | 6/26 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | 病気の表象と文学 | 堀辰雄『風立ちぬ』における肺結核の表象を振り返り、文学が死とともに病をどのように描いてきたかを考察する。 | 土佐 朋子 |
| 12 | 7/3 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | 肺結核と文学ー徳冨蘆花『不如帰』から堀辰雄『風立ちぬ』へー | 肺結核のイメージを決定したとされる徳冨蘆花『不如帰』を抜粋で読み、「語り」に継承される「型」を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 13 | 7/10 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | 堀辰雄『風立ちぬ』の「風」 | 文学における「かぜ」というシニフィアンが喚起するシニフィエについて考察する。 | 土佐 朋子 |
| 14 | 7/24 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | 文学における「死」の語り | 文学はなぜ「死」を語るのか。「喪の仕事」という観点から考察してみる。 | 土佐 朋子 |
| 15 | 7/31 | 09:10-10:40 | 10 番教室 | まとめ | 学期末の総まとめを行う。 | 土佐 朋子 |

**授業方法**

講義形式の予定。受講生の意見を聞くことがある。

**授業内容**

堀辰雄『風立ちぬ』を主たる題材として、徳冨蘆花『不如帰』、横光利一『花園の思想』などの肺結核を描いた作品や、宮沢賢治『春と修羅』、高村光太郎『智恵子抄』などに収録される近親者の死を描いた作品などを関連させながら、授業を進める。また、宮崎駿の同題のジブリ映画『風立ちぬ』とも比較対照させることにより、堀辰雄『風立ちぬ』の描く「風」や「時間」のありようについて、考えを深める。

具体的な授業内容については、「授業スケジュール」に記載したが、受講者の興味関心や授業の進度などによって、変更する場合がある。

**成績評価の方法**

評価:試験 0%・レポート 50%

その他 50%(授業中小レポート・授業への取り組み等)

再評価:有(再評価の方法 再レポート)

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。

②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。

③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

①堀辰雄『風立ちぬ』は、事前に必ず読んでおく。

②宮崎駿『風立ちぬ』も事前に見ておくことを勧める。

③授業中でプリントで紹介される作品についても、自分で図書館などで読むようにする。授業中に作品にしっかりと向き合う。講義をふまえながら、自分なりの作品に対する「意味づけ」を行う。

**試験の受験資格**

レポート提出:3 分の 2 以上の出席を原則とする。

**教科書**

風立ちぬ・美しい村/堀 辰雄/著,:新潮社, 2011

**参考書**

対象喪失 : 悲しむということ/小此木 啓吾/著,:中央公論新社, 1991-05

隠喩としての病い/スーザン・ソンタグ [著]; 富山太佳夫 訳,スーザン・ソンタグ [著]; 富山太佳夫 訳,:みすず書房, 2006

『結核の文化史 : 近代日本における病のイメージ』／福田真人 著,:名古屋大学出版会, 1983
結核という文化 : 病の比較文化史／福田眞人 著,:中央公論新社, 2001
『智恵子抄の新見と実証』／大島龍彦 著,:新典社, 2008
高村光太郎／吉本隆明 [著],:講談社, 1991
『高村光太郎のフェミニズム』／駒尺喜美 著,:朝日新聞社, 1992
『『智恵子抄』の世界』／大島龍彦, 大島裕子 編著,:新典社, 2004
病の言語表象／木村功 著,:和泉書院, 2016
授業中にも紹介する。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員のとる出欠を優先させる。 出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いになる。

**連絡先**

土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30–PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000017 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文学AⅡ | | | | |
| 担当教員 | 土佐　朋子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・時間・曜日：月曜１限

・募集人数：10～15 名程度

・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：

別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－7）人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

作品とは、一人の他者である。本授業の目的の一つ目は、それを「読む」という営みの意味を、セミナー形式で実践的に考えることである。目的の二つ目は、作品に対して、自ら主体的能動的に意味づけを行う力を、実践的に向上させることである。

文学に描かれる様々な要素のうち、今年度は、「時間の不可逆性と宿命」というテーマに軸足を置いていたいと思っている。

主たる考察対象は、日本近現代文学作品を考えているが、できれば映画も取り込んでいきたいと思っている。

**授業の到達目標**

①作品を読む力を身につけること。

②日本文学に対する理解を深めること。

③作品を読み、自ら主体的に考察し、その内容を他者に的確に伝える力を養うこと。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | ガイダンス | 半年間の授業についての説明。 | 土佐　朋子 | 今年度より少人数セミナー形式となるので、履修を考える学生は、必ず出席し、説明を受けた上で申請すること。 |
| 2 | 10/2 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | 「読む」ということ。 | 作品を読むとはどういうことかについて、資料を読みながら考察する。 | 土佐　朋子 | |
| 3 | 10/16 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナーの準備 | セミナーで扱う作品と、担当などについて話し合う。 | 土佐　朋子 | |
| 4 | 10/23 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー1 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 5 | 10/30 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー2 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 6 | 11/6 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー3 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 7 | 11/13 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー4 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 8 | 11/20 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー5 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 9 | 11/27 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー6 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 10 | 12/4 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー7 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 11 | 12/11 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー8 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 12 | 12/18 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー9 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 13 | 1/15 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー10 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 14 | 1/22 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | セミナー予備 | 学生の発表に基づく討論。 | 土佐　朋子 | |
| 15 | 1/29 | 09:10-10:40 | 1 番教室 | まとめ | セミナーを通して考えたことについて、まとめる。 | 土佐　朋子 | |

**授業方法**

セミナー形式。

**授業内容**

本授業では、主として日本近現代文学作品を題材として、学生自身の考察と発表に基づく討論を重ねていく。

発表の担当回数は、人数にもよるが、前半と後半の 2 回を考えている。前半は、村上春樹の短編などを考えているが、受講生と相談

して決めたい。後半は、受講生一人一人が自身の興味関心に基づいて作品を決定する形にしたいと思っている。

**成績評価の方法**

評価：発表 80%（発表とは、事前の資料作成・当日の発表内容を指す）

討論への参加状況とレポート 20%

再評価：有（再評価方法　再レポート）

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

①発表を行っていない場合。

②出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

①自分が担当する作品だけでなく、授業で扱われる作品は全て読み、自分なりの読み方や疑問点をメモしておくこと。

②授業で扱う作品に限定せず、日常的に幅広く作品を読むことを心がける。

**試験の受験資格**

レポート提出：発表を行っていることと、3 分の 2 以上の出席を原則とする。

**教科書**

, 1971

：新潮社, 2011

授業時に指示する。

**参考書**

授業時に紹介する。

**履修上の注意事項**

①今年度より、少人数セミナー形式になる。必ず 1 回目の授業（ガイダンス）に出席し、授業についての説明を受けた上で、履修申請をすること。1 回目の授業（ガイダンス）に出ていない場合、履修が認められない可能性もあるので、注意すること。 ②出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

**連絡先**

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000018 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文学BⅠ | | | | |
| 担当教員 | 土佐 朋子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・曜日・時間:金曜1限

・対象学科:全学科

・募集人数:

・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)

別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

本授業では、主に日本の神話を題材として、その特質や、現代の小説やアニメなどにも継承される「語りの型」について考察する。

日本という国家が成立した 7～8 世紀、文学は、まず、神を語ることから始められ、次いで権力者、日本でいえば天皇を語った。そして、市井一般のプライベートを語るようになっていった。このような文学の発生と変遷は、『古事記』『万葉集』『風土記』に記された「神話」や「伝説」に見ることができる。

これらの文学作品を実際に読み、「神話」化および「伝説」化という文学的営為や、日本神話の特質と構造などに対する理解を深める。ジブリ作品などに引き継がれる神話的世界についてもとり上げる予定である。

文学は常に時代や歴史によって産み出されるものであり、だからこそ普遍性を持ち得る。日本文学の始原における「語り」の世界について、理解を深めていきたい。

**授業の到達目標**

①日本文化に対する理解を深め、自ら主体的に考えを深めることができるようになること。

②日本の「神話」「伝説」に関する基本的な知識を身につけ、自分なりの解釈を持つこと。

③日本の古典文学に対する理解を深め、相対的に現代における日本の文化や文学に対する理解も深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ガイダンス | 授業の内容、履修上の注意点などに関する説明。 | 土佐 朋子 |
| 2 | 4/21 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 音声と文字―神話を書くという行為― | 音声言語と文字言語との違い、文字言語の発明と浸透がもたらしたものについて、神話を通して考察する。 | 土佐 朋子 |
| 3 | 4/28 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | イザナギとイザナミ神話―誕生と死― | 『古事記』イザナギとイザナミ神話を読み、国の誕生と死の起源とがどのように描かれたかを考察する。 | 土佐 朋子 |
| 4 | 5/12 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | アマテラスとスサノヲ神話 | 天の岩屋戸の意味と、トリックスターとしてのスサノヲの物語的機能について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 5 | 5/19 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 大国主神話―選ばれし王者― | 因幡の白ウサギから始まる大国主神話を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 6 | 5/26 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 天孫降臨神話 | 日本神話独特の天孫降臨神話について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 7 | 6/2 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 柿本人麻呂「草壁皇子挽歌」―書き換えられた「神話」― | 7世紀は、すでに神話の書き換えが可能になっていた時代なのか。改めて「神話」とは何かについて考察する。 | 土佐 朋子 |
| 8 | 6/9 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 海幸山幸神話と浦島太郎の物語1 | 異境訪問譚の源泉としての海幸山幸神話を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 9 | 6/16 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 海幸山幸神話と浦島太郎の物語2 | 丹後国風土記逸文の浦島伝説、高橋虫麻呂「浦島子歌」、御伽草子を | 土佐 朋子 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 読み、浦島太郎物語の変遷を考察する。 | |
| 10 | 6/23 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | ヤマトタケルの物語ー悲劇の英雄ー | 『古事記』中巻のヤマトタケルの物語を、『日本書紀』と比較させることにより、その特質を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 11 | 6/30 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 反乱伝承ー恋愛と謀反ー | 『古事記』中巻のサホビメ・サホビコの物語と、下巻の軽太子・軽大郎女の物語を、『日本書紀』と比較させることにより、その特質を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 12 | 7/7 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 雄略天皇物語ー権力と文学ー | 『古事記』『日本書紀』『万葉集』の雄略天皇に関する資料を読み、権力と文学の関係のありようについて考察する。 | 土佐 朋子 |
| 13 | 7/14 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 仁徳天皇・磐姫皇后物語ー恋愛と文学ー | 『古事記』『日本書紀』『万葉集』の仁徳天皇の皇后磐姫に関する資料を読み、恋愛と文学の関係のありようについて考察する。 | 土佐 朋子 |
| 14 | 7/21 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | 神話とジブリ映画 | 主に『もののけ姫』を取り上げ、現代に継承される日本神話の特質について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 15 | 7/28 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | まとめ | 半年間考えてきたことをまとめる。 | 土佐 朋子 |

**授業方法**

講義形式。

**授業内容**

『古事記』に描かれた神話や、天皇代における反乱伝承などに軸足を置きながら、『日本書紀』『万葉集』『風土記』など同時代の文献資料や、芥川龍之介の作品など近現代文学、現代のジブリ映画などとの比較対象を行う。そうすることによって、物語が一定の型に従って構築されていること、その型が現代に至るまで継承されてきていることなどを明らかにしていく予定である。

具体的な内容については、「授業スケジュール」に記した。ただし、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、内容が変更されたり、順序が入れ替わったりする場合もある。

**成績評価の方法**

評価:筆記試験0%・レポート 50%

その他 50%(授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等)

再評価:有(再評価方法 原則として再レポート)

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。

②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。

③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴く。それを土台として、自分自身で作品世界を意味づけられるよう、作品の言葉と向き合う。

また、授業では日本の神話をとりあげるが、世界の神話や現代文化との比較対照など、独自の角度から考察するとよい。

**試験の受験資格**

レポート提出:原則として 3 分の 2 以上の出席。

**教科書**

古事記 : 現代語訳付き／中村啓信 訳注.:角川学芸出版, 2009

**参考書**

本居宣長『古事記伝』(岩波文庫)、西郷信綱『古事記の世界』(岩波新書)、『新編日本文学全集 古事記』(小学館)、『古典文学大系 古

事記』(岩波書店)、『日本古典集成　古事記』(新潮社)、『新編日本古典文学全集　日本書紀』(小学館)、『新編日本古典文学全集　風土記』(小学館)、川村湊『言霊と他界』(講談社学術文庫)、山本健吉・池田弥三郎『万葉百歌』(中公新書 1963)、斎藤茂吉『万葉秀歌　上・下』(岩波新書 1938)、中西進『万葉の秀歌　上・下』(講談社現代新書 1984)、土橋寛『万葉開眼　上・下』(日本放送出版協会 1978)、谷馨『額田姫王』(紀伊国屋書店 1967)、三浦佑之『浦島太郎の文学史　恋愛小説の発生』(五柳書院 1989)、渡辺護『万葉挽歌の世界　未完の魂』(世界思想社 1993)、松尾光編『万葉集101の謎』(新人物往来社 2000)、桜井満監修『万葉集を知る事典』(東京堂出版 2000)、川村湊『言霊と他界』(講談社学術文庫)など。

訳文が必要な場合は『新編日本文学全集　古事記』(小学館)が使いやすい。ただし、読み取り方は講義と異なることが多々あるので、それを念頭において利用すること。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。　出欠管理システムに打刻されていても、教員による出欠確認において出席が認められない場合は欠席扱いになります。

**連絡先**

土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30–PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000019 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文学BⅡ | | | | |
| 担当教員 | 土佐 朋子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜1限

・対象学科:全学科

・募集人数:

・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)

別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

文学には、自らの力ではどうしようもない宿命を背負い、時代に翻弄されながら生きる人間の姿が繰り返し描かれてきた。それはなぜなのだろうか。今年度は、『平家物語』を読み、時代の大きな転換点において、己の宿命と向き合う人々がどのように描かれているかを考察してみたい。『梁塵秘抄』『方丈記』などの古典文学や、能などの芸能、芥川龍之介の作品などの近代文学との比較対象なども行う予定である。

**授業の到達目標**

①『平家物語』を中心とした日本古典文学に対する理解を深める。

②文学作品のアクチュアリティに対する理解を深める。

③文学作品を主体的に読む力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 9番教室 | ガイダンス | 半年間の授業に関する説明。 | 土佐 朋子 |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 『平家物語』の歴史的背景 | 『梁塵秘抄』『方丈記』なども用いて、平安朝末期における歴史的背景を説明する。 | 土佐 朋子 |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 祇園精舎の事 | 『平家物語』冒頭を読み、その意図について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 驕れる平家1 | 『平家物語』前半部に描かれた、平家一門の全盛について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 驕れる平家2 | 『平家物語』前半部に描かれた、平家一門の全盛について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 入道逝去の事 | 清盛の壮絶な最期について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 木曽の最期の事1 | 木曽義仲の挙兵、対立、都入りなど、「最期」に至る物語について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 木曽の最期の事2 | 義仲・兼平主従を軸に構成された木曽の最期について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 忠度の最期の事 | 清盛の弟という宿命を背負った忠度の物語について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 敦盛最期の事 | 若武者敦盛の最期をめぐる物語について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 維盛の入水の事 | 平家三代目総帥としての宿命を背負った維盛の物語について考察する。 | 土佐 朋子 |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 嗣信最期の事　那須与一の事　弓流しの事 | 屋島の合戦をめぐる物語を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 9番教室 | 平家滅亡 | 壇ノ浦での最後の源平合戦をめぐ | 土佐 朋子 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | る物語を考察する。 | |
| 14 | 1/19 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | 平家滅亡の後 | 平家が滅亡した後の、遺された人々の物語を考察する。 | 土佐 朋子 |
| 15 | 1/26 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | まとめ | 半年間の講義を踏まえて、歴史の転換点を生きた人々の物語について考察し、考えをまとめる。 | 土佐 朋子 |

**授業方法**

講義形式。

**授業内容**

『平家物語』の後半を中心として、時代の転換点において、平家の一員としての宿命を背負った人々の生が、どのように描かれているかを考察する。

具体的な内容については「授業スケジュール」に記したが、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、順序を入れ替えたり、内容を変更したりする場合がある。

**成績評価の方法**

評価:筆記試験0%・レポート 50%

その他 50%(授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等)

再評価:有(再評価方法 原則として再レポート)

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。

②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。

③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学科共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で扱われる箇所については、事前に読んでおく。授業中にしっかりと作品に向き合う。授業中にしっかりメモを取りながら講義を聴く。

**試験の受験資格**

レポート提出:原則として3分の2以上出席

**教科書**

平家物語 下巻／佐藤 謙三 校註.:角川書店, 1999

**参考書**

授業中に紹介する。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いとなります。

**連絡先**

土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30–PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000020 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 法学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 飛田 綾子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜 2限

対象学科:医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1-2)人間の営みを知る。( 社会制度や仕組みについての基本を理解する。)1-9)社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)

**授業の目的、概要等**

社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。よって法に関する正しい知識を身につけることは結局、自分自身のためになります。法的な争いは裁判所で法を適用して結論が出されますが、時に理不尽に思われるような結論もあります。例えば自分のプライバシーを暴くような報道であっても、それを報じる雑誌の差し止めはなかなか認められません。また、国の政策である予防接種制度によって重大な障害をおっても、国に責任を問うのは容易ではありません。実際の判決文ではどのように理由づけているのでしょうか。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権は具体的にどのようなものなのか、そしてそうした人権は海外での保障のあり方とどのように異なるのか、といった論点を具体例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」も併せて履修すると理解が深まると思います。

**授業の到達目標**

(1)日本国憲法の基本的原則を踏まえた上で、その保障している人権を理解する。

(2)日本の人権保障のあり方を全体像を認識したうえで、望ましい法のあり方について考察することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 飛田 綾子 |

**授業方法**

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。

**授業内容**

第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介

第2回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務等／日本国憲法の原理

第3回 人身の自由(刑事手続きで保障される権利など)

第4回 国務請求権(国家賠償請求権など)

第5回 参政権(選挙権の原則・一票の格差など)

第6回 財産権(職業選択の自由など)／社会権①(生存権)

第7回 社会権②(教育を受ける権利、労働権)

第8回 思想・良心の自由(日の丸・君が代問題など)／学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係)

第9回 信教の自由(靖国神社公式参拝問題など)

第10回 表現の自由(報道の自由、名誉毀損、性表現の規制の是非など)

第 11 回 包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など)
第 12 回 法の下の平等(再婚禁止期間・夫婦別姓問題など)
第 13 回 基本的人権のまとめ①(外国人の人権など)
第 14 回 基本的人権のまとめ②(公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など)
第 15 回 まとめ(個人の尊重とは何か)と理解度の確認

**成績評価の方法**

評価 : 試験 % ・ レポート 65% ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 35 % 再評価: 有(再評価方法レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。一票の較差をめぐる裁判など、憲法に直接かかわるニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

**教科書**

特に指定しません。

**参考書**

末川博編『法学入門(第 6 版補訂版)』有斐閣、2014 年。初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版補訂版)』有斐閣、2014 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権(第 6 版)』有斐閣、2016 年。安西文雄・巻美矢紀・宍戸常寿『憲法学読本(第 2 版)』有斐閣、2014 年。君塚正臣編『比較憲法』ミネルヴァ書房、2012 年。大谷實『新・いのちの法律学』悠々社、2011 年。

**履修上の注意事項**

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)
③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。

| 時間割番号 | 000026 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 法学Ⅰ（憲法） | | | | |
| 担当教員 | 飛田 綾子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 水曜 3限

対象学科:医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-2)人間の営みを知る。( 社会制度や仕組みについての基本を理解する。)1-9)社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)

**授業の目的、概要等**

日常のニュースのほとんどは憲法と何かしら関わりを持っています。たとえば芸能ニュースは私たちの生活には無関係に見えても、憲法で保障されている「表現の自由」という大きな枠組みから見れば決して無関係ではありません。そして社会問題に関心を持ちその知識を得ることは、結局自分自身のためになります。ですから、憲法の重要な論点の一つである生存権の保障や平和主義など、聞いたことはあるが身近な問題としてはとらえづらい言葉を理解することは大いに意義があります。この授業では有名な裁判例を多く取り上げながら、歴史、現代政治の知識を確認しつつ、日本国憲法の全体像を示したいと考えています。

**授業の到達目標**

⑴日本国憲法はどのような人権を保障しているのか、国会、内閣、裁判所の統治機構はそのために、いかなるルールの下で各々の役割を担うべきなのか。また現状に問題はないのか。こうした問題について説明できるようになる。

⑵表現の自由の規制のあり方、成年後見人制度の問題点、日本の国際貢献の在り方、裁判員制度などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察できるようにする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 飛田 綾子 |

**授業方法**

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。

**授業内容**

第1回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義／人身の自由 第2回 国務請求権(国家賠償請求権など)／参政権(選挙の原則、一票の格差)

第3回 財産権(職業選択の自由など)／社会権①(生存権・教育を受ける権利)

第4回 社会権②(労働基本権)／思想・良心の自由(日の丸・君が代問題など)

第5回 信教の自由(靖国神社公式参拝問題など)／学問の自由(先端医療技術の法的規制の問題など)

第6回 表現の自由①(報道の自由、名誉毀損的表現など)

第7回 表現の自由(集会・結社の自由など)／包括的権利(プライバシーの権利など)

第8回 法の下の平等(夫婦別姓・再婚禁止期間など)／基本的人権のまとめ(外国人の人権、成年後見人制度など)

第9回 日本憲法史／天皇制

第10回 平和主義(憲法9条の解釈・平和安全法制の概要など)

第11回 統治機構 権力分立／国会(衆参両院の役割分担など)

第 12 回 内閣(内閣総理大臣の権限強化の是非など)
第 13 回　裁判所(裁判員制度・司法の独立など)
第 14 回 財政／地方自治(道州制の是非など)
第 15 回 まとめと理解度の確認

**成績評価の方法**

評価 : 試験　% ・ レポート 65% ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 35　%　　再評価:　有(再評価方法レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習・復習として、レジュメをよく読み、授業内容を確認することは非常に有用です。また一票の較差を巡る判決や自衛隊の国際派遣など、憲法に直接かかわるニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

**教科書**

特に指定しません。

**参考書**

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版補訂版)』有斐閣、2014 年。樋口陽一『個人と国家』集英社新書、2000 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権(第 6 版)』有斐閣、2016 年。同『憲法 2 統治(第 6 版)』有斐閣、2016 年。

**履修上の注意事項**

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)
③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。

| 時間割番号 | 000021 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 法学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 飛田 綾子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)人間の営みを知る。( 社会制度や仕組みについての基本を理解する。)1-9)社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)

**授業の目的、概要等**

近年、憲法を改正すべきだという議論が声高に叫ばれています。議論の高揚している背景を理解し、その上で改正の必要性を冷静に考えるためには、憲法に関する基礎知識が必要です。憲法は人権保障と並んで国会、内閣、裁判所といった統治機構についても規定しています。こうした機関がどのような権限を持っているのか、また地方自治や天皇制、平和主義についての有名な裁判や他国との比較的視点を盛り込みながら説明します。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」と併せて履修するとより理解が深まると思います。

**授業の到達目標**

(1)日本国憲法の統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較的視点を盛り込みつつ、身につける。

(2)現在議論されている憲法改正や平和主義の問題などについて、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持つ。

(3)世界各国の憲法と日本国憲法を比較し、共通点や相違点を把握する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 飛田 綾子 |

**授業方法**

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。

**授業内容**

第 1 回 ガイダンス 授業の目的・概要

第 2 回 立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)

第 3 回 国会①国会の地位と組織

第 4 回 国会②国会・議院・国会議員の権能

第 5 回 内閣(議院内閣制・内閣の組織と権能)

第 6 回 裁判所①司法権の範囲と限界(裁判所の権限、司法権の独立など)

第 7 回 権力分立(各国との相違)／違憲審査制度(日米独仏との相違)

第 8 回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較)

第 9 回 天皇制(天皇は君主か元首か、天皇制の果たす役割)

第 10 回 平和主義①(自衛隊の合憲性、集団的自衛権の解釈変更の影響など)

第 11 回 平和主義②(判例・平和安全法制の概要など)

第 12 回 )地方自治(道州制の可否など)

第 13 回 財政(政教分離との関連など)

第 14 回 憲法正条項と改正の限界 第 15 回 全体のまとめ・理解度の確認

**成績評価の方法**

評価 : 試験 % ・ レポート 65% ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 35 % 再評価: 有(再評価方法レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習・復習として、レジュメをよく読み、授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。自衛隊の海外派遣や内閣総理大臣の解散権の行使など憲法に直接かかわるニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

**教科書**

特に指定しません。

**参考書**

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版補訂版)』有斐閣、2014 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治(第 6 版)』有斐閣、2016 年。笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度』有斐閣、2015 年。辻村みよ子『比較憲法(新版)』岩波書店、2011 年。大山礼子『日本の国会』岩波新書、2011 年。飯尾潤『日本の統治構造』中公新書、2007 年。

**履修上の注意事項**

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)
③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。

| 時間割番号 | 000022 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 政治学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 面 一也 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜・2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する

3-5) 国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

政治理論は危機の時代に生まれる、と言われる。危機に立ち向かいその解決を目指す点で、政治学は古来より医学に喩えられてもきた。本授業では、二度の世界大戦、大衆社会化に伴う人間の画一化、マイノリティの排除や差別、テロとの戦い、ポピュリズム…等々の危機に対峙してきた、現代の代表的な政治理論を概観しながら、今日の政治がなお抱えている諸課題に関して、批判的考察を行なう。とくに問うべきは、それらの政治理論がはたして問題を解決できているのかどうか、もしできていないとしたら、それは何を意味しているのか、である。

**授業の到達目標**

1 現代の政治理論の主要な争点を理解する。

2 今日の政治的諸課題について理解する。

3 現在および将来の政治的諸課題に対する批判的考察力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

1. 授業全体のイントロダクション
2. マックス・ヴェーバー1 生の意味喪失:近代の合理化の帰結としての非合理
3. ヴェーバー2 プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
4. ヴェーバー3 精神のない専門人、心情のない享楽人:資本主義社会の末人たち
5. ヴェーバー4 支配の3類型、官僚制の不可避的進展とその害悪
6. ヴェーバー5 政治家の使命:心情倫理と責任倫理
7. アレクサンドル・コジェーヴ1 欲望の自我:動物的欲望と人間的欲望
8. コジェーヴ2 生死を賭けた承認をめぐる闘争
9. コジェーヴ3 主人と奴隷の弁証法から血塗られた革命へ
10. コジェーヴ4 歴史の終わり:賢者によるホモ・サピエンスの飼育国家
11. ミシェル・フーコー1 “真理”を語る者は誰か?:近代批判としての系譜学的問い
12. フーコー2 規律/訓練テクノロジー:権力への自発的服従

13. フーコー3　司牧者権力と生政治:知と権力の結託による生の監視
14. フーコー4　近代への抵抗:新しい主体の可能性
15. 学期末試験の予定

**成績評価の方法**

評価　:　試験　80%　・　レポート　　%　・　その他(リアクションペーパー)　20%
再評価:　有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

復習に力点を置くことを勧める。ノートと引用資料をよく読み返し、自らの考察を簡単に書き留めておくとよい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価に際しても考察を重視する。

**教科書**

授業時に配布する引用資料を主に用いる。

**参考書**

藤原保信、飯島昇藏編著『西洋政治思想史Ⅱ』新評論、1995 年。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムに従うが、教員自身が取る出欠を優先させる。

| 時間割番号 | 000023 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 政治学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 面 一也 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜・2 限

1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する

3-5) 国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

本授業では、政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら、現代政治の理論を踏まえつつ、政治の具体的現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、教科書には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、考察を進めたい。

**授業の到達目標**

1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。

2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。

3 現在の政治と未来の政治に関する考察力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 面 一也 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

1. 授業全体のイントロダクション
2. 政治をどう捉えるか
3. 国家は何のためにあるか
4. 政治体制:リベラル・デモクラシーの特徴
5. 選挙と投票:選挙権拡大と戦争動員の連関
6. 政党:追求するのは一般利益か特殊利益か
7. 政権とアカウンタビリティ:説明責任と大衆迎合主義(ポピュリズム)
8. 執政・立法・司法:三権分立の多様なあり方
9. 政策過程:政・官・財の関係
10. 連邦制と地方分権:地方は創生されるか
11. 安全保障と平和:主権国家体制から核抑止による恐怖支配へ
12. 国際政治経済:グローバル化の光と影
13. 国際社会と集団・個人:国家主権は基本的人権よりも優先されるべきか
14. グローバル・イシュー
15. 期末試験の予定

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 80% ・ レポート　　% ・ その他(リアクションペーパー)　20%

再評価:　有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

復習に力点を置くことを勧める。教科書、ノート、配布資料をよく読み返し、自らの考察を簡単に書き留めておくとよい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価に際しても考察を重視する。

**教科書**

砂原庸介、稗田健志、多湖淳『政治学の第一歩』有斐閣、2015 年。

**参考書**

必要に応じて、資料を配布する。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムに従うが、教員自身が取る出欠を優先させる。

| 時間割番号 | 000024 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 経済学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 宮本 拓郎 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2)

**授業の目的、概要等**

目的

受講者がミクロ経済学の基礎的な概念や考え方を理解することを目的とします

概要

経済学Ⅰではミクロ経済学の基礎を学びます。ミクロ経済学は、モノやサービスの取引制度としての市場がうまく機能するのはどのようなときなのか、市場がうまく機能しない原因は何なのか？ どのような対応をすればうまく機能するのかを考える学問です。そして、市場が機能するかどうかを考える際に、取引に参加する消費者(買い手)や企業(売り手)の行動についても分析します。本講義では、これらの点について、経済学ではどのように考えるのかについて説明します。また、医療や福祉と関連の強い再分配政策についても説明します

**授業の到達目標**

社会経済の問題・現象や人々の意思決定の経済学的な捉え方を理解すること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 宮本 拓郎 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

1.ミクロ経済学とは？

2.個人の選択を考える

3.需要曲線と供給曲線

4.市場均衡と効率性

5.完全競争市場への政府介入と死荷重の発生

6.市場の失敗と政府の役割

7.独占

8.外部性

9.公共財

10.情報の非対称と取引費用

11.ゲーム理論と制度設計

12.格差と再分配政策

13.税の仕組みと効果

14.年金制度と財政問題
15.まとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 100% ・ レポート % ・ その他( ) %
再評価: 有(再評価方法) ・ 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は特に必要ないです。予習よりも復習に力を入れて下さい

**教科書**

特になし。だたし、基本的には参考書に基づいて講義をすすめる。具体的には、授業内容の 1〜11 は参考書 1 を 12〜14 は参考書 2 に基づく。

**参考書**

1. 安藤至大(2013)「ミクロ経済学の第一歩」、有斐閣ストゥディア
2. 寺井公子、肥前洋一(2015)「私たちと公共経済」、有斐閣ストゥディア

**履修上の注意事項**

小テストを 2 回実施する予定で、その小テスト 30%と期末試験 70%での評価と期末試験 100%での評価の良い方を最終成績とする。試験の受験資格者は 10 回以上出席者とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなす。

| 時間割番号 | 000025 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 経済学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 田場　弓子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:　金曜　2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2

**授業の目的、概要等**

目的:

国際経済の中で起こっている様々な現象を経済学理論に即して理解できるようになることを目的とします。

概要:

国際経済学は、大まかに国際金融、国際貿易、国際マクロ経済学に分かれますが、本講義では、ミクロ経済学を基礎とした国際貿易について学びます。日本を含め、世界各国は国際的な経済取引を行っています。そして、これらの取引は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。貿易はなぜ起こるのか、各国が実施している貿易政策は一国全体にどのような効果を与えるのかといったことについて解説します。

**授業の到達目標**

国際貿易の成り立ち、貿易政策の手段及びその効果を経済学的に理解し、短絡的な議論に惑わされることなく自分なりの意見を持てるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 10番教室 | 田場　弓子 |

**授業方法**

講義形式で行います。概ね授業内容通りに進める予定ですが、理解度によって適宜調整します。教科書は指定しません。

**授業内容**

第1回　ガイダンス:日本を取り巻く国際的な経済取引

第2回　貿易の基本モデル:部分均衡分析

第3回　貿易の基本モデル:一般均衡分析

第4回　比較優位と絶対優位

第5回　リカードモデル:技術格差と貿易パターン

第6回　ヘクシャーオリーンモデル1:生産要素賦存量と貿易パターン

第7回　ヘクシャーオリーンモデル2:リプチンスキー定理とストルパー=サミュエルソン定理

第8回　中間試験

第9回　貿易政策1:輸出入関税・補助金政策

第10回　貿易政策2:輸出入割当政策

第11回　貿易政策3:国内産業保護政策

第12回　貿易政策4:　不完全競争下の関税政策

第13回　国際要素移動1:海外直接投資

第14回 国際要素移動2:国際労働移動

第15回 貿易協定

**成績評価の方法**

評価 : 試験 80% ・ レポート　　% ・ その他(授業中の小レポートもしくはテスト)20%

再評価:　有(再評価方法)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

特になし

**参考書**

石川城太・菊池徹・椋寛 著『国際経済学をつかむ』有斐閣

大川昌幸 著『コア・テキスト 国際経済学』第2版 新世社

阿部顕三・遠藤正寛 著『国際経済学』有斐閣アルマ

中西訓嗣 著『国際経済学 国際貿易編』ミネルヴァ書房

P.R.クルーグマン・M.オブズフェルド 著『クルーグマンの国際経済学 理論と政策 上 貿易編』丸善出版

**履修上の注意事項**

出欠は、出欠管理システムの記録による。 定期試験、再試験の受験資格:3分の2以上の出席

**備考**

キーワード:経済学、国際貿易

| 時間割番号 | 000029 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 社会学AⅡ | | | | |
| 担当教員 | 白川 俊之 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

◇ 曜日・時間: 月曜 2 限

◇ 対象学科:全学科

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

**主な講義場所**

4番教室

**授業の目的、概要等**

現代社会では、多様な人々がともに生活を営んでいます。出身地や親の地位に関して異なった背景から出発し、異なった学歴を得て、さまざまな職業に就いている人々が、同じ「社会」のなかにいます。さらに、現代社会を捉えるうえでは、変化や流動化が重要なキーワードになっています。かつて、日本社会では非常に多くの人々が農村部で暮らしていましたが、時代を下るごとに都市生活者が増えてきました。それにともない、多くの人々が、自分の両親とは違った仕事に就くようになりました。1990 年代以降は、雇用の流動化によってフリーターに代表される非正規労働者が増え、人々の働き方が大きく変わりました。また、家庭の外で働く女性の数も、ますます増えています。このような社会の変化は、私たちのものの考え方(意識)にも大きな変化をもたらします。

社会学は、人間と人間との関係によって「社会」が構成されているという観点から、上で挙げたような社会の成り立ちやその作動条件を明らかにしようとする、経験的な学問です。また、近年の流れとして、社会科学全般において、実証的なデータにもとづく議論がとても重視されるようになっています。現代社会の理解のための優れた道具である社会学の知識と、実証データという強力な武器を組み合わせたとき、どのような社会的現実が私たちの目の前に浮かび上がるのか——そのことを本講義をとおして、一緒に考えていきましょう。

**授業の到達目標**

(1)上記の試みをつうじて、「私たちが住む社会がどのような姿をしているか」について理解を深めること。

(2)社会のメカニズムを捉えるための実態調査や分析手法についての基礎的な知識を得ること。

(3)人間の多様性を理解し、自らとは異なる人々の意味世界や生活経験について共感できるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 |
|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 4 番教室 |

**授業方法**

初回のイントロダクションと第 2 回～第 8 回の授業は講義形式で行う予定です。第 9 回以降は、担当者が指定した文献を用いてディスカッションを中心としたセミナー形式の授業を行います(初回の授業時に授業のすすめ方等を詳しく説明します)。

教科書は使用せず、毎回スライドや資料を用意します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

**授業内容**

各回の授業では次のようなトピックを扱っていきます。

第 1 回:社会学はどのような学問か、社会学の歴史、隣接領域の学問との類似や相違について
第 2 回-8 回:基本的な社会学の研究分野(労働、家族、健康など)における問いのタイプと方法について
第 9 回-15 回:現代社会への社会学の応用とそこから見えてくる文化や生活の問題について

**成績評価の方法**

◇評価:期末試験もしくは期末レポート 80%
その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など)
◇再評価:有(試験もしくはレポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

社会学の研究にとって最良の素材は、あらゆる社会的な現象そのものだといえます。授業で取り上げた社会学的な概念や手法を用いて、自らの日常生活や文化体験を分析、解読してみましょう

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

教科書はありません。毎回スライドを用意します。

**参考書**

参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

| 時間割番号 | 000030 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 社会思想史Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 山岡 龍一 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 金曜 1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)、1－3)、1－5)、1－9)

**授業の目的、概要等**

前近代期の社会思想への理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。この反省によって、「社会の中で自分が生きる」ということに関して学生が、自分自身の力で考えていくことでできるようになることが、目指される。

授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テクストの紹介)を与える。題材としては西洋の、古代ギリシアから中世にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を紹介する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。

**授業の到達目標**

講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。

学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。

エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方で自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとすることが必要である)。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 2 | 4/21 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 3 | 4/28 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 4 | 5/12 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 5 | 5/19 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 6 | 5/26 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 7 | 6/2 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 8 | 6/9 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 9 | 6/16 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 10 | 6/23 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 11 | 6/30 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 12 | 7/7 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 13 | 7/14 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 14 | 7/21 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |
| 15 | 7/28 | 09:10-10:40 | 4番教室 | 山岡 龍一 |

**授業方法**

授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。

**授業内容**

1. イントロダクション
2. オイコスとポリス
3. ソクラテスの生と思想
4. プラトンとアテナイ
5. プラトンの正義論
6. プラトンのイデア論と社会観
7. アリストテレスのプラトン批判
8. アリストテレスのコイノーニアー観
9. アリストテレスの正義論
10. キケロとローマ共和政

11. キケロの自然法論
12. キリスト教における人間と社会
13. アウグスティヌスの政治社会論
14. アウグスティヌス主義とアリストテレス主義
15. トマス・アクィナスの政治社会論

**成績評価の方法**

評価 : 試験 100%

再評価: 有(レポート)ただし欠席数が2回以下の者に限る

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテクストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

**参考書**

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年

水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年

木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

| 時間割番号 | 000031 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 社会思想史Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 山岡 龍一 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 金曜 1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－2)、1－3)、1－5)、1－9)

**授業の目的、概要等**

近・現代期の社会思想の理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。その反省によって、「社会の中で自分が生きる」という主題に関して学生が、自分自身の力で考えていくことができるようになることが、目指される。

授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テクストの紹介)を与える。題材としては西洋の、ルネサンス期から現代にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を吟味する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。

「社会」を記述的のみならず、規範的にも理解する方法を考察する。この点に関して、特に「自由」と「正義」の問題に光を当てて、「より善き社会」というテーマをめぐる、さまざまな思想を紹介し、検討する。

**授業の到達目標**

講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。

学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。

エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方で自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとすることが必要である)。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 14 | 1/19 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |
| 15 | 1/26 | 09:10-10:40 | 3番教室 | 山岡 龍一 |

**授業方法**

授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。

**授業内容**

1. マキアヴェッリの人間観
2. マキアヴェッリと近代共和主義の伝統
3. 近代知のパラダイム:デカルトとベーコン
4. ホッブズの人間観
5. ホッブズの政治社会論
6. ロックの人間観
7. ロックの政治社会論
8. ヒュームの人間論

9. ヒュームとスミスの社会論
10. ルソーの近代社会批判
11. ルソーの政治社会論
12. ヘーゲルの人倫論
13. マルクスと近代社会
14. 功利主義思想
15. 社会正義論の現在

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 100%

再評価: 有(レポート) ただし欠席数が2回以下の者に限る

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテクストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

**参考書**

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年

水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年

木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

坂本達哉『社会思想の歴史』名古屋大学出版会、2014 年

| 時間割番号 | 000032 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文化人類学Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 三谷　純子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知ります。具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

**授業の到達目標**

目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、国際社会の開発目標のSDGと子どもの権利の関係について説明できる。

目標2. 子どもを含む当事者の参加の重要性と、行動を変えるための広報について具体例をあげて説明できる。

目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。

目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。(具体例としてはポリオ対策と水と衛生を用いる予定ですが、医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動員、メディアや各種団体との協働、資金調達等について取り上げます。)

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 三谷　純子 |

**授業方法**

講義、ビデオ視聴、資料解読、グループワークによる発表、ロールプレイ等。

**授業内容**

1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)
2. Hopes and Fears, クラスルール策定 子どもの権利条約と3つの選択議定書制定の背景
3. 子どもの権利の相互関係性
4. 子どもの権利促進の協力のしくみ (国際レベル)
5. 持続可能な開発目標SDG
6. 子どもの権利促進の協力のしくみ(国レベル)
7. 参加型開発とC4D
8. レポートの書き方
9. 子どもの死亡の現状と主要な要因
10. 感染症対策ポリオ

11. 感染症対策　ポリオ
12. 水と衛生
13. 水と衛生
14. まとめ
15. テスト

**成績評価の方法**

評価　:レポート60%　その他、出席・フィードバックシートと授業への参加　40%
再評価:　有（再評価方法）　レポートの提出

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

次の授業でのディスカッションのために配布資料を読んでくることを課すことがあります。子どもの権利と様々な文化に関連する、文献や、映画、報道、講演会等を紹介するので、積極的に情報を得る努力を自分でして教養を高めてください。

**教科書**

授業中に適宜プリントや資料を配布するので、A4のフォルダーを用意してください。

**参考書**

www.unicef.orjp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html　や、WHO、CDC、WB、Save the Childrenl 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。

**履修上の注意事項**

将来国際協力に関与する意欲のある学生の受講を望みます。遅刻・欠席するとグループワークに支障が出るのでしないように注意してください。授業の最後に提出するフィードバックシートによる出欠記録を優先します。授業中の積極的な参加が求められます。レポート課題に真剣に取り組むことが求められます。

**備考**

受講状況等によりシラバスを変更することがあります

| 時間割番号 | 000035 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 文化人類学Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 三谷　純子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグルーバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

**授業の到達目標**

目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。

目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。

目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | 三谷　純子 |

**授業方法**

講義、ビデオ視聴、資料解読、グループワークによる発表等。

**授業内容**

1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)
2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化
3. 世界の出生登録の現状と国際社会の取り組み
4. 国籍と国家の役割
5. 無国籍に関する国際条約と国際社会の取り組み
6. 日本の無戸籍・無国籍
7. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大、
8. 難民認定制度
9. 日本の難民認定・仮放免・在留特別許可
10. 3つの恒久的解決の限界と日本の第3国定住プログラム

11. 難民の移民化と子ども
12. 難民・移民と治安・差別
13. 移民
14. 社会統合
15. アイデンティティと法的地位
16. まとめ
17. テスト

**成績評価の方法**

評価 : 試験 60 % (うち小テスト20%) ・ 出席・フィードバックシートと授業への参加 40 %
再評価: 有(再評価方法 レポートの提出

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業中に配布する資料をよく読み、わからないことは質問すること。難民・移民・無国籍と様々な文化に関して、授業中に紹介する文献や、映画、報道、講演会等で積極的に情報を得る努力を自分でして教養を高めてください。

**教科書**

授業中に適宜プリントや資料を配布するので、A4のフォルダーを用意してください。

**参考書**

難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。日本の難民・移民について読みやすい本は、藤原良雄他編「なぜ今移民問題か」藤原書店 2014,駒井洋監修佐々木てる「マルチ・エスニックジャパニーズ:00系日本人の変革力」 明石書店 2016 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017 他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等のHP。 世界の無国籍は www.institutesi.org、 日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。

**履修上の注意事項**

前期よりは講義部分が多くなります。遅刻・欠席するとグループワークに支障が出るのでしないように注意してください。授業の最後に提出するフィードバックシートによる出欠記録を優先します。授業中の積極的な参加が求められます。講義中に小テストをします。

**備考**

受講状況等によりシラバスを変更することがあります

| 時間割番号 | 000036 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 社会科学特論Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 濱本　真実 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間:金曜1限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

1－3)人間の歴史的営みを理解する　1－4)異なる空間の文化を理解する　3－4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

イスラームと聞くと、多くの人は中東を思い浮かべるだろうが、中央ユーラシアやロシアにも多くのイスラーム教徒(ムスリム)が居住している。

ロシアは現在では多宗教国家を標榜しているが、20 世紀初頭まで、ながらくキリスト教の正教(東方正教)を国教としてきた国であり、ロシア帝国下のイスラーム教徒は、キリスト教徒を君主とする国で自らのイスラームの信仰を護っていたのだった。

本講義では、かつてロシア帝国に含まれた中央ユーラシア諸地域とロシアのイスラーム教徒に焦点を当てながら、両地域の相互関係や、日本ではなじみの薄いキリスト教の正教とイスラームという二つの宗教について学ぶ。そして、イスラーム教徒とキリスト教徒の共生という問題を考える。

**授業の到達目標**

1. 中央ユーラシアの文化と歴史、さらに、中央ユーラシアとロシアの深く長い関係について理解を深める。

2. キリスト教の正教(東方正教)とイスラームという2つの宗教について理解を深める。

3. イスラーム教徒とキリスト教徒の共生の歴史を、ロシア(ロシア帝国、ソ連、現在のロシア連邦)を例に理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 2 | 4/21 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 3 | 4/28 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 4 | 5/12 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 5 | 5/19 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 6 | 5/26 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 7 | 6/2 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 8 | 6/9 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 9 | 6/16 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 10 | 6/23 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 11 | 6/30 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 12 | 7/7 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 13 | 7/14 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 14 | 7/21 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |
| 15 | 7/28 | 09:10-10:40 | 3 番教室 | 濱本　真実 |

**授業方法**

講義

**授業内容**

1. ガイダンス
2. イスラームとは？
3. イスラーム圏の拡大
4. 中央ユーラシアのイスラーム化とテュルク化
5. キリスト教の正教（東方正教）とは？
6. ロシアのキリスト教化
7. ロシア帝国の中央ユーラシア征服（1）
8. ロシア帝国の中央ユーラシア征服（2）
9. ロシア帝国支配下の中央ユーラシア
10. ロシア革命とイスラーム
11. ソビエト政権下のイスラーム教徒
12. 現代の中央ユーラシア（1）
13. 現代の中央ユーラシア（2）
14. 現代ロシアにおけるイスラーム教徒とキリスト教徒の共生
15. まとめ

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 80 % ・ レポート % ・ その他（出欠、コメントシートの回答などの平常点） 20 %

再評価： 有（試験もしくはレポート）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

イスラーム史とロシア史の知識が乏しい受講者は、それぞれの概説書を読んで予習しておくことが望ましい。

授業の理解が難しい場合は、授業中に配布するプリントに挙げられる参考文献を利用しての復習が必要になる。

**教科書**

特になし。毎回プリントを配布する。

**参考書**

毎回の授業で、授業内容に関する参考書を指示する。

**履修上の注意事項**

原則的に3分の2以上の出席を試験の受験資格とする。

**備考**

キーワード：イスラーム、キリスト教、正教、東方正教、ロシア、ソ連、中央アジア、中央ユーラシア

| 時間割番号 | 000037 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 社会科学特論Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 尾内 隆之 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－10、2－3、2－4

**主な講義場所**

10 番教室

**授業の目的、概要等**

戦後日本で起きた公害事件や重大事故、および科学技術をめぐって現在進行中のさまざまな問題を、社会科学的な観点から分析し、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。

**授業の到達目標**

科学技術の価値や意義、およびそのリスクへの対応の在り方を社会科学的観点から分析する手法を知り、その意義への理解を深める。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | 尾内 隆之 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 尾内 隆之 |

**授業方法**

講義とゼミの混合形式です。講義ではレジュメ等を配布し、適宜、映像を使います。演習(ショートスピーチ、チームディベートなど)は受講生の人数に応じたスタイルをとります。

**授業内容**

①イントロダクション、②「予防接種」を通して考える科学と社会、③公害と科学、④環境問題と科学、⑤生殖医療、⑥脳死・臓器移植、⑦遺伝子組換え技術、⑧低頻度巨大災害、⑨～⑫グループ演習、⑬リスクコミュニケーション、⑭～⑮まとめ(科学の不定性と社会的意思決定の諸課題)

**成績評価の方法**

評価 : 試験 % ・ レポート 50% ・その他(授業への参加度 50%)

再評価: 有(レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

ポスト 3.11 の日本における「低線量被曝問題」に関する情報を多角的に集め考察する(ディベート課題の準備を兼ねます)。

**教科書**

特に指定しません。

**参考書**

平田光司・本堂毅・尾内隆之・中島貴子編(2017)『科学の不定性と社会:現代の科学リテラシー』信山社。ほか、講義中に随時紹介し

| |
|---|
| ます。 |
| **履修上の注意事項**<br>教員が毎回、出欠を確認し、その記録を優先します。毎回授業終了時にリアクションペーパーを書いてもらうので、その内容も成績評価基準の「授業への参加度」に含みます。 |
| **備考**<br>キーワード：科学の不定性、トランスサイエンス、リスクガバナンス |

| 時間割番号 | 000845 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | Japanese Culture and Society Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | Carlson Rebecca Lynn | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3－6

The Anthropology of Illness and Medicine in Japan

**授業の目的、概要等**

Through an examination of contemporary Japanese society, this course introduces students to the basic social science concepts necessary to develop critical thinking skills. This is essential step to understanding the impact society has on individual health and modern health care systems. This semester, we will use health and sickness as a lens to view broader social experiences in Japan today. Specifically, the course will explore Japan's plural health system and patient explanatory models, including attention to the development of social ideas of "illness" and the changing practice of health care in Japan.

**授業の到達目標(SBOs)**

At the end of the course, students will be able to:

1. Think critically about concepts of sickness and health in contemporary Japanese society
2. Understand and discuss basic social science approaches to health, such as explanatory models and plural health systems and apply these concepts to new topics independently
3. Work effectively in peer groups through discussion and presentations
4. Improve communication in English, both orally and in writing

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 3番教室 | Carlson Rebecca Lynn |

**授業方法**

Discussion and debate

Group projects

Reading comprehension and research

Presentations

Other in class activities

**授業内容**

Week 1 / April 17: Orientation to the course: Illness vs. disease

Week 2 / April 24: Care-seeking: Home remedies for a "cold" (風邪)

Week 3 / May 1: Sense-making: Etiology of a "cold" (風邪)

Week 4 / May 8: A history of kanpō (漢方) and ki (気)

Week 5 / May 15: Illness and the community: Kitsunetsuki (狐つき)

Week 6 / May 22: The folk sector: Religion and healers

Week 7 / May 29: Medicalization: Menopause in the US

Week 8 / June 5: Changing medical practice: Menopause in Japan

Week 9 / June 12: Explanatory models of diabetes in the US and Japan

Week 10 / June 19: The professional sector: Diabetes diagnosis in the US and Japan

Week 11 / June 26: Utsubyo (うつ病) and suicide

Week 12 / July 3: Depression and the marketing of SSRIs

Week 13 / July 10: Government policy making: Depression and rework

Week 14 / July 24: Review/papers due

Week 15 / July 31: Final presentations/assessment

**成績評価の方法**

Attendance and in class participation: 30%

Homework and other assignments: 50%

Final paper: 10%

Final Presentation: 10%

**成績評価の基準**

Attendance and participation with in class activities and discussions is essential.

If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.

If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted by email before the next week's session. Students must also turn in an identical hard copy of the homework to the instructor during the following week's class.

Homework assignments more than one week late will not be accepted.

**準備学習などについての具体的な指示**

**試験の受験資格**

There is no official final examination for this course.

To receive credit, students must attend two-thirds of all class sessions.

**教科書**

Assigned readings will be given in class or distributed via email.

**履修上の注意事項**

All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English. However, students may use Japanese during group

| |
|---|
| discussion with each other when necessary to clarify points. |
| **連絡先** |
| Carlson Rebecca Lynn:carlson.isc@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー** |
| Carlson Rebecca Lynn:毎週 月曜日 PM.12:20–PM.1:10 図書館 棟 1階 Communication 室 |

| 時間割番号 | 000846 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | Japanese Culture and Society Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | Carlson Rebecca Lynn | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3－6

The Anthropology of Gender in Japan

**授業の目的、概要等**

Through an examination of contemporary Japanese society, this course introduces students to the basic social science concepts necessary to develop critical thinking skills. These are essential skills needed to appreciate and analyze the impact society has on individual health and modern health care systems. This semester, we will use gender as a lens to view broader social experiences in Japan today. Specifically, the course will explore the development of modern gender roles, and ideas of masculinity and femininity, from their birth in the Meiji era to the 21st century.

**授業の到達目標(SBOs)**

At the end of the course, students will be able to:

1. Think critically about concepts of gender and gender roles in contemporary Japanese society and self-reflect on assumptions and biases
2. Understand and discuss basic social science approaches to gender such as socialization, social norms and power and apply these critical thinking concepts to new topics independently
3. Work effectively in peer groups through discussion and presentations
4. Improve communication in English, both orally and in writing

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 12番教室 | Carlson Rebecca Lynn |

**授業方法**

Discussion and debate

Group projects

Reading comprehension and research

Presentations

Other in class activities

**授業内容**

Week 1 / September 25: Biological sex vs. gender

Week 2 / October 2: Gender around the world

Meiji Restoration (1860s-World War Ⅱ) // Creating social ideals

Week 3 / October 16: Transforming the Japanese family during the Meiji era

Week 4 / October 23: The Good Wife, Wise Mother edict

Week 5 / October 30: The birth of women's language

Post-World War Ⅱ (1950s-1980s) // Gender expectations and deviance

Week 6 / November 6: The education mother

Week 7 / November 13: Corporate masculinity

Week 8 / November 20: OLs and corporate advancement for women

Post-bubble (1980s-today) // Change and resistance

Week 9 / November 27: Salarymen and work-life balance

Week 10 / December 4: Herbivore men

Week 11 / December 11: Josei (女性) and the JK business

Week 12 / December 18: Parasite singles and moral panics

Week 13 / January 15: The rise of single mothers

Week 14 / January 22: Review/papers due

Week 15 / January 29: Final presentations/assessment

**準備学習などについての具体的な指示**

**教科書**

Assigned readings will be given in class or distributed via email.

**履修上の注意事項**

All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English. However, students may use Japanese during group discussion with each other when necessary to clarify points.

**連絡先**

Carlson Rebecca Lynn:carlson.isc@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Carlson Rebecca Lynn:毎週 月曜日 PM.12:20-PM.1:10 図書館 棟 1階 Communication 室

| 時間割番号 | 000869 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | Japanese Culture and Society Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 今村 圭介 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

**主な講義場所**

未定

**授業の目的、概要等**

Culture and Society are concepts relative to one's own experience which can be elaborated through multiple perspectives and comparison. In fact, bunka(文化): culture and shakai(社会): society, are both translated words created only after contact with the West during the Meiji era. This course focuses on Japanese culture and society through the lens of the foreigners, using their personal experiences of living in Japan through resources such as documentaries, news articles, books, social media and guest speakers. We will explore various aspects of Japanese culture and society through discussion on the materials provided in class. Students are encouraged to have active discussion in either Japanese or English.

**授業の到達目標**

The objectives of this course are:

1.To gain new perspective on our own culture and society

2.To be able to discuss and state own opinions on certain aspects of Japan

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 12番教室 | 今村 圭介 |

**授業方法**

Lecture

Reading

Discussion

Presentation

**授業内容**

1. Introduction/Orientation
2. Exoticism, Impressions and Misconceptions of Japan
3. Problems and benefits of living in Japan
4. A homogenous society: Racism in Japan?
5. Guest speaker: Culture of Philippines
6. Being an outsider: 'Gaijin' fitting in with Japanese society
7. Collective Assimilation vs. Individualism: The concept of wa
8. Collective Assimilation vs. Individualism: Within business culture

9. Leadership, Hierarchy and Power

10. Gender roles and Equality

11. Guest speaker: Culture of Thailand

12. Relationships in Japan

13. Concept of time: Punctuality, Scheduling & Planning

14. Oral Presentations

15. Summary/ Reflection – Final essays due

**成績評価の方法**

Attendance/Class Participation 40 %

Presentation 30%

Final Essay 30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and active participation are both essential for this course.

**試験の受験資格**

原則3分の2以上出席

**参考書**

The Culture Map : Breaking through the Invisible Boundaries of Global Business／Erin Meyer／著,:Public Affairs, 2014

http://www.alifeinjapan.com/

| 時間割番号 | 000857 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・Linguistics | | | | |
| 担当教員 | 今村 圭介 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・曜日・時間: 月曜 1 限

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

**主な講義場所**

8 番教室

**授業の目的、概要等**

This course will explore the social functions of language and how it is used to convey social meanings. Why do men and women speak differently? What influences us to speak differently in everyday life? How do people use different languages in a multilingual community?

In this course, we will learn sociolinguistic theories and discuss these topics using examples from various languages, particularly the languages we know, English and Japanese.

**授業の到達目標**

Course objectives:

1. To understand the interplay of language and society.

2. To acquire analytical perspective on everyday language.

3. To deepen our understanding of different languages and cultures.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 2 | 4/24 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 3 | 5/1 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 4 | 5/8 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 5 | 5/15 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 6 | 5/22 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 7 | 5/29 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 8 | 6/5 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 9 | 6/12 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 10 | 6/19 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 11 | 6/26 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 12 | 7/3 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 13 | 7/10 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 14 | 7/24 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |
| 15 | 7/31 | 09:10-10:40 | 8 番教室 | 今村 圭介 |

**授業方法**

Lectures

Discussion

Presentation

**授業内容**

1. Introduction

2. Language variation within community

3. Language variation within community

4. Language variation within community

5. Linguistic variety and multilingual nation

6. Linguistic variety and multilingual nation

7. Linguistic variety and multilingual nation

8. Regional and social dialects

9. Power of words

10. Regional and social dialects

11. Ethnicity and social network

12. Ethnicity and social network

13. Language maintenance and shift

14. Language maintenance and shift

15. Final Exam

**成績評価の方法**

Attendance/Participation: 30%

Presentation: 20%

final Exam: 50%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and active participation are both essential for this course.

**試験の受験資格**

原則3分の2以上出席

**参考書**

Holmes, J . & Wilson, N (2017) An Introduction to Sociolinguistics (Learning about Language) 5th edition, Routledge

**履修上の注意事項**

Lectures are given in English and students are also encouraged to express their opinion in English. If you are not confident in listening/speaking in English, please consult the lecturer at the first lecture.

**連絡先**

今村 圭介:Imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

今村 圭介:毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

| 時間割番号 | 000858 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・Japanese as a Foreign Language | | | | |
| 担当教員 | 今村　圭介 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・曜日・時間: 月曜 1 限

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

Just like any other language, the Japanese language has its own unique characteristics. However, as native speakers there is a tendency not to notice the uniqueness of the language. When posed with questions from Japanese learners it is often challenging to explain certain concepts and rules.　Studying the grammar and structure of Japanese from a foreign perspective gives native speakers a deeper understanding which enable them to better explain aspects of the language.　This course aims to provide students with an objective perspective and knowledge of the Japanese language.　A typical class includes: lectures on target topic, exercise questions, (advanced question / discussion), a quiz. The class will be held in English, therefore students are expected to have adequate competence in English.

**授業の到達目標**

Course objectives are:

1.To deepen understanding of the Japanese language.

2.To develop analytical skill of all languages.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 2 | 10/2 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 3 | 10/16 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 4 | 10/23 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 5 | 10/30 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 6 | 11/6 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 7 | 11/13 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 8 | 11/20 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 9 | 11/27 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 10 | 12/4 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 11 | 12/11 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 12 | 12/18 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 13 | 1/15 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 14 | 1/22 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 15 | 1/29 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |

**授業方法**

Lecture, discussion, presentation

**授業内容**

1　Introduction / Orientation

2　Level of Difficulty

3　Relative Value

4　Sound System

5　Accent

6　Vocabulary

7　Basic Sentence Structure

8　Tense Expressions

9　Aspect Expressions

10　Honorific system

11　Dialects

12　Language Change

13　Variation

14　Review

15　Final Exam

＊This schedule may change based on the number of students and students' interest.

**成績評価の方法**

Attendance/Participation 20%

Weekly Quiz 20%

Final Exam 60%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and active participation are both essential for this course.

**試験の受験資格**

原則3分の2以上出席

**参考書**

Japanese : a linguistic introduction／Yoko Hasegawa,：Cambridge University Press, 2015

**履修上の注意事項**

Lectures are given in English and students are also encouraged to express their opinion in English. If you are not confident in listening/speaking in English, please consult the lecturer at the first lecture.

**連絡先**

今村　圭介:imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

今村　圭介:毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00

| 時間割番号 | 000859 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・United States Foreign Policy | | | | |
| 担当教員 | David Bell Mislan | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

時間・曜日：月曜１限

・募集人数：40 名

・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：

別表3－5）外国文化を理解する

別表3－6）国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

The United States is a pivotal player in the construction and maintenance of the current world order. Most recently, however, Americans have faced doubts at home and abroad about their role in the world. Studying the forces driving US foreign policy today will help students understand the status quo of US foreign policy and how it may change in the near future. Accordingly, this course focuses on three main themes: the politics behind US foreign policymaking; current global challenges to US leadership; and US foreign policy towards the Asia-Pacific region. There is no official final examination for this course.

**授業の到達目標**

1. Gain confidence in speaking, listening, writing, and thinking in English
2. Be able to explain US foreign policy from different points of view
3. Improve their analytical and cross-cultural skills

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | Course INTRODUCTION | | David Bell Mislan |
| 2 | 4/24 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | LECTURE: International context of USFP | Read: Jervis | David Bell Mislan |
| 3 | 5/1 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | LECTURE: Domestic politics and USFP | Read:Mastanduno | David Bell Mislan |
| 4 | 5/8 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | LECTURE:Evaluating the Obama Administration | Read:Rose Read:Stephens | David Bell Mislan |
| 5 | 5/15 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | QUIZ, and SIMULATION ASSIGNMENT | QUIZ | David Bell Mislan |
| 6 | 5/22 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | LECTURE: Conflict in the South China Sea | Read: CRS Report | David Bell Mislan |
| 7 | 5/29 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | RESEARCH CONFERENCES | | David Bell Mislan |
| 8 | 6/5 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | PRESENTATION | PRESENTATION | David Bell Mislan |
| 9 | 6/12 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan |
| 10 | 6/19 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan |
| 11 | 6/26 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan |
| 12 | 7/3 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan |
| 13 | 7/10 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 7/24 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | SIMULATION | | David Bell Mislan | |
| 15 | 7/31 | 09:10-10:40 | 12 番教室 | DEBRIEF | REFLECTION PAPER | David Bell Mislan | |

**授業方法**

This course will begin with a short series of lectures on the politics behind US foreign policymaking. Then, students will be assigned roles for a simulation of the US government during a hypothetical foreign policy crisis. Students will prepare for their roles and make a brief presentation on their position. The remainder of the semester will consist of the simulation and then conclude with a debriefing and reflection on what has been taught, experienced, and learned.

**授業内容**

Week Date Topic Assignment

1 17 April COURSE INTRODUCTION ———

2 24 April LECTURE: International context of USFP Read: Jervis

3 1 May LECTURE: Domestic politics and USFP Read: Mastanduno

4 8 May LECTURE: Evaluating the Obama Administration Read: Rose

Read: Stephens

5 15 May QUIZ, and SIMULATION ASSIGNMENTS QUIZ

6 22 May LECTURE: Conflict in the South China Sea Read: CRS Report

7 29 May RESEARCH CONFERENCES ———

8 5 June PRESENTATION PRESENTATION

9 12 June SIMULATION ———

10 19 June SIMULATION ———

11 26 June SIMULATION ———

12 3 July SIMULATION ———

13 10 July SIMULATION ———

14 24 July SIMULATION ———

15 31 July DEBRIEF REFLECTION PAPER

**成績評価の方法**

Students will (1) take a quiz on the politics behind US foreign policymaking (20%), (2) make a short presentation on their research role (30%), (3) participate actively in the simulation (30%), and (4) write a short essay that reflects on what has been learned in the simulation (20%).

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

Assigned readings will be distributed via Google Drive:

**教科書**

There is no official textbook for this course.

**参照ホームページ**

https://drive.google.com/drive/folders/0B6KwYSilvv_rclVFX1REX3MzWGM?usp=sharing

**連絡先**

David Bell Mislan:mislan@american.edu

**オフィスアワー**

David Bell Mislan:Office hours by appointment

Mondays 12:30-16:30

Twitter @davidbellmislan

| 時間割番号 | 000860 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・American Politics & Government | | | | |
| 担当教員 | David Bell Mislan | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

時間・曜日：月曜2限

・募集人数：40 名

・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）：

別表3－5）外国文化を理解する

別表3－6）国際情勢を理解する

**授業の目的、概要等**

This course introduces students to the politics and government of the United States. The American people play a unique role in today's world and this class will help students understand and analyze recent developments in American society and in America's foreign relations. In addition to mastering the basics of American politics, successful students will leave the course with a better understanding of the ways that Japanese politics and society is similar to, and different than, the United States.

**授業の到達目標**

1. Gain confidence in speaking, listening, writing, and thinking in English
2. Be able to explain American politics from different points of view
3. Improve analytical and cross-cultural skills

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | David Bell Mislan |

**授業方法**

This course will begin with a short series of lectures on the basic structure of the US government. Then, students will be assigned roles for a simulation of the US government. Students will prepare for their roles and make a brief presentation on their position. The remainder of the semester will consist of the simulation and then conclude with a debriefing and reflection on what has been taught, experienced, and learned.

**授業内容**

Week Date Topic Assignment

1 17 April COURSE INTRODUCTION ――

2 24 April LECTURE: The US Constitution Read: We the People pp. 46–48

3 1 May LECTURE: The US Congress Read: We the People

pp. 273–276, 285, 289, 298–300

4 8 May LECTURE: The American President Read: We the People

pp. 313–320

5 15 May QUIZ, and SIMULATION ASSIGNMENTS QUIZ

6 22 May LECTURE: Topic for Simulation (TBD) Read: TBD

7 29 May RESEARCH CONFERENCES ――

8 5 June PRESENTATION PRESENTATION

9 12 June SIMULATION ――

10 19 June SIMULATION ――

11 26 June SIMULATION ――

12 3 July SIMULATION ――

13 10 July SIMULATION ――

14 24 July SIMULATION ――

15 31 July DEBRIEF REFLECTION PAPER

**成績評価の方法**

Students will (1) take a quiz on the basic structure of the US government (20%), (2) make a short presentation on their research role (30%), (3) participate actively in the simulation (30%), and (4) write a short essay that reflects on what has been learned in the simulation (20%).

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

Assigned readings will be excerpts from Lowi and Ginsberg's We the People. PDF copies of the excerpts will be distributed via Google Drive:

**教科書**

There is no required textbook for purchase.

**参照ホームページ**

https://drive.google.com/open?id=0B6KwYSilvv_rUVNtbVVVbVNTSWs

**連絡先**

David Bell Mislan:mislan@american.edu

**オフィスアワー**

David Bell Mislan:Office hours by appointment

Mondays 12:30–16:30

Twitter @davidbellmislan

| 時間割番号 | 000870 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences | | | | |
| 担当教員 | 山岡 龍一 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |
| 曜日・時間：金曜2限 | | | | | |

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

The objective of this class is to increase the familiarity of students in reading, thinking and discussing topics concerning humanities and social sciences in English language. It is expected that students will develop their ability for critical thinking and enlarge their perspective of fundamental outlooks over philosophical and social scientific matters.

**授業の到達目標**

Students will be able to find less difficulty in reading critically English texts in humanities and social sciences by themselves. They are also expected to acquire skills for making fluent communication over academic matters in English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 12 番教室 | 山岡 龍一 |

**授業方法**

All participants in this class will read an assigned text. They have to prepare for each class by reading beforehand the allocated part of the text, and make discussion over its interpretation in the class. It is also important that they demonstrate their own development in understanding the issues in the text by making critical conversation among them.

**授業内容**

This year, we are going to read Martin Hollis, Invitation to Philosophy. I hope we will read the whole text (170 pages in total) in 15 classes. “Contents” of this text is as follows.

1. Wonder, Paradox and Vision

2. Reasoning

Proof

Evidence

Scientific Method

3. The Cave

4. Ants, Spiders and Bees

5. The Web of Belief

6. The Elusive ‘I’

7. The Rings of Gyges

8. The Common Good

9. Robots, Apes and Angels

**成績評価の方法**

attendance/participation 50%, performance in discussion, 30%, final essay, 20%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation with prepared reading are essential.

**試験の受験資格**

There is no official final examination for this course.

**教科書**

Martin Hollis, Invitation to Philosophy, 2nd edn. John Wiley & Sons (1997).

**履修上の注意事項**

This class will be conducted in English. At the last calss students have to submit a short essay besed on what they have learned through this course.

| 時間割番号 | 000871 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | グローバル教養科目・Science and Technology in Society | | | | |
| 担当教員 | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 |

・曜日・時間: 月曜　2限

・対象学科: 全学科

・募集人数

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

3−2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力をみにつける

**授業の目的、概要等**

This course explores complex relationship between science, technology and society.

It is often assumed that science is an activity to reveal the truth about the nature, and that technology is an application of the knowledge that science produces. These assumptions tend to lead to the myths that science and technology are 'neutral' and hence that their impacts on society depend on how we use them. In an academic discipline called Science and Technology Studies, however, it is argued that such assumptions and myths overlook (and sometimes 'blackbox') complexity involved in the production of science and technology, and as a result give us misconceptions of how we − society − ought to manage science and technology.

By examining various views and perspectives not only on science and technology but also on society, this course engages critically with the 'neutrality' myth of science and technology and challenges the assumptions underlying them.

**授業の到達目標**

On completion of this course, students are expected to:

1. Gain confidence in engaging in discussion about issues of science and technology in English
2. Be aware of the complexity of science−technology−society relationship and able to identify issues in which such complexity matters
3. Be respectful of different views and perspectives on science and technology, including medicine

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 2 | 10/2 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 3 | 10/16 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 4 | 10/23 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 5 | 10/30 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 6 | 11/6 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 7 | 11/13 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 8 | 11/20 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 9 | 11/27 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 10 | 12/4 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 11 | 12/11 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 12 | 12/18 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 13 | 1/15 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 14 | 1/22 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |
| 15 | 1/29 | 10:50−12:20 | 5 番教室 | 見上 公一 |

**授業方法**

Each lecture (approx. 60 mins) is followed by discussion (approx. 30 mins)

**授業内容**

I. Introduction (wk 1)

Ⅱ. Perspectives on Society

a. Global Society (wk 2)
b. Risk Society (wk 3)
c. Surveillance Society (wk 4)

Ⅲ. Perspectives on Science

a. Who are scientists? (wk 5)
b. Science as a social process (wk 6)
c. Science and policymaking (wk 7)

Ⅳ. Perspectives on Technology

a. Interpretive flexibility (wk 8)
b. Does technology have politics? (wk 9)
c. The myth of innovation (wk 10)

Ⅴ. Dr. Golem

a. Introducing Dr. Golem (wk 11)
b. Understanding Dr. Golem (wk 12)
c. Meeting Dr. Golem 1 (wk 13)
d. Meeting Dr. Golem 2 (wk 14)

Ⅵ. Concluding Session (wk 15)

**成績評価の方法**

評価 : 試験　　% ・ レポート 40　% ・ その他(Attendance & Participation) 60 %
再評価:　無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Active engagement in discussion in the classroom is essential, and students are encouraged to try identify issues linked closely to the topics examined in the course in their everyday life and use them as examples in expressing their views and opinions in the discussion.

**参考書**

H. Collins & T. Pinch (2005) Dr. Golem: How to think about medicine, Chicago: University of Chicago Press

**履修上の注意事項**

This course is delivered in English.　Submission of an 'in-class' question sheet counts as attendance in this course (instead of the University's Attendance Management System).

| 時間割番号 | 000044 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学入門 | | | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入試で化学・生物を選択した人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表4－1)

**授業の目的、概要等**

物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。

**授業の到達目標**

1. 位置、速度、加速度の概念を理解する
2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる。
3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する。
4. 電気と磁気の基本を理解する。
5. 波動の基礎概念を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1-3 | 4/18 | 09:10-14:40 | 9番教室 | 力と運動 | 檜枝 光憲 |
| 4-6 | 4/25 | 09:10-14:40 | 9番教室 | 等速円運動、単振動、仕事、エネルギー | 檜枝 光憲 |
| 7-9 | 5/2 | 09:10-14:40 | 9番教室 | 電気と磁気 | 檜枝 光憲 |
| 10-11 | 5/9 | 09:10-12:20 | 9番教室 | 波動 | 檜枝 光憲 |
| 12 | 5/23 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 試験 | 檜枝 光憲 |

**授業方法**

講義と演習

**授業内容**

第1回-3回 力と運動

第4回-6回 等速円運動、単振動、仕事とエネルギー

第7回-9回 電気と磁気

第10-11回 波動

第12回 試験

**成績評価の方法**

評価 : 試験 60%、 その他 : 小テスト 40%

再評価: 有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。

**教科書**

これだけはおさえたい物理／金原粲 編著,曽江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009

**参考書**

もういちど読む 数研の高校物理 第1巻:数研出版, 2012

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。

| 時間割番号 | 000041 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学入門 | | | | |
| 担当教員 | 中野 真樹, 永野 昌俊 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

火曜日 1～3 時限(4/18・4/25・5/2)、1～2 時限(5/9)、2 時限(5/23)

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入学試験で生物学を選択しなかった者

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):4-1

**授業の目的、概要等**

この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。

生物の形および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解することを目的とする。

**授業の到達目標**

1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/18 | 09:10-10:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 2 | 4/18 | 10:50-12:20 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 3 | 4/18 | 13:10-14:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 4 | 4/25 | 09:10-10:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 5 | 4/25 | 10:50-12:20 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 6 | 4/25 | 13:10-14:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 7 | 5/2 | 09:10-10:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 8 | 5/2 | 10:50-12:20 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 9 | 5/2 | 13:10-14:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 10 | 5/9 | 09:10-10:40 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦 |
| 11 | 5/9 | 10:50-12:20 | 1 番教室, 7 番教室 | 中野 真樹, 永野 昌俊, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 服部 淳彦 |
| 12 | 5/23 | 10:50–12:20 | 1 番教室,<br>7 番教室 | 中野 真樹,<br>永野 昌俊,<br>服部 淳彦 |

**授業方法**

講義形式

**授業内容**

第 1 回 個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜

第 2 回 核と細胞内小器官

第 3 回 細胞骨格、細胞接着

第 4 回 生体の構成元素、タンパク質

第 5 回 核酸、糖質、脂質

第 6 回 酵素反応

第 7 回 筋収縮

第 8 回 糖質の代謝

第 9 回 脂質の代謝、タンパク質の代謝

第 10 回 染色体、メンデルの法則

第 11 回 細胞周期、体細胞分裂

第 12 回 DNA の複製、細胞の死

**成績評価の方法**

評価 : 試験 80% ・ レポート % ・ その他（小テスト） 20%

再評価 : 有（再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

小テストや期末テストに備えて授業の予習と復習をしっかりとすること。

**教科書**

「第 3 版 はじめの一歩の生化学・分子生物学」 前野正夫・磯川桂太郎 著 羊土社 2016

**参考書**

「Essential 細胞生物学 第 3 版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012

**履修上の注意事項**

期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

| 時間割番号 | 000043 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学入門 | | | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 勝又 敏行 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 火曜日 1～4 限(前期分割 A)

・対象学科: 医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻

・受験資格: 入学試験で化学を選択しなかった者

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表4−1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

**授業の目的、概要等**

入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。

**授業の到達目標**

高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/18 | 09:10−10:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 2 | 4/18 | 10:50−12:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 3 | 4/18 | 13:10−14:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 4 | 4/18 | 14:50−16:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 5 | 4/25 | 09:10−10:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 6 | 4/25 | 10:50−12:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 7 | 4/25 | 13:10−14:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 8 | 4/25 | 14:50−16:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 9 | 5/2 | 09:10−10:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 10 | 5/2 | 10:50−12:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 11 | 5/2 | 13:10−14:40 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 12 | 5/2 | 14:50−16:20 | 2 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |

**授業方法**

講義による

**授業内容**

1. 物質の構造　物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式
2. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
3. 物質の変化　化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、

酸と塩基の反応：水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡

4. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素

5. 有機化合物　　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物

6. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

**成績評価の方法**

評価：試験 100%・レポート 0%

再評価：有（再評価方法：再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。

**試験の受験資格**

定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

**教科書**

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,：共立出版, 2005

**参考書**

化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,：医歯薬出版, 2005

化学入門／下井守, 村田滋 著,：東京化学同人, 2013

化学入門／大野公一 [ほか]著,：共立出版, 1997

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995

| 時間割番号 | 000269 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学ＩＭ | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限：月曜日3時限

対象学科：医学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

**授業の目的、概要等**

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式，連立一次方程式の解，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに，それらの物理学，化学，経済学など諸分野への応用を学ぶ。

**授業の到達目標**

基本的な線形演算と、多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 行列の定義と演算（1） | 清田 正夫 |
| 2 | 4/24 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 行列の定義と演算（2） | 清田 正夫 |
| 3 | 5/1 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 連立1次方程式（1） | 清田 正夫 |
| 4 | 5/8 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 連立1次方程式（2） | 清田 正夫 |
| 5 | 5/15 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 連立1次方程式（3） | 清田 正夫 |
| 6 | 5/22 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 行列式の定義と計算（1） | 清田 正夫 |
| 7 | 5/29 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 行列式の定義と計算（2） | 清田 正夫 |
| 8 | 6/5 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 線形写像と固有値（1） | 清田 正夫 |
| 9 | 6/12 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 線形写像と固有値（2） | 清田 正夫 |
| 10 | 6/19 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 1変数関数の微積分、テイラー展開 | 清田 正夫 |
| 11 | 6/26 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 2変数関数の偏微分（1） | 清田 正夫 |
| 12 | 7/3 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 2変数関数の偏微分（2） | 清田 正夫 |
| 13 | 7/10 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 2変数関数の重積分（1） | 清田 正夫 |
| 14 | 7/24 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 2変数関数の重積分（2） | 清田 正夫 |
| 15 | 7/31 | 13:10−14:40 | 1番教室 | 2変数関数の重積分（3） | 清田 正夫 |

**授業方法**

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

**授業内容**

第1回～第2回　行列の定義と演算

第3回～第5回　連立1次方程式

第6回～第7回　行列式の定義と計算

第8回～第9回　線形写像と固有値

第10回　1変数関数の微積分、テイラー展開

第11回～第12回　2変数関数の偏微分

第13回～第15回　2変数関数の重積分

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他（授業中の演習） 20%

再評価： 有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく復習しておくこと。
予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。
返却されたクイズの正解を確認すること。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

**教科書**

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004

**参考書**

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2002
数学概論 －線形代数／微分積分－／田代嘉宏:裳華房, 1993
教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008
線形代数学入門 －平面上の1次変換と空間図形から－／桑村雅隆:裳華房, 2016
微積分の基礎／浦川肇:朝倉書店, 2006
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著:培風館, 1999
微分積分学／難波誠:裳華房, 1996
現代の古典解析 : 微積分基礎課程／森毅:筑摩書房, 2006
定本解析概論／高木貞治:岩波書店, 2010

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

**連絡先**

清田 正夫kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

| 時間割番号 | 000270 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学ＩＤ | | |
| 担当教員 | 中口 悦史 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限：水曜日1時限

対象学科：歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

**授業の目的、概要等**

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式，連立一次方程式の解，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに，それらの物理学，化学，経済学など諸分野への応用を学ぶ。

**授業の到達目標**

基本的な線形演算と、多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 行列の定義と演算（1） | 中口 悦史 |
| 2 | 4/19 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 行列の定義と演算（2） | 中口 悦史 |
| 3 | 4/26 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 連立1次方程式（1） | 中口 悦史 |
| 4 | 5/10 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 連立1次方程式（2） | 中口 悦史 |
| 5 | 5/17 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 連立1次方程式（3） | 中口 悦史 |
| 6 | 5/24 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 行列式の定義と計算（1） | 中口 悦史 |
| 7 | 5/31 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 行列式の定義と計算（2） | 中口 悦史 |
| 8 | 6/7 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 線形写像と固有値（1） | 中口 悦史 |
| 9 | 6/14 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 線形写像と固有値（2） | 中口 悦史 |
| 10 | 6/21 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 1変数関数の微積分、テイラー展開 | 中口 悦史 |
| 11 | 6/28 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2変数関数の偏微分（1） | 中口 悦史 |
| 12 | 7/5 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2変数関数の偏微分（2） | 中口 悦史 |
| 13 | 7/12 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2変数関数の重積分（1） | 中口 悦史 |
| 14 | 7/19 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2変数関数の重積分（2） | 中口 悦史 |
| 15 | 7/26 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2変数関数の重積分（3） | 中口 悦史 |

**授業方法**

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

**授業内容**

第1回～第2回　行列の定義と演算

第3回～第5回　連立1次方程式

第6回～第7回　行列式の定義と計算

第8回～第9回　線形写像と固有値

第10回　1変数関数の微積分、テイラー展開

第11回～第12回　2変数関数の偏微分

第13回～第15回　2変数関数の重積分

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他（授業中の演習） 20%

再評価： 有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。

**教科書**

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004

**参考書**

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2002

数学概論 －線形代数／微分積分－／田代嘉宏：裳華房，1993

教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008

線形代数学入門 －平面上の1次変換と空間図形から－／桑村雅隆：裳華房，2016

微積分の基礎／浦川肇：朝倉書店，2006

初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著：培風館，1999

微分積分学／難波誠：裳華房，1996

現代の古典解析 ： 微積分基礎課程／森毅：筑摩書房，2006

定本解析概論／高木貞治：岩波書店，2010

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。

**連絡先**

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

中口 悦史:月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業（木）終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000271 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学ＩＴ | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限：木曜日3時限

対象学科：検査技術学専攻

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

**授業の目的、概要等**

諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式，連立一次方程式の解，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに，それらの物理学，化学，経済学など諸分野への応用を学ぶ。

**授業の到達目標**

基本的な線形演算と、多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 行列の定義と演算（1） | 清田 正夫 |
| 2 | 4/20 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 行列の定義と演算（2） | 清田 正夫 |
| 3 | 4/27 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 連立1次方程式（1） | 清田 正夫 |
| 4 | 5/11 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 連立1次方程式（2） | 清田 正夫 |
| 5 | 5/18 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 連立1次方程式（3） | 清田 正夫 |
| 6 | 5/25 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 行列式の定義と計算（1） | 清田 正夫 |
| 7 | 6/1 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 行列式の定義と計算（2） | 清田 正夫 |
| 8 | 6/8 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 線形写像と固有値（1） | 清田 正夫 |
| 9 | 6/15 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 線形写像と固有値（2） | 清田 正夫 |
| 10 | 6/22 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 1変数関数の微積分、テイラー展開 | 清田 正夫 |
| 11 | 6/29 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 2変数関数の偏微分（1） | 清田 正夫 |
| 12 | 7/6 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 2変数関数の偏微分（2） | 清田 正夫 |
| 13 | 7/13 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 2変数関数の重積分（1） | 清田 正夫 |
| 14 | 7/20 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 2変数関数の重積分（2） | 清田 正夫 |
| 15 | 7/27 | 13:10−14:40 | 6 番教室 | 2変数関数の重積分（3） | 清田 正夫 |

**授業方法**

板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

**授業内容**

第1回～第2回　行列の定義と演算

第3回～第5回　連立1次方程式

第6回～第7回　行列式の定義と計算

第8回～第9回　線形写像と固有値

第10回　1変数関数の微積分、テイラー展開

第11回～第12回　2変数関数の偏微分

第13回～第15回　2変数関数の重積分

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他（授業中の演習） 20%

再評価： 有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく復習しておくこと。
予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。
返却されたクイズの正解を確認すること。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

**教科書**

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊, 坪井堅二 著：東京化学同人, 2004

**参考書**

数学入門 （大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊, 坪井堅二 著：東京化学同人, 2002
数学概論 －線形代数／微分積分－／田代嘉宏：裳華房, 1993
教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著：培風館, 2008
線形代数学入門 －平面上の1次変換と空間図形から－／桑村雅隆：裳華房, 2016
微積分の基礎／浦川肇：朝倉書店, 2006
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著：培風館, 1999
微分積分学／難波誠：裳華房, 1996
現代の古典解析 : 微積分基礎課程／森毅：筑摩書房, 2006
定本解析概論／高木貞治：岩波書店, 2010

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

**連絡先**

清田 正夫kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12：00～13：00 ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

| 時間割番号 | 000257 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学ＩＭ | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：月曜5限

対象学科：医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1)、別表4－2)

**授業の目的、概要等**

力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。

**授業の到達目標**

物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。

様々な保存則が導出できることを理解する。

ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 物理のための数学基礎 | 檜枝 光憲 |
| 2 | 4/24 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 力と運動1 | 檜枝 光憲 |
| 3 | 5/1 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 力と運動2 | 檜枝 光憲 |
| 4 | 5/8 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 力と運動3 | 檜枝 光憲 |
| 5 | 5/15 | 16:30-18:00 | 1番教室 | エネルギーと仕事 | 檜枝 光憲 |
| 6 | 5/22 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 単振動と指数関数による解法 | 檜枝 光憲 |
| 7 | 5/29 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 減衰振動と強制振動 | 檜枝 光憲 |
| 8 | 6/5 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 非慣性系での運動(慣性力、遠心力、コリオリの力) | 檜枝 光憲 |
| 9 | 6/12 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 中間テスト(考査) | 檜枝 光憲 |
| 10 | 6/19 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 衝突と2体問題 | 檜枝 光憲 |
| 11 | 6/26 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 惑星の運動(万有引力と角運動量保存則) | 檜枝 光憲 |
| 12 | 7/3 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 剛体の力学1 | 檜枝 光憲 |
| 13 | 7/10 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 剛体の力学2 | 檜枝 光憲 |
| 14 | 7/24 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 剛体の力学3 | 檜枝 光憲 |
| 15 | 7/31 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 期末テスト | 檜枝 光憲 |

**授業方法**

講義と演習

**授業内容**

1 物理のための数学基礎

2 力と運動1

3 力と運動2

4 力と運動3

5 エネルギーと仕事

6 単振動と指数関数による解法

7 減衰振動と強制振動

8 非慣性系での運動(慣性力、遠心力、コリオリの力)

9 中間テスト(考査)

10 衝突と2体問題
11 惑星の運動(万有引力と角運動量保存則)
12 剛体の力学1
13 剛体の力学2
14 剛体の力学3
15 期末テスト

**成績評価の方法**

評価 : 試験 90%
その他 10%(演習の提出状況等)
再評価: 有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。

**教科書**

力学／川村清 著:裳華房, 1998

**参考書**

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

**連絡先**

hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000258 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学ＩＤ･Ｔ | | |
| 担当教員 | 越野　和樹 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

･曜日･時間: 月曜5限

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

**授業の目的、概要等**

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ｉ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ⅱ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(ⅲ)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

**授業の到達目標**

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 2 | 4/24 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 3 | 5/1 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 4 | 5/8 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 5 | 5/15 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 6 | 5/22 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 7 | 5/29 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 8 | 6/5 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 9 | 6/12 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 10 | 6/19 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 11 | 6/26 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 12 | 7/3 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 13 | 7/10 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 14 | 7/24 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |
| 15 | 7/31 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野　和樹 |

**授業方法**

講義および演習による

**授業内容**

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則･運動量保存則／さまざまな運動

**成績評価の方法**

評価:期末考査および平常点

再評価:期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.

**試験の受験資格**

初回の講義において説明する

**教科書**

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

**連絡先**

ikuzak.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000288 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学Ⅱ（α） | | |
| 担当教員 | 清田　正夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限：月曜日5時限

対象学科：医学科・歯学科

募集人数：30名程度

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）物理学ＩＭ

**授業の目的、概要等**

代数方程式の解法を例にとりあげて、抽象代数学の基礎概念である、群、環、体の理論の初歩を学ぶ。ついで、具体例を中心にして体の拡大に関するガロア理論を概説する。最後に、ガロア理論の応用として、代数方程式の可解性判定が方程式のガロア群の可解性に帰着することを示す。

**授業の到達目標**

抽象代数学の基礎概念である、群、環、体について、基本的な定理を理解し、的確に運用することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 3次、4次方程式の解法 | 清田　正夫 |
| 2 | 10/2 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 3次、4次方程式の解法 | 清田　正夫 |
| 3 | 10/16 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 5次方程式の非可解性（アーベルの証明） | 清田　正夫 |
| 4 | 10/23 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 5次方程式の非可解性（アーベルの証明） | 清田　正夫 |
| 5 | 10/30 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 5次方程式の非可解性（アーベルの証明） | 清田　正夫 |
| 6 | 11/6 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 群、環、体の定義と基礎理論 | 清田　正夫 |
| 7 | 11/13 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 群、環、体の定義と基礎理論 | 清田　正夫 |
| 8 | 11/20 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 群、環、体の定義と基礎理論 | 清田　正夫 |
| 9 | 11/27 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 群、環、体の定義と基礎理論 | 清田　正夫 |
| 10 | 12/4 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | ガロア理論入門 | 清田　正夫 |
| 11 | 12/11 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | ガロア理論入門 | 清田　正夫 |
| 12 | 12/18 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | ガロア理論入門 | 清田　正夫 |
| 13 | 1/15 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 代数方程式の可解性 | 清田　正夫 |
| 14 | 1/22 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 代数方程式の可解性 | 清田　正夫 |
| 15 | 1/29 | 16:30−18:00 | 8 番教室 | 総合演習 | 清田　正夫 |

**授業方法**

講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。毎回の授業の最後にクイズ（5分間小テスト）を行なう。

**授業内容**

第1回～第2回　　3次、4次方程式の解法

第3回～第5回　　5次方程式の非可解性（アーベルの証明）

第6回～第9回　　群、環、体の定義と基礎理論

第10回～第12回　ガロア理論入門

第13回～第14回　代数方程式の可解性

第15回　　総合演習

**成績評価の方法**

評価　：　試験　70%　・　レポート　0%　・　その他（授業中の演習）　30%

再評価：　有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う。

「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表２」による

**準備学習などについての具体的な指示**

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

**参考書**

代数方程式のはなし = A Dogmatic Introduction to Algebraic Equations／今野一宏 著,：内田老鶴圃, 2014

ガロアの時代・ガロアの数学 第1部／彌永昌吉 著,：シュプリンガー・フェアラーク東京, 1999

ガロアの時代・ガロアの数学 第2部／彌永昌吉 著,：シュプリンガー・フェアラーク東京, 2002

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

**連絡先**

kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

| 時間割番号 | 000289 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学Ⅱ(β) | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜５限

対象学科・専攻: 医学科、歯学科

**授業の目的、概要等**

グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」(中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念)であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。

グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。

さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。

数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。

**授業の到達目標**

4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 2 | 10/2 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 3 | 10/16 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 4 | 10/23 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 5 | 10/30 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 6 | 11/6 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 7 | 11/13 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 8 | 11/20 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 9 | 11/27 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 10 | 12/4 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 11 | 12/11 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 12 | 12/18 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 13 | 1/15 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 14 | 1/22 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |
| 15 | 1/29 | 16:30-18:00 | 9番教室 | 徳永 伸一 |

**授業方法**

講義、セミナーと演習による。

**授業内容**

以下のトピック(予定)について順次解説し、簡単な演習問題を考えます。

・グラフの基礎概念

・一筆描き問題、ハミルトン問題
・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理
・グラフのラベル付け問題
・美術館問題
・4色定理とその一般化、周辺の問題

**成績評価の方法**

授業への出席および参加姿勢(セミナーでの発表等)、演習・試験によって総合的に評価します。
(履修者が少ない場合はセミナー形式の授業の比重を増やし、試験以外による評価を主とします)

**準備学習などについての具体的な指示**

事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかり行ってください。

**参考書**

グラフ理論(増補改訂版)／惠羅博, 土屋守正 著,:産業図書, 2010
グラフ理論／R.ディーステル 著,根上生也, 太田克弘 訳,:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000
幾何学的グラフ理論／前原濶, 根上生也 著,:朝倉書店, 1992
離散構造／根上生也 著,:共立出版, 1993

**連絡先**

tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000290 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学Ⅱ（ｼﾞ | | |
| 担当教員 | 中口 悦史 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限：月曜日5時限

対象学科：医学科・歯学科（ただし 2016 年度以前入学者は「物理学Ⅱ」および「数学Ⅱ（δ）」を履修のこと）

募集人数：30名程度

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

**授業の目的、概要等**

前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として，複素解析の基礎を学習する。複素解析は複素数を変数として複素数の値をとる関数，すなわち複素関数の解析学である。複素関数は，ある領域内で1回複素微分可能であれば，その領域内では何回でも微分も積分もできるという，実関数とは異なる興味深い性質を持つ。物理学や工学への応用も重要であるが，この授業では，複素解析の美しい理論体系を体験してほしい。

**授業の到達目標**

複素関数の微積分を含む基本的な計算ができる。複素関数の解析性について理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素数と一次変換（1） | 中口 悦史 |
| 2 | 10/2 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素数と一次変換（2） | 中口 悦史 |
| 3 | 10/16 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素数と一次変換（3） | 中口 悦史 |
| 4 | 10/23 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 正則関数（1） | 中口 悦史 |
| 5 | 10/30 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 正則関数（2） | 中口 悦史 |
| 6 | 11/6 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 正則関数（3） | 中口 悦史 |
| 7 | 11/13 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 正則関数（4） | 中口 悦史 |
| 8 | 11/20 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素積分（1） | 中口 悦史 |
| 9 | 11/27 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素積分（2） | 中口 悦史 |
| 10 | 12/4 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 複素積分（3） | 中口 悦史 |
| 11 | 12/11 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 解析接続と特異点（1） | 中口 悦史 |
| 12 | 12/18 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 解析接続と特異点（2） | 中口 悦史 |
| 13 | 1/15 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 解析接続と特異点（3） | 中口 悦史 |
| 14 | 1/22 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 解析接続と特異点（4） | 中口 悦史 |
| 15 | 1/29 | 16:30−18:00 | 10 番教室 | 総合演習 | 中口 悦史 |

**授業方法**

演習を中心に授業を進めるが，時間外の自主学習を前提とする。新しい用語や概念，定義等は板書による講義によって補う。

**授業内容**

(1) 複素数と一次変換（3回程度）

数の体系，四則演算，極形式，ガウス平面とリーマン球面，無限遠点，一次変換の分解，円円定理

(2) 正則関数（4回程度）

複素関数の連続性，複素微分と正則性，多項式，べき級数と収束域，指数関数と三角関数，等角写像

(3) 複素積分（3回程度）

線積分（経路積分），コーシーの積分定理，コーシーの積分表示式

(4) 解析接続と特異点（4回程度）

べき乗・べき乗根と対数関数，リーマン面と分枝，零点と一致の定理，特異点と留数，テイラー展開，ローラン展開

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他（授業内演習） 50%

再評価： 有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う。期末試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

時間外の自主学習を前提として進めるので注意すること。これまでに学習した数学の内容もよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習課題の提出。

**教科書**

授業開始までに掲示等によって通知する。

**参考書**

複素解析 : 1 変数解析関数／笠原乾吉 著,:筑摩書房, 2016

複素解析入門 = Introduction to Complex Analysis／原惟行, 松永秀章 著,:共立出版, 2014

複素解析へのアプローチ／山本稔, 坂田定久 共著,:裳華房, 1992

複素解析／矢野健太郎, 石原繁 共著,:裳華房, 1995

複素解析概論 : 数学の基礎的諸分野への現代的入門／野口潤次郎 著,:裳華房, 1993

複素関数入門／神保道夫 著,:岩波書店, 2003

複素解析／L.V.アールフォルス 著,笠原乾吉 訳,:現代数学社, 1982

初等関数論／林一道 著,:裳華房, 1992

複素関数論の基礎／山本直樹 著,:裳華房, 2015

絶版の参考書(図書館分館に所蔵有り):

1. 森 正武, 杉原 正顯『複素関数論』岩波書店(オンデマンド出版有り)
2. 小平邦彦『複素解析』(岩波基礎数学選書)岩波書店
3. L.シュヴァルツ, 清水英男『複素関数』東京図書
4. H.カルタン, 高橋禮司『複素函数論』岩波書店

他にも図書館分館に多数の関連蔵書があるので探索すること。

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。

**連絡先**

nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000291 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 数学Ⅱ(δ) | | |
| 担当教員 | 中口 悦史 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限:火曜日5時限

対象学科:医学科・歯学科(2016 年度以前入学者のみ)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−2)

**授業の目的、概要等**

前期「数学Ⅰ」からの展開として, 応用解析の基礎を学習する。中でもこの授業では, 物理学や化学など他分野との関連の深い, ベクトル解析, フーリエ解析, 微分方程式を取り上げる。

**授業の到達目標**

ベクトルの微積分の計算法と積分定理, フーリエ級数・積分の公式, 基本的な微分方程式の求積法を理解し, 的確に運用することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/26 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | ガイダンス | 中口 悦史 |
| 2 | 10/3 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | ベクトル解析(1) | 中口 悦史 |
| 3 | 10/10 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | ベクトル解析(2) | 中口 悦史 |
| 4 | 10/17 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | ベクトル解析(3) | 中口 悦史 |
| 5 | 10/24 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | ベクトル解析(4) | 中口 悦史 |
| 6 | 10/31 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | フーリエ解析(1) | 中口 悦史 |
| 7 | 11/7 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | フーリエ解析(2) | 中口 悦史 |
| 8 | 11/14 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | フーリエ解析(3) | 中口 悦史 |
| 9 | 11/21 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(1) | 中口 悦史 |
| 10 | 11/28 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(2) | 中口 悦史 |
| 11 | 12/5 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(3) | 中口 悦史 |
| 12 | 12/12 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(4) | 中口 悦史 |
| 13 | 12/19 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(5) | 中口 悦史 |
| 14 | 1/9 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 微分方程式(6) | 中口 悦史 |
| 15 | 1/16 | 16:10−17:40 | 共用セミナー室7 | 総合演習 | 中口 悦史 |

**授業方法**

主に板書による講義によって進め, 毎回1題の演習問題の時間を設ける。

**授業内容**

(1) ベクトル解析(4回程度)

ベクトルの代数演算，ベクトルの運動と微積分，スカラー場の勾配，ベクトル場の発散・回転，線積分と面積分，ガウスの定理とストークスの定理

(2) フーリエ解析（3回程度）

三角関数系の周期性と直交性，周期関数のフーリエ級数展開，フーリエ級数の性質と収束性

(3) 微分方程式（6回程度）

微分方程式の定義と分類，常微分方程式の初期値問題の解の存在と一意性，1 階常微分方程式の求積法，線形常微分方程式系の解集合の線形構造，定数係数線形常微分方程式系の解法，非線形常微分方程式の相解析

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他（授業中の演習） 30%

再評価： 有（筆記試験）

試験は期末に筆記試験によって行う予定。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

時間外の自主学習を前提として進めるので注意すること。これまでに学習した数学の内容もよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習カードの提出。

**教科書**

基礎 解析学（改訂版）／矢野健太郎・石原繁：裳華房，1993

**参考書**

ベクトル解析概論／小川枝郎：培風館，1986

応用数学概論／小川枝郎：培風館，1986

物理数学（裳華房テキストシリーズ-物理学）／松下貢：裳華房，1999

フーリエ解析へのアプローチ／長瀬道弘・齋藤誠慈：裳華房，1997

常微分方程式とラプラス変換／齋藤誠慈：裳華房，2006

微分方程式／長瀬道弘：裳華房，1993

解析学概論（新版）／矢野健太郎・石原繁：裳華房，1982

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと，各回の演習カード提出を併用する。

**連絡先**

nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業（木）終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000260 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学ⅡM | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:月曜5限

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)

**授業の目的、概要等**

電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術がこれと関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象を持つでしょう。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。

**授業の到達目標**

電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 16:30-18:00 | 1番教室 | イントロダクション:電磁気学とはどんな学問か | 檜枝 光憲 |
| 2 | 10/2 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静電場1:近接作用と静電場 | 檜枝 光憲 |
| 3 | 10/16 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静電場2:積分形のガウスの法則 | 檜枝 光憲 |
| 4 | 10/23 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静電場3:微分形のガウスの法則 | 檜枝 光憲 |
| 5 | 10/30 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静電場4:さらに静電場について | 檜枝 光憲 |
| 6 | 11/6 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 定常電流 | 檜枝 光憲 |
| 7 | 11/13 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静磁場1:アンペールの法則 | 檜枝 光憲 |
| 8 | 11/20 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 中間テスト(考査) | 檜枝 光憲 |
| 9 | 11/27 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 静磁場2:ビオ・サバールの法則 | 檜枝 光憲 |
| 10 | 12/4 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 電流に働く磁場の力 | 檜枝 光憲 |
| 11 | 12/11 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 時間的に変動する電場と磁場 | 檜枝 光憲 |
| 12 | 12/18 | 16:30-18:00 | 1番教室 | マクスウェルの方程式 | 檜枝 光憲 |
| 13 | 1/15 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 電磁波と波動方程式 | 檜枝 光憲 |
| 14 | 1/22 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 電磁波と音波と類似性 | 檜枝 光憲 |
| 15 | 1/29 | 16:30-18:00 | 1番教室 | 期末テスト | 檜枝 光憲 |

**授業方法**

講義と演習

**授業内容**

1 イントロダクション:電磁気学とはどんな学問か

2 静電場1:近接作用と静電場

3 静電場2:積分形のガウスの法則

4 静電場3:微分形のガウスの法則

5 静電場4:さらに静電場について

6 定常電流
7 静磁場1:アンペールの法則
8 中間テスト(考査)
9 静磁場2:ビオ・サバールの法則
10 電流に働く磁場の力
11 時間的に変動する電場と磁場
12 マクスウェルの方程式
13 電磁波と波動方程式
14 電磁波と音波と類似性
15 期末テスト

**成績評価の方法**

評価 : 試験 80%
その他 20%(演習の提出状況等)
再評価: 有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。

**教科書**

電磁気学の考え方／砂川 重信／著,:岩波書店, 1993

**連絡先**

hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000261 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学ⅡD･T | | |
| 担当教員 | 越野 和樹 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

･曜日･時間: 月曜5限

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

**授業の目的、概要等**

電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体が作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

**授業の到達目標**

マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し，その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には，「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について，基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 2 | 10/2 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 3 | 10/16 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 4 | 10/23 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 5 | 10/30 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 6 | 11/6 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 7 | 11/13 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 8 | 11/20 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 9 | 11/27 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 10 | 12/4 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 11 | 12/11 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 12 | 12/18 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 13 | 1/15 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 14 | 1/22 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 15 | 1/29 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |

**授業方法**

講義および演習による

**授業内容**

静電気／コンデンサー／電流／磁界と電磁誘導／交流と電磁波

**成績評価の方法**

評価:期末考査および平常点

再評価:期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.

**試験の受験資格**

初回の講義において説明する

**参考書**

グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著,:サイエンス社, 2011

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

**連絡先**

ikuzak.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000047 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 統計学(α) | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限:木曜日1時限

対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−3), 4−4)

**授業の目的、概要等**

科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。

**授業の到達目標**

基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 標本データの記述 | 清田 正夫 |
| 2 | 10/5 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 確率と標本空間 | 清田 正夫 |
| 3 | 10/19 | 09:10−10:40 | 7番教室 | ベイズの定理と確率分布 | 清田 正夫 |
| 4 | 10/26 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 2項分布と正規分布 | 清田 正夫 |
| 5 | 11/2 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 正規近似と中心極限定理 | 清田 正夫 |
| 6 | 11/9 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 母集団と標本抽出 | 清田 正夫 |
| 7 | 11/16 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 中間試験 | 清田 正夫 |
| 8 | 11/30 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 平均値の推定 | 清田 正夫 |
| 9 | 12/7 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 比率の推定 | 清田 正夫 |
| 10 | 12/14 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 推定とt−分布 | 清田 正夫 |
| 11 | 12/21 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 平均値の検定 | 清田 正夫 |
| 12 | 1/11 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 比率の検定 | 清田 正夫 |
| 13 | 1/18 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 検定とt−分布 | 清田 正夫 |
| 14 | 1/25 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 総合演習1 | 清田 正夫 |
| 15 | 2/1 | 09:10−10:40 | 7番教室 | 総合演習2 | 清田 正夫 |

**授業方法**

主として、板書による講義を行なう。

毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。

中間試験と定期試験を行なう。

**授業内容**

第 1回 標本データの記述

第 2回 確率と標本空間

第 3回 ベイズの定理と確率分布

第 4回 2項分布と正規分布

第 5回 正規近似と中心極限定理

第 6回 母集団と標本抽出

第 7回 中間試験

第 8回 平均値の推定

第 9回 比率の推定

第10回 推定とt−分布

第11回 平均値の検定

第12回 比率の検定

第13回 検定とt−分布

第14回 総合演習1

第15回 総合演習2

**成績評価の方法**

評価 ： 中間試験 30% ・ 定期試験 60% ・ その他(授業中の演習)10%

再評価: 有(筆記試験)

・ 中間試験と定期試験はいずれも筆記試験によって行う。

・ 前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間試験と定期試験の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく復習しておくこと。

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出(下記「授業方法」参照)。

**教科書**

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

**参考書**

初等統計学／P. G. ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳,:培風館, 1985

統計学入門／東京大学教養学部統計学教室／編,:東京大学出版会, 1991

**履修上の注意事項**

・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

**備考**

中間試験、定期試験の成績により、レポート課題を課すこともある。

**連絡先**

清田 正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

| 時間割番号 | 000048 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 統計学(β) | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時限:木曜日2時限

対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−3), 4−4)

**授業の目的、概要等**

科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。

**授業の到達目標**

基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 標本データの記述 | 清田 正夫 |
| 2 | 10/5 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 確率と標本空間 | 清田 正夫 |
| 3 | 10/19 | 10:50−12:20 | 7番教室 | ベイズの定理と確率分布 | 清田 正夫 |
| 4 | 10/26 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 2項分布と正規分布 | 清田 正夫 |
| 5 | 11/2 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 正規近似と中心極限定理 | 清田 正夫 |
| 6 | 11/9 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 母集団と標本抽出 | 清田 正夫 |
| 7 | 11/16 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 中間試験 | 清田 正夫 |
| 8 | 11/30 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 平均値の推定 | 清田 正夫 |
| 9 | 12/7 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 比率の推定 | 清田 正夫 |
| 10 | 12/14 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 推定とt−分布 | 清田 正夫 |
| 11 | 12/21 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 平均値の検定 | 清田 正夫 |
| 12 | 1/11 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 比率の検定 | 清田 正夫 |
| 13 | 1/18 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 検定とt−分布 | 清田 正夫 |
| 14 | 1/25 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 総合演習1 | 清田 正夫 |
| 15 | 2/1 | 10:50−12:20 | 7番教室 | 総合演習2 | 清田 正夫 |

**授業方法**

主として、板書による講義を行なう。

毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。

中間試験と定期試験を行なう。

**授業内容**

第 1回 標本データの記述

第 2回 確率と標本空間

第 3回 ベイズの定理と確率分布

第 4回 2項分布と正規分布

第 5回 正規近似と中心極限定理

第 6回 母集団と標本抽出

第 7回 中間試験

第 8回 平均値の推定

第 9回 比率の推定

第10回 推定とt−分布

第11回 平均値の検定

第12回 比率の検定

第13回 検定とt−分布

第14回 総合演習1

第15回 総合演習2

**成績評価の方法**

評価 : 中間試験 30% ・ 定期試験 60% ・ その他(授業中の演習)10%

再評価: 有(筆記試験)

・ 中間試験と定期試験はいずれも筆記試験によって行う。

・ 前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間試験と定期試験の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく復習しておくこと。

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出(下記「授業方法」参照)。

**教科書**

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

**参考書**

初等統計学／P. G. ホーエル 著,浅井 晃 共訳,村上 正康 共訳.:培風館, 1985

統計学入門／東京大学教養学部統計学教室／編,:東京大学出版会, 1991

**履修上の注意事項**

・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

**備考**

中間試験、定期試験の成績により、レポート課題を課すこともある。

**連絡先**

清田 正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

| 時間割番号 | 000056 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学(一般化学)M | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 渡邊 総一郎 | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:水曜1限

・対象学科:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

**授業の到達目標**

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート　基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 2 | 4/19 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 3 | 4/26 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 4 | 5/10 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 5 | 5/17 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 6 | 5/24 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 7 | 5/31 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 8 | 6/7 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 9 | 6/14 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 10 | 6/21 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 11 | 6/28 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 12 | 7/5 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 13 | 7/12 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 14 | 7/19 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 15 | 7/26 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 16 | 9/27 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 17 | 10/4 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 18 | 10/11 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 19 | 10/18 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 20 | 10/25 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 21 | 11/1 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 22 | 11/8 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 23 | 11/15 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 24 | 11/22 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 25 | 11/29 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 26 | 12/6 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 27 | 12/13 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 28 | 12/20 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 29 | 1/10 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 30 | 1/17 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 渡邊 総一郎 |

**授業方法**

講義形式による

**授業内容**

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

考査、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

前期

第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版　第2回 単位:SI と非 SI

第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1)　第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)

第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3)　第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4)

第7回 熱力学の原理(1)　第8回 熱力学の原理(2)

第9回 熱力学の原理(3)　第 10 回 熱力学の原理(4)

第 11 回 熱力学の原理(5)　第 12 回 熱力学の原理(6)

第 13 回 熱力学の原理(7)　第 14 回 熱力学の平衡論への応用(1)

第 15 回 熱力学の平衡論への応用(2)

後期

第 1 回 化学実験学(誤差の取り扱い方)　第2回 化学実験学(誤差の取り扱い方)

第3回 アルカンとシクロアルカン　第4回 アルケンとアルキン

第5回 芳香族化合物　第6回 立体異性

第7回 有機ハロゲン化合物　第8回 アルコール、フェノール、チオール

第9回 エーテルとエポキシド　第10回 アルデヒドとケトン

第11回 有機化学の筆記試験(考査)　第12回 学力認定試験

第13回 補強コース/アドバンスコース(1)

第14回 補強コース/アドバンスコース(2)

第15回 補強コース/アドバンスコース(3)

**成績評価の方法**

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査、後期の考査、学力認定試験の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

**試験の受験資格**

考査:前期の考査は3分の2以上出席

後期の考査は3分の2以上出席

**教科書**

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳:オーム社, 1995

ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002

**参考書**

フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳:化学同人, 1996

化学熱力学(修正版)／原田義也 著,:裳華房, 2002

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[上]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳:化学同人, 2011

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[下]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳:化学同人, 2011

ウォーレン有機化学〈上〉／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳:東京化学同人, 2003

| |
|---|
| 参考材料:HGS 分子模型 |
| **他科目との関連** |
| 化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。 |
| **履修上の注意事項** |
| 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 |
| **備考** |
| キーワード:分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学<br>第1回～第5回は検査技術学学専攻との合同授業になります。 |
| **連絡先** |
| 奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー** |
| 奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階 |

| 時間割番号 | 000057 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学(一般化学)D | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 澤野 頼子 | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 月曜3限

・対象学科: 歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

**授業の到達目標**

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習　一般化学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 2 | 4/24 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 3 | 5/1 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 4 | 5/8 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 5 | 5/15 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 6 | 5/22 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 7 | 5/29 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 8 | 6/5 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 9 | 6/12 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 10 | 6/19 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 11 | 6/26 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 12 | 7/3 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 13 | 7/10 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 14 | 7/24 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 15 | 7/31 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 16 | 9/25 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 17 | 10/2 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 18 | 10/16 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 19 | 10/23 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 20 | 10/30 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 21 | 11/6 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 22 | 11/13 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 23 | 11/20 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 24 | 11/27 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 25 | 12/4 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 26 | 12/11 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 27 | 12/18 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 28 | 1/15 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 29 | 1/22 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |
| 30 | 1/29 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 澤野 頼子 |

**授業方法**

講義形式による

**授業内容**

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いて、マクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

考査、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

前期

第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版　第2回 単位:SI と非 SI

第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1)　第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)

第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3)　第6回 原子構造と周期律(4)

第7回 熱力学第一法則(1)　第8回 熱力学第一法則(2)

第9回 熱力学第一法則(3)　第 10 回 熱力学第二法則(1)

第 11 回 熱力学第二法則(2)　第 12 回 熱力学第二法則(3)

第 13 回 ギブスエネルギー　第 14 回 熱力学的関係式

第 15 回 化学ポテンシャル

後期

第 1 回 化学実験学(誤差の取り扱い方)　第2回 化学実験学(誤差の取り扱い方)

第3回 有機化学と電子の軌道　第4回 アルカンとシクロアルカン

第5回 アルケン　第6回 共役ジエンとアルキン

第7回 立体化学　第8回 芳香族化合物

第9回 有機ハロゲン化合物　第 10 回 酸素を含む有機化合物

第 11 回 有機化学の筆記試験(考査)　第 12 回 学力認定試験

第 13 回 補強コース/アドバンスコース(1)

第 14 回 補強コース/アドバンスコース(2)

第 15 回 補強コース/アドバンスコース(3)

**成績評価の方法**

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査、後期の考査、学力認定試験の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

**試験の受験資格**

考査:Part1, Part2, Part3 それぞれ3分の2以上出席

**教科書**

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳.:オーム社, 1995

エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著,:裳華房, 1997

ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳.:培風館, 2002

**参考書**

フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳.:化学同人, 1996

マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳.:東京化学同人, 2013

マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,:東京化学同人, 2013

有機化学／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳.:東京化学同人, 1994

有機化学／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳.:東京化学同人, 1994

ジョーンズ有機化学 第5版 上:東京化学同人, 2016

ジョーンズ有機化学 第5版 下:東京化学同人, 2016

ベーシック有機化学:化学同人, 2010

基礎有機化学／大嶌幸一郎 著,:東京化学同人, 2010

**他科目との関連**

part1 では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

**履修上の注意事項**

前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。

**備考**

キーワード:分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学

**連絡先**

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000058 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学(一般化学)T | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 森井 尚之 | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:前期 水曜日1時限、後期 月曜日4時限

・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学&物理化学)」を学習します。

**授業の到達目標**

授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」、「ハート基礎有機化学」、「臨床検査学講座 化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 2 | 4/19 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 3 | 4/26 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 4 | 5/10 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 5 | 5/17 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 奈良 雅之 |
| 6 | 5/24 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 澤野 頼子 |
| 7 | 5/31 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 澤野 頼子 |
| 8 | 6/7 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 澤野 頼子 |
| 9 | 6/14 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 澤野 頼子 |
| 10 | 6/21 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 11 | 6/28 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 12 | 7/5 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 13 | 7/12 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 14 | 7/19 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 渡邊 総一郎 |
| 15 | 7/26 | 09:10-10:40 | 6番教室 | 澤野 頼子 |
| 16 | 9/25 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 17 | 10/2 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 18 | 10/16 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 19 | 10/23 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 20 | 10/30 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 21 | 11/6 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 森井 尚之 |
| 22 | 11/13 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 森井 尚之 |
| 23 | 11/20 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 森井 尚之 |
| 24 | 11/27 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 森井 尚之 |
| 25 | 12/4 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 森井 尚之 |
| 26 | 12/11 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 27 | 12/18 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 28 | 1/15 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 29 | 1/22 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |
| 30 | 1/29 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 奈良 雅之 |

**授業方法**

講義による

**授業内容**

前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる化学熱力学、生体高分子論、反応速度論の分野を取り上げます。

第1回 序論、単位:SI と非 SI　　第2回 酸塩基平衡の取り扱い方(1)
第3回 酸塩基平衡の取り扱い方(2)　　第4回 酸塩基平衡の取り扱い方(3)
第5回 酸塩基平衡の取り扱い方(4)　　第6回 原子の構造(1)
第7回 原子の構造(2)　　第8回 気体・液体・固体
第9回 溶液　　第 10 回 有機化学と電子の軌道
第 11 回 アルカンとシクロアルカン　　第 12 回 アルケンとアルキン
第 13 回 芳香族化合物　　第 14 回 立体異性
第 15 回 筆記試験　　第 16 回 化学熱力学の序論
第 17 回 熱力学第一法則(1)　　第 18 回 熱力学第一法則(2)
第 19 回 熱力学第一法則(3)　　第 20 回 熱力学第二法則(1)
第 21 回 生体高分子(1)　　第 22 回 生体高分子(2)
第 23 回 生体高分子(3)　　第 24 回 生体高分子(4)
第 25 回 生体高分子(5)　　第 26 回 熱力学第二法則(2)
第 27 回 熱力学第二法則(3)　　第 28 回 化学反応速度(1)
第 29 回 生体高分子(1)　　第 30 回 筆記試験

**成績評価の方法**

評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・
その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)
再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

**試験の受験資格**

期末考査・再試験の受験資格:3分の2以上出席

**教科書**

化学/岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,:医歯薬出版, 2005
ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,:培風館, 2002
一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳:オーム社, 1995

**参考書**

マクマリー一般化学(上)/JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,:東京化学同人, 2010
有機化学(上)/モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳,:東京化学同人, 1994
有機化学(中)/モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳,:東京化学同人, 1994
マクマリー有機化学(上)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳,:東京化学同人, 2013
マクマリー有機化学(中)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,:東京化学同人, 2013
ウォーレン有機化学(上)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,:東京化学同人, 2003
ウォーレン有機化学(下)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,:東京化学同人, 2003
ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳,:化学同人, 2011
ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大嶌幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳,:化学同人, 2011
エントロピーから化学ポテンシャルまで/渡辺啓 著,:裳華房, 1997

**他科目との関連**

後期に「科学基礎実験Ｔ」の基礎となる理論を取り扱います。

**履修上の注意事項**

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。 前期の定期試験（考査）と後期の定期試験（考査）の両方を受験していることが、 再試験（再評価）を受ける資格になります。

**備考**

第1回～第5回は医学科との合同授業になります。

**連絡先**

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000835 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学基礎(α) | | |
| 担当教員 | 澤野　頼子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 火曜 2 時限

・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表4－1) 入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

別表4－2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**主な講義場所**

第 1(4 月 11 日)～第 5 回(5 月 9 日): 湯島キャンパス　歯学科演習室 3・4

第 6 回(5 月 23 日)～第 15 回(7 月 25 日): 国府台キャンパス　11 番教室

**授業の目的、概要等**

主にセンター試験で化学を選択しなかった学生に対して、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。

**授業の到達目標**

授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来看護や口腔保健の専門の基礎となる化学を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/11 | 10:30-12:00 | 歯学科第1講義室 | イントロダクション | 生命・医療・生活と化学の関わり | 澤野　頼子 | 化学基礎αとβ合同 |
| 2 | 4/18 | 08:50-10:20 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 補習(1) | 元素記号と元素名 | 澤野　頼子 | |
| 3 | 4/18 | 10:30-12:00 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 物質の構成 | 物質の種類、原子・イオン、周期表 | 澤野　頼子 | |
| 4 | 4/25 | 08:50-10:20 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 補習(2) | 電子式、イオン式の表記・名称 | 澤野　頼子 | |
| 5 | 4/25 | 10:30-12:00 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 物質と化学結合(1) | イオン結合、共有結合、配位結合、金属結合 | 澤野　頼子 | |
| 6 | 5/2 | 08:50-10:20 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 補習(3) | 分子式の表記・名称 | 澤野　頼子 | |
| 7 | 5/2 | 10:30-12:00 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 物質と化学結合(2) | 分子間の結合(水素結合、ファンデルワールス力) | 澤野　頼子 | |
| 8 | 5/9 | 08:50-10:20 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 補習(4) | 化学基礎α講義の補足 | 澤野　頼子 | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 5/9 | 10:30–12:00 | 歯学部演習室, 歯学部演習室 | 物質量と濃度 | | 澤野 頼子 | |
| 10 | 5/23 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 物質量と化学反応式 | | 澤野 頼子 | |
| 11 | 5/30 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 酸と塩基、pH | | 澤野 頼子 | |
| 12 | 6/6 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 中和反応、塩、緩衝液 | | 澤野 頼子 | |
| 13 | 6/13 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 酸化還元反応 | | 澤野 頼子 | |
| 14 | 6/20 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 有機化合物(1) | | 澤野 頼子 | |
| 15 | 6/27 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 有機化合物(2) | | 澤野 頼子 | |
| 16 | 7/4 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 有機化合物(3) | | 澤野 頼子 | |
| 17 | 7/11 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 有機化合物(4) | | 澤野 頼子 | |
| 18 | 7/18 | 10:50–12:20 | 11番教室, 11番教室 | 有機化合物(5) | | 澤野 頼子 | |
| 19 | 7/25 | 10:50–12:20 | 11番教室 | 筆記試験 | | 澤野 頼子 | |

**授業方法**

講義による

**授業内容**

1. 生命・医療・生活と化学の関わり
2. 原子の構造、イオン
3. 元素の周期律
4. 化学結合と分子の構造:金属結合、イオン結合、共有結合、配位結合、水素結合、ファンデルワールス力
5. 物質量と濃度
6. 酸と塩基、pH、中和反応
7. 酸化と還元
8. 有機化合物

**成績評価の方法**

評価 : 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(出席状況・授業時の小テストなど) 15%

再評価: 有(再評価方法 再試験)

なお、再評価における成績の上限は 75 点(GPA 換算で 3.0)とし、評価における不合格者及び希望者が再試を受けられるものとする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習:参考書等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義の内容および演習問題・小テストを復習する。

その他、教員からの指示を参考に学習する。

**試験の受験資格**

試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席

**参考書**

高校化学再入門 : 大学の化学でつまずいた人へ／小玉信武 著,:化学同人, 2005

化学の基礎 : 元素記号からおさらいする化学の基本／中川徹夫 著,:化学同人, 2010

高校の「化学基礎」および「化学」の教科書

**他科目との関連**

化学基礎αβのクラス分けは、入学時に実施するプレースメントテストおよび高等学校での化学の履修状況を考慮して行う。 また、火曜1時限(第2週～第5週)に「化学基礎(補習)」を開講する。受講を勧められた者および受講を希望する者は併せて受講すること。

**連絡先**

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000836 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学基礎(β) | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:火曜2限 （初回のみ 1・2限）

・対象学科:保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**主な講義場所**

第1週(4/11)～第5週(5/9):湯島キャンパス　OH第3講義室、歯学科演習室1・2

第6週(5/16)以降:国府台キャンパス

**授業の目的、概要等**

高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。

**授業の到達目標**

教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。

生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/11 | 10:30-12:00 | 歯学科第1講義室 | 澤野 頼子 |
| 2 | 4/18 | 08:50-10:20 | 口腔保健学科第3講義室 | 宮園 健一 |
| 3 | 4/18 | 10:30-12:00 | 口腔保健学科第3講義室 | 宮園 健一 |
| 4 | 4/25 | 10:30-12:00 | 口腔保健学科第3講義室 | 宮園 健一 |
| 5 | 5/2 | 10:30-12:00 | 口腔保健学科第3講義室 | 宮園 健一 |
| 6 | 5/9 | 10:30-12:00 | 口腔保健学科第3講義室 | 宮園 健一 |
| 7 | 5/23 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 8 | 5/30 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 9 | 6/6 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 10 | 6/13 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 11 | 6/20 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 12 | 6/27 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 勝又 敏行 |
| 13 | 7/4 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 奈良 雅之 |
| 14 | 7/11 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 奈良 雅之 |
| 15 | 7/18 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 奈良 雅之 |
| 16 | 7/25 | 09:10-10:40 | 8番教室 | 奈良 雅之 |
| 17 | 7/25 | 10:50-12:20 | 8番教室 | 奈良 雅之 |

**授業方法**

授業は講義形式を基本とする

**授業内容**

1. 序論　　単位について

2. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子

化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式

3. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、

気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、

溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド

4. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物

5. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

6. 物質の変化　化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー、

酸と塩基の反応:水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、

酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡

7. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素

**成績評価の方法**

評価:定期試験　100%・レポート 0%

その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する)

再評価:有(再評価の方法　再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

**試験の受験資格**

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

**教科書**

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,:共立出版, 2005

**参考書**

化学／岡崎三代, 奈良雅之 著,:医歯薬出版, 2005

**連絡先**

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

勝又　敏行:毎週木曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

| 時間割番号 | 000264 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学(細胞・遺伝子)M | | |
| 担当教員 | 伊藤　正則 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:火曜日 1・2 限

・対象学科・専攻:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

**主な講義場所**

教育棟(ヒポクラテスホール)1階、1番教室

**授業の目的、概要等**

細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育へスムーズにつなげることと、生物の進化に関する仮説とその根拠を理解することを目標とする。

**授業の到達目標**

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。

3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。

5)代謝とは何か、説明することができる。

6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5/30 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 細胞(1) | 細胞小器官の構造と機能 | 伊藤　正則 |
| 2 | 5/30 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 細胞(2) | 細胞の主要構成物質の構造と化学性質、細胞膜の構造と機能 | 伊藤　正則 |
| 3 | 6/6 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 細胞(3) | 細胞骨格、細胞接着 | 伊藤　正則 |
| 4 | 6/6 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 遺伝子(1) | 遺伝の法則、核、染色体、DNA、ゲノム | 伊藤　正則 |
| 5 | 6/13 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 遺伝子(2) | DNA の複製、損傷、修復、組み換え | 伊藤　正則 |
| 6 | 6/13 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 遺伝子(3) | 転写、RNA スプライシング、翻訳、転写調節機構 | 伊藤　正則 |
| 7 | 6/20 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 遺伝子(4) | 遺伝子発現機構の新しい知識とこれが発見された過程 | 伊藤　正則 |
| 8 | 6/20 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 遺伝子(5) | 遺伝性疾患、遺伝子操作技術の医療への応用 | 伊藤　正則 |
| 9 | 6/27 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 細胞分裂 | 体細胞分裂、減数分裂 | 伊藤　正則 |
| 10 | 6/27 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 代謝 | 生体内での化学反応、酵素、エネルギー変換 | 伊藤　正則 |
| 11 | 7/4 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 酸素呼吸 | 概要、ATP の生成、構成する反応系(解糖系、クエン酸回路、電子伝達系) | 伊藤　正則 |
| 12 | 7/4 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 生物の進化 | 生物の多様性、進化の仮説 | 伊藤　正則 |
| 13 | 7/11 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 休講 | | 伊藤　正則 |
| 14 | 7/11 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 前期考査 | | 伊藤　正則 |
| 15 | 7/18 | 09:10-10:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能の概要 | 個体、器官、組織、細胞 | 伊藤　正則 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 7/18 | 10:50–12:20 | 7番教室 | 生体内での情報伝達機構 | 内分泌系、神経系 | 伊藤 正則 | |

**授業方法**

講義形式で行う。

**授業内容**

生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。

**成績評価の方法**

試験 90%・レポート 0%

その他(授業内での試験など 10%)

再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

前期の授業内容に関する試験と後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理すること。

**試験の受験資格**

2/3 以上、出席すること。

**教科書**

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

必要に応じて参考資料を配布する。

**参考書**

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox:McGraw-Hill, 2014

**履修上の注意事項**

出欠管理システムで出欠を記録する。

**連絡先**

itohmt.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 AM.10:00–PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

| 時間割番号 | 000266 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学(細胞・遺伝子)DT | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:火曜日1・2限

・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

**授業の目的、概要等**

生物学(細胞・遺伝子)では,「生命のしくみ」に重点を置き, ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに, 生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ, さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。

時間の制約もありこの科目では, 生命の基本単位である「DNAと遺伝子」,「細胞の構造と機能」に関しては, すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。

**授業の到達目標**

分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5/30 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(1) | DNA・ゲノム・遺伝子 | 服部 淳彦 |
| 2 | 5/30 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(2) | DNA・ゲノム・遺伝子 | 服部 淳彦 |
| 3 | 6/6 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(3) | 真核生物の遺伝子の構造 | 服部 淳彦 |
| 4 | 6/6 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(4) | 遺伝子の発現と制御 | 服部 淳彦 |
| 5 | 6/13 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(5) | 染色体と細胞周期 | 服部 淳彦 |
| 6 | 6/13 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(6) | 遺伝病 | 服部 淳彦 |
| 7 | 6/20 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(7) | 遺伝性疾患と遺伝様式 | 服部 淳彦 |
| 8 | 6/20 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(8) | 遺伝子診断と DNA 型鑑定 | 服部 淳彦 |
| 9 | 6/27 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生命を支配する遺伝子(9) | 遺伝子治療の現状と問題点 | 服部 淳彦 |
| 10 | 6/27 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生物の多様性と分子進化(1) | 分子進化と分子系統樹 | 服部 淳彦 |
| 11 | 7/4 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生物の多様性と分子進化(2) | 中立説と自然淘汰説 | 服部 淳彦 |
| 12 | 7/4 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 生物の多様性と分子進化(3) | 遺伝子の進化と種の分化 | 服部 淳彦 |
| 13 | 7/11 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生物の多様性と分子進化(4) | ヒトの起源と未来 | 服部 淳彦 |
| 14 | 7/11 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 前期考査 | 前期の授業内容に関する試験 | 服部 淳彦 |
| 15 | 7/18 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 生体の構造と機能(1) | 生体における情報伝達系 | 服部 淳彦 |
| 16 | 7/18 | 10:50-12:20 | 1番教室 | 生体の構造と機能(2) | 生体における情報伝達系 | 服部 淳彦 |

**授業方法**

講義による。

**授業内容**

生命を支配する遺伝子

1. 分子遺伝学とは
2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA
3. 真核生物の遺伝子の構造
4. 遺伝子の発現と制御
5. 染色体と細胞周期
6. 細胞分裂 – 体細胞分裂・減数分裂
7. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅰ
8. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅱ
9. 遺伝子診断とDNA型鑑定
10. 遺伝子治療の現状と問題点

生物の多様性と分子進化

11. 生物の多様性と進化
12. 分子進化と分子系統樹
13. 中立説と自然淘汰説
14. 遺伝子の進化と種の分化
15. ヒトの起源と未来

**成績評価の方法**

評価:試験 90%・レポート 0%

その他 10%(授業内での回答状況等)

再評価:有(再試験の成績は60点を上限とする)

生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。

**教科書**

はじめの一歩の生化学・分子生物学 (第3版)／前野正夫, 磯川桂太郎:羊土社, 2016

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／SS Mader:医学書院, 2011

授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。

**参考書**

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳.:南江堂, 2011

**連絡先**

ahattori.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

| 時間割番号 | 000265 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学(構造・機能)M | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:月曜日3限

・対象学科・専攻:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

**授業の目的、概要等**

1年の前期の講義では，生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は，個々の細胞が集まって構築されている個体が，どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は，特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして，鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また，それぞれの項目に関しては，系統発生的・進化学的な視点からも解説する。

**授業の到達目標**

生体の各組織や器官について，その構造と機能の概要を理解し，それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また，ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(3) | 成長 | 服部 淳彦 |
| 2 | 10/2 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(4) | 骨と軟骨 | 服部 淳彦 |
| 3 | 10/16 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(5) | カルシウムの調節 | 服部 淳彦 |
| 4 | 10/23 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(6) | 排泄と泌尿器 | 服部 淳彦 |
| 5 | 10/30 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(7) | 血圧と循環器 | 服部 淳彦 |
| 6 | 11/6 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(8) | 栄養と消化器系 | 服部 淳彦 |
| 7 | 11/13 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(9) | 血糖値とその調節系 | 服部 淳彦 |
| 8 | 11/20 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(10) | 刺激と感覚系 | 服部 淳彦 |
| 9 | 11/27 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(11) | 中枢神経 | 服部 淳彦 |
| 10 | 12/4 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(12) | 免疫系 | 服部 淳彦 |
| 11 | 12/11 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 生体の構造と機能(13) | 炎症とアレルギー | 服部 淳彦 |
| 12 | 12/18 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 後期考査+学力認定試験 | 後期の授業内容に関する試験+学力認定試験 | 服部 淳彦 |
| 13 | 1/15 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 補強コース+アドバンスコース(1) | 補強コース+アドバンスコース(1) | 服部 淳彦 |
| 14 | 1/22 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 補強コース+アドバンスコース(2) | 補強コース+アドバンスコース(2) | 服部 淳彦 |
| 15 | 1/29 | 13:10-14:40 | 1番教室 | 補強コース+アドバンスコース(3) | 補強コース+アドバンスコース(3) | 服部 淳彦 |

**授業方法**

講義による。

**授業内容**

1. 細胞から個体へ
2. 生体における情報伝達系
3. 成長
4. 骨と軟骨
5. ホメオスタシス
6. カルシウムの調節
7. 排泄と泌尿器系
8. 血圧と循環器系

9. 栄養と消化器系
10. 血糖値の調節
11. 刺激と感覚・神経系
12. 炎症とアレルギー
13. 免疫系
14. 子孫の維持と生殖系
15. 加齢と加齢性障害

**成績評価の方法**

評価:試験 90%・レポート 0%
その他 10%(授業内での回答状況等)
再評価:有(再試験の成績は60点を上限とする)
生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。

**教科書**

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版/S. S. Mader:医学書院, 2011
授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。

**参考書**

からだの構造と機能/A. Schaffler、S. Schmidt:西村書店

**連絡先**

ahattori.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

| 時間割番号 | 000267 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学(構造・機能)DT | | |
| 担当教員 | 伊藤　正則 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:水曜日 1 限

・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

**主な講義場所**

教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室

**授業の目的、概要等**

生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

**授業の到達目標**

1)生体の基本構造を説明することができる。

2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 血管 | 動脈、静脈、毛細血管 | 伊藤　正則 |
| 2 | 10/4 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 血液の組成と機能 | 血球、血漿、血液凝固、血液型 | 伊藤　正則 |
| 3 | 10/11 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 免疫(1) | 非特異的生体防御機構 | 伊藤　正則 |
| 4 | 10/18 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 免疫(2) | 特異的生体防御機構 | 伊藤　正則 |
| 5 | 10/25 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 消化 | 消化管、酵素、ピロリ菌 | 伊藤　正則 |
| 6 | 11/1 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 生殖 | 生殖腺の組織構造、配偶子形成、減数分裂 | 伊藤　正則 |
| 7 | 11/8 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 発生 | 細胞増殖、細胞分化、細胞死、器官形成 | 伊藤　正則 |
| 8 | 11/15 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 細胞死 | アポトーシス、ネクローシス | 伊藤　正則 |
| 9 | 11/22 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 運動 | 筋、骨 | 伊藤　正則 |
| 10 | 11/29 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 内分泌系 | ホルモン、内分泌器官の構造と機能 | 伊藤　正則 |
| 11 | 12/6 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 神経系 | ニューロン、グリア細胞、電気信号、ニューロトランスミッター | 伊藤　正則 |
| 12 | 12/13 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 生態系 | 生態系に対する人類の干渉、生物多様性の保護 | 伊藤　正則 |
| 13 | 12/20 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 後期考査、学力認定テスト | | 伊藤　正則 |
| 14 | 1/10 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | アドバンスコース/補強コース(1) | アドバンスコース:最近の研究紹介　補強コース:前期の復習 | 伊藤　正則 |
| 15 | 1/17 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | アドバンスコース/補強コース(2) | アドバンスコース:最近の研究紹介　補強コース:前期の復習 | 伊藤　正則 |

**授業方法**

講義形式で行う。

**授業内容**

代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

**成績評価の方法**

評価:試験 90%・レポート 0%

その他(授業期間内での試験 10%)

再評価:有(再評価の成績は 60 点を上限とする)

前期と後期の本試験または追試験と学力認定試験の全ての試験を受けないと、再試験を受けることはできない(履修放棄とみなす)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。

**試験の受験資格**

2/3 以上出席すること。

**教科書**

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳.坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

必要に応じて参考資料を配布する。

**参考書**

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S:McGraw-Hill, 2014

／F.H.マティーニ, M.J.ティモンズ, M.P.マッキンリ 著,井上貴央 監訳.新井良八 [ほか]訳:西村書店, 2003

**連絡先**

itohmt.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

| 時間割番号 | 000843 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 細胞生物学基礎 | | | | |
| 担当教員 | 松本 幸久, 服部 淳彦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 月曜4限

・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

4－1) 入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。

**主な講義場所**

ヒポクラテスホール1階1番教室

**授業の目的、概要等**

生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。

**授業の到達目標**

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。

3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4)代謝とは何か、説明することができる。

5)酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 生物とは | 生物の特徴　生物の分類　組織、器官、器官系 | 松本 幸久 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 細胞 | 細胞とは　細胞小器官の種類と機能 | 松本 幸久 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 細胞膜と細胞骨格 | 細胞膜の構造と機能　細胞骨格の構造と機能 | 松本 幸久 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 生物を構成する物質 | 人体に含まれる元素　タンパク質、糖質、核酸の構造と機能 | 松本 幸久 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 栄養と代謝 | 3大栄養素の消化　酵素の性質 | 松本 幸久 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 酵素と代謝 | 酵素の種類　好気呼吸と嫌気呼吸 | 松本 幸久 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 遺伝の法則 | 遺伝と遺伝子　一遺伝子雑種　二遺伝子雑種 | 松本 幸久 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 1番教室 | DNAの複製 | ゲノム、染色質、染色体DNAの複製 | 松本 幸久 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 遺伝子の発現機構1 | 転写　RNAプロセシング | 松本 幸久 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 遺伝子の発現機構2 | 翻訳 | 松本 幸久 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 遺伝子の修復機構 | DNA構造異常　DNA修復機構　遺伝子突然変異　染色体突然変異 | 松本 幸久 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 転写調節機構 | 原核生物の転写開始　オペロン　真核生物の転写開始と転写調節 | 松本 幸久 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 細胞分裂 | 体細胞分裂と減数分裂　染色体異常 | 松本 幸久 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 遺伝子操作 | 遺伝子工学の様々な技術　医学への応用 | 松本 幸久 |
| 15 | 7/31 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 期末テスト | | 松本 幸久 |

**授業方法**

講義形式で行う。

**授業内容**

細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。

**成績評価の方法**

評価:期末考査 80%・レポート 0%

その他(授業期間内での試験 20%)

再評価:有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

**試験の受験資格**

授業の3分の2以上出席すること。

**教科書**

医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,:裳華房, 2016

必要に応じて参考資料を配布する。

**参考書**

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

やさしい基礎生物学／南雲 保:羊土社, 2011

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

**連絡先**

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

| 時間割番号 | 000064 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 人体の生物学基礎 | | | | |
| 担当教員 | 松本　幸久 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

**主な講義場所**

ヒポクラテスホール1階1番教室

**授業の目的、概要等**

多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。

**授業の到達目標**

1）生体の基本構造を説明することができる。

2）生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 組織と器官 | 4段階の組織化　4種類の組織 11種類の器官系 | 松本　幸久 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 骨格系と筋系 | 骨の細胞　筋の細胞　筋線維の収縮機構 | 松本　幸久 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 消化器系 | 消化管（胃、小腸、大腸）　付属器官（膵臓、肝臓、胆嚢） | 松本　幸久 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 血液 | 血球の種類と働き　血液の凝固　血液型 | 松本　幸久 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 循環器系 | 血管系（血管、心臓）　リンパ系（リンパ管、リンパ系器官） | 松本　幸久 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 免疫系1 | 免疫とは　免疫系器官　自然免疫 | 松本　幸久 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 免疫系2 | 獲得免疫　免疫の誘導　免疫の副作用 | 松本　幸久 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 内分泌系1 | 内分泌腺（視床下部、下垂体、甲状腺、副腎）と　ホルモンの機能 | 松本　幸久 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 内分泌系2 | 内分泌腺（膵臓、性腺、松果体）とホルモンの機能　ホルモンによる生理調節機構 | 松本　幸久 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 神経系1 | 中枢神経と末梢神経　ニューロンとグリア | 松本　幸久 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 神経系2 | 静止膜電位と活動電位　興奮の伝導　シナプス伝達 | 松本　幸久 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 神経系3 | 大脳、間脳、脳幹、小脳　の機能 | 松本　幸久 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 神経系4 | 脳の高次機能　薬物乱用　脳の疾患 | 松本　幸久 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 感覚器1 | 機械受容器と聴覚・平衡感覚　化学受容器と味覚・嗅覚 | 松本　幸久 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 1番教室 | 感覚器2 | 光受容器と視覚　感覚受容の多様性 | 松本　幸久 |

**授業方法**

講義形式で行う。

**授業内容**

生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。

**成績評価の方法**

評価:期末考査 80%・レポート 0%

その他(授業期間内での試験 20%)

再評価:有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

**試験の受験資格**

授業の3分の2以上出席すること。

**教科書**

医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,:裳華房, 2016

必要に応じて参考資料を配布する。

**参考書**

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

**連絡先**

yukihisa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

| 時間割番号 | 000065 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 | | | | |
| 担当教員 | 畔柳　和代, 猪熊　恵子, フォス　パトリック, Dennisson Jeanette , Miya Marutsuka, Jonathan Corliss, 菅原　未宇 | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 4 |

**準備学習などについての具体的な指示**

**連絡先**

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

フォス　パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000066 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Introduction | Course description　Course website sign in　Survey | Dennisson Jeanette | |
| 2 | 4/19 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Teacher topic 1 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 3 | 4/26 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 1 | Dennisson Jeanette | |
| 4 | 5/10 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library (図書館) |
| 5 | 5/17 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion test 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette | |
| 6 | 5/24 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Teacher topic 2 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 7 | 5/31 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 2 | Dennisson Jeanette | |
| 8 | 6/7 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library (図書館) |
| 9 | 6/14 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion test 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette | |
| 10 | 6/21 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Teacher topic 3 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 11 | 6/28 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 1 or 2 Survey/interview | Dennisson Jeanette | |
| 12 | 7/5 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library (図書館) |
| 13 | 7/12 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Discussion test 3 | Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette | |
| 14 | 7/19 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 | Dennisson Jeanette | |
| 15 | 7/26 | 09:10–10:40 | 10 番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 | Dennisson Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000067 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ａ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 4/19 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | フォス　パトリック |
| 3 | 4/26 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | フォス　パトリック |
| 4 | 5/10 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | フォス　パトリック |
| 5 | 5/17 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | フォス　パトリック |
| 6 | 5/24 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | フォス　パトリック |
| 7 | 5/31 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Review | Review Discussion | フォス　パトリック |
| 8 | 6/7 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | フォス　パトリック |
| 9 | 6/14 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | フォス　パトリック |
| 10 | 6/21 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 8 | Discussion 8 | フォス　パトリック |
| 11 | 6/28 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 9 | Discussion 9 | フォス　パトリック |
| 12 | 7/5 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 10 | Discussion 10 | フォス　パトリック |
| 13 | 7/12 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Book Project | Book Project Discussion | フォス　パトリック |
| 14 | 7/19 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Review | Speaking Test Practice | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 7/26 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | Review | In-class Speaking Test | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 50% quizzes 20% speaking test 20% book report/quiz: 10%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000068 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 4/19 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 4/26 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 5/10 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 5/17 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 5/24 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 5/31 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 6/7 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 6/14 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 6/21 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 6/28 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 7/5 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | Miya Marutsuka |
| 13 | 7/12 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 7/19 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 7/26 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000069 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Jonathan Corliss | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Guidance | Course Introduction | Jonathan Corliss |
| 2 | 4/19 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 1 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 3 | 4/26 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 2 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 4 | 5/10 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 3 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 5 | 5/17 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 4 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 6 | 5/24 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 5 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 7 | 5/31 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 6 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 8 | 6/7 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 7 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 9 | 6/14 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 8 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 10 | 6/21 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 9 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 11 | 6/28 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 10 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 12 | 7/5 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 11 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 13 | 7/12 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 12 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 14 | 7/19 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Topic 13 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 15 | 7/26 | 09:10–10:40 | 4 番教室 | Review | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation：50% assignments and quizzes：25% final discussion test: 25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000070 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Introduction | Course description<br>Interview/survey | Dennisson Jeanette |
| 2 | 4/19 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Teacher lecture 1 | Note taking 1　Surveys | Dennisson Jeanette |
| 3 | 4/26 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1　Surveys | Dennisson Jeanette |
| 4 | 5/10 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Discussion test 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 5 | 5/17 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Teacher lecture 2 | Note taking 2　Interview | Dennisson Jeanette |
| 6 | 5/24 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 2　Interview | Dennisson Jeanette |
| 7 | 5/31 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Discussion test 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 8 | 6/7 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Teacher lecture 3 | Note taking 3　Literature review | Dennisson Jeanette |
| 9 | 6/14 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review | Dennisson Jeanette |
| 10 | 6/21 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Discussion test 3 | Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette |
| 11 | 6/28 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Teacher lecture 4 | Note taking 3　Presenting | Dennisson Jeanette |
| 12 | 7/5 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review　Interview<br>Survey | Dennisson Jeanette |
| 13 | 7/12 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Discussion test 4 | Teacher topic 4 | Dennisson Jeanette |
| 14 | 7/19 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Student report/presentations | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review　Interview<br>Survey | Dennisson Jeanette |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Student report/presentations | Sciencedaily topic 1 or 2 Literature review Interview Survey | Dennisson Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation:15% class assignments and quizzes:55% final speaking test: 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000080 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Jonathan Corliss | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Guidance | Course Introduction | Jonathan Corliss |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 1 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 2 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 3 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 4 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 5 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 6 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 7 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 8 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 9 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 10 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 11 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 12 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | Topic 13 | Listening and Speaking Activities | Jonathan |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | Corliss |
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Review | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000071 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 4/19 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 4/26 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 5/10 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 5/17 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 5/24 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 5/31 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 6/7 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 6/14 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 6/21 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 6/28 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 7/5 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | Miya Marutsuka |
| 13 | 7/12 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 7/19 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 7/26 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | Marutsuka | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000075 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 4/20 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | フォス　パトリック |
| 3 | 4/27 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | フォス　パトリック |
| 4 | 5/11 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | フォス　パトリック |
| 5 | 5/18 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | フォス　パトリック |
| 6 | 5/25 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | フォス　パトリック |
| 7 | 6/1 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Review | Review Discussion | フォス　パトリック |
| 8 | 6/8 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | フォス　パトリック |
| 9 | 6/15 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | フォス　パトリック |
| 10 | 6/22 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 8 | Discussion 8 | フォス　パトリック |
| 11 | 6/29 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 9 | Discussion 9 | フォス　パトリック |
| 12 | 7/6 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Topic 10 | Discussion 10 | フォス　パトリック |
| 13 | 7/13 | 09:10–10:40 | 9 番教室 | Book Project | Book Project Discussion | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 7/20 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | Review | Speaking Test Practice | フォス パトリック | |
| 15 | 7/27 | 09:10-10:40 | 9 番教室 | Review | In-class Speaking Test | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 30% quizzes 20% speaking test 20% book report/quiz: 10%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000073 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | 菅原 未宇 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Guidance | Course Introduction | 菅原 未宇 |
| 2 | 4/20 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 1 | Discussion1 | 菅原 未宇 |
| 3 | 4/27 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 2 | Discussion 3 | 菅原 未宇 |
| 4 | 5/11 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | 菅原 未宇 |
| 5 | 5/18 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | 菅原 未宇 |
| 6 | 5/25 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | 菅原 未宇 |
| 7 | 6/1 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | 菅原 未宇 |
| 8 | 6/8 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | 菅原 未宇 |
| 9 | 6/15 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 8 | Discussion 8 | 菅原 未宇 |
| 10 | 6/22 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 9 | Discussion 9 | 菅原 未宇 |
| 11 | 6/29 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 10 | Discussion 10 | 菅原 未宇 |
| 12 | 7/6 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 11 | Discussion 11 | 菅原 未宇 |
| 13 | 7/13 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Topic 12 | Discussion 12 | 菅原 未宇 |
| 14 | 7/20 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Pre-Test Preparation | Practice | 菅原 未宇 |
| 15 | 7/27 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | In-Class Exam | Discussion Test | 菅原 未宇 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価:　attendance：30%, participation：30%, discussion test：40%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000074 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Introduction | Course description　Course website sign in　Survey | Dennisson Jeanette | |
| 2 | 4/20 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Teacher topic 1 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 3 | 4/27 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 1 | Dennisson Jeanette | |
| 4 | 5/11 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library（図書館） |
| 5 | 5/18 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion test 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette | |
| 6 | 5/25 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Teacher topic 2 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 7 | 6/1 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 2 | Dennisson Jeanette | |
| 8 | 6/8 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library（図書館） |
| 9 | 6/15 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion test 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette | |
| 10 | 6/22 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Teacher topic 3 | Note taking on Lecture of science topic article | Dennisson Jeanette | |
| 11 | 6/29 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily article 1 or 2 Survey/interview | Dennisson Jeanette | |
| 12 | 7/6 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion forum | Teacher and student topics | Dennisson Jeanette | in library（図書館） |
| 13 | 7/13 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Discussion test 3 | Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette | |
| 14 | 7/20 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 | Dennisson Jeanette | |
| 15 | 7/27 | 09:10–10:40 | 8 番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 | Dennisson | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000072 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 2 | 4/20 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 3 | 4/27 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 4 | 5/11 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 5 | 5/18 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 6 | 5/25 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 7 | 6/1 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 8 | 6/8 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 9 | 6/15 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 10 | 6/22 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 11 | 6/29 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 12 | 7/6 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 13 | 7/13 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 14 | 7/20 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya Marutsuka |
| 15 | 7/27 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Miya |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | Marutsuka | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000077 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Introduction | Course description<br>Interview/survey | Dennisson Jeanette |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Teacher lecture 1 | Note taking　Surveys | Dennisson Jeanette |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1　Surveys | Dennisson Jeanette |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Discussion test 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Teacher lecture 2 | Note taking　Interview | Dennisson Jeanette |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 2　Interview | Dennisson Jeanette |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Discussion test 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Teacher lecture 3 | Note taking　Literature review | Dennisson Jeanette |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review | Dennisson Jeanette |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Discussion test 3 | Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Teacher lecture 4 | Note taking　Presenting | Dennisson Jeanette |
| 12 | 7/6 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student discussions | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review; Interview; Survey | Dennisson Jeanette |
| 13 | 7/13 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Discussion test 4 | Teacher topic 4 | Dennisson Jeanette |
| 14 | 7/20 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student report/presentations | Sciencedaily topic 1 or 2<br>Literature review; Interview; Survey | Dennisson Jeanette |
| 15 | 7/27 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | Student | Sciencedaily topic 1 or 2 | Dennisson |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | report/presentations | Literature review; Interview; Survey | Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final speaking test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000078 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 a | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 4/20 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 4/27 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 5/11 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 5/18 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 5/25 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 6/1 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 6/8 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 6/15 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 6/22 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 6/29 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 7/6 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 7 | Discussion 7 | Miya Marutsuka |
| 13 | 7/13 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 7/20 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 7/27 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | Marutsuka | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000079 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Orientation | Course Introduction<br>Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 1 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 5 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 6 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 7 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 8 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 9 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 10 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 11 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 12 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Course Review | Reading/Writing Activities | フォス パトリック | |
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Course Review | In-class comprehensive test | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruc

tion and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000081 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance and participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay :30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000082 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 畔柳　和代 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：水曜2限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳　和代 |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Reading Material 12 | A Quiz and Short Assignment | 畔柳　和代 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Short Assignments | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 5番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳　和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

**連絡先**

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

| 時間割番号 | 000083 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 畔柳　和代 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳　和代 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Reading Material 12 | A Quiz and a Short Assignment | 畔柳　和代 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Short Assignments | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳　和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

**連絡先**

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

| 時間割番号 | 000084 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 4番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance and participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000085 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 4/20 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 4/27 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 5/11 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 5/18 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 5/25 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 6/1 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 6/8 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 6/15 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 6/22 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 6/29 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 7/6 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 7/13 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 14 | 7/20 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 7/27 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance +participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊 恵子:水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

| 時間割番号 | 000086 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 畔柳　和代 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：木曜1限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳　和代 |
| 2 | 4/20 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 3 | 4/27 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 4 | 5/11 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 5 | 5/18 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 6 | 5/25 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 7 | 6/1 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 8 | 6/8 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 9 | 6/15 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 10 | 6/22 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 11 | 6/29 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 12 | 7/6 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 13 | 7/13 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 12 | A Quiz and a Short Assignment | 畔柳　和代 |
| 14 | 7/20 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Short Assignments | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 15 | 7/27 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳　和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

| |
|---|
| の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>Attendance and participation are both essential. |
| **試験の受験資格**<br>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。 |
| **参照ホームページ**<br>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources. |
| **連絡先**<br>kuroyanagi.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室 |

| 時間割番号 | 000076 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Orientation | Course Introduction<br>Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 1 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 2 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 3 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 4 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 5 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 6 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 7 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 8 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 9 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 10 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 12 | 7/6 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 11 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |
| 13 | 7/13 | 10:50-12:20 | 9番教室 | Topic 12 | Reading/Writing Activities | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 7/20 | 10:50–12:20 | 9 番教室 | Course Review | Reading/Writing Activities | フォス パトリック | |
| 15 | 7/27 | 10:50–12:20 | 9 番教室 | Course Review | In-class comprehensive test | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30–PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30–PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000087 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 畔柳　和代 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳　和代 |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 12 | 7/6 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 13 | 7/13 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 畔柳　和代 |
| 14 | 7/20 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Reading Material 13 | a Quiz and a Short Assignment | 畔柳　和代 |
| 15 | 7/27 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳　和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

**連絡先**

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

| 時間割番号 | 000088 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 b | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 7/6 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 7/13 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 14 | 7/20 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 7/27 | 10:50-12:20 | 11 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000089 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｂ | | |
| 担当教員 | 菅原　未宇 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Guidance | Course Introduction | 菅原　未宇 |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 12 | 7/6 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 13 | 7/13 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 14 | 7/20 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 13 | Reading and Writing Practice | 菅原　未宇 |
| 15 | 7/27 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Review | In-class Exam | 菅原　未宇 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価:　attendance and preparation：40%　quizzes and other works：40%　final exam：20%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000090 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Introduction | | Dennisson Jeanette |
| 2 | 10/4 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Teacher topic 1 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette |
| 3 | 10/11 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Student topic 1 | Sciencedaily article topic | Dennisson Jeanette |
| 4 | 10/18 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette |
| 5 | 10/25 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion test 1 | Theme: Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 6 | 11/1 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Teacher topic 2 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette |
| 7 | 11/8 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Student topic 2 | Sciencedaily article topic | Dennisson Jeanette |
| 8 | 11/15 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette |
| 9 | 11/22 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion test 2 | Theme: Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 10 | 11/29 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Teacher topic 3 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette |
| 11 | 12/6 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette |
| 12 | 12/13 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 presentations | Dennisson Jeanette |
| 13 | 12/20 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Student Presentations | Student topic 1 or 2 presentations | Dennisson Jeanette |
| 14 | 1/10 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Discussion test 3 | Theme: Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette |
| 15 | 1/17 | 09:10–10:40 | 10番教室 | Oral test week | Check schedule for test time | Dennisson Jeanette |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 45% group oral presentation 15% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000091 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象：口腔保健衛生学・看護学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 10/4 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | フォス　パトリック |
| 3 | 10/11 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | フォス　パトリック |
| 4 | 10/18 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | フォス　パトリック |
| 5 | 10/25 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | フォス　パトリック |
| 6 | 11/1 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 5 (Group Project) | Vocabulary Quiz 1　Introduction to Group Project | フォス　パトリック |
| 7 | 11/8 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 5 (Group Project) | Group Project–related Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 11/15 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 5 (Group Project) | Group Presentation Practice | フォス　パトリック |
| 9 | 11/22 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 5 (Group Project) | Group Presentation | フォス　パトリック |
| 10 | 11/29 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 6 | Discussion 5 | フォス　パトリック |
| 11 | 12/6 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 7 | Discussion 6 | フォス　パトリック |
| 12 | 12/13 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Topic 8 | Discussion 7 | フォス　パトリック |
| 13 | 12/20 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Course Review | Vocabulary Quiz 2　Review Discussion | フォス　パトリック |
| 14 | 1/10 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | Course Review | In–class Speaking Test | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 1/17 | 09:10–10:40 | 5 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation/discussion and presentation assignments 60% vocabulary–related assignments/quizzes 10% speaking test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e–learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e–learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study–abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30–PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30–PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000092 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 10/4 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 10/11 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 10/18 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 10/25 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 11/1 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 11/8 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 11/15 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 11/22 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 11/29 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 12/6 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 12/13 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 13 | 12/20 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 1/10 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 1/17 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Miya Marutsuka |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000093 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Jonathan Corliss | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Guidance | Course Introduction | Jonathan Corliss |
| 2 | 10/4 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 1 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 3 | 10/11 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 2 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 4 | 10/18 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 3 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 5 | 10/25 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 4 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 6 | 11/1 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 5 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 7 | 11/8 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 6 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 8 | 11/15 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 7 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 9 | 11/22 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 8 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 10 | 11/29 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 9 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 11 | 12/6 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 10 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 12 | 12/13 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 11 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 13 | 12/20 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Topic 12 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 14 | 1/10 | 09:10–10:40 | 4番教室 | Review | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 15 | 1/17 | 09:10–10:40 | 4番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Jonathan Corliss |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000105 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 1 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 2 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 3 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 1 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 2 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Group challenge 3 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Mid term examination | Research article | Dennisson Jeanette |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 1 | Student topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 1 | Forum | Dennisson Jeanette |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Discussion test 1 | Ted Talks 2 | Dennisson Jeanette |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 2 | Student topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 10番教室 | Ted Talk discussion 2 | Forum | Dennisson Jeanette |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 1/17 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | Discussion test 2 | Ted Talks | Dennisson Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30–13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000094 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 c | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 10/4 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 10/11 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 10/18 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 10/25 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 11/1 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 11/8 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 11/15 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 11/22 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 11/29 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 12/6 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 12/13 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 13 | 12/20 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 1/10 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 1/17 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Miya<br>Marutsuka | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000095 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 c | | |
| 担当教員 | Jonathan Corliss | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Guidance | Course Introduction | Jonathan Corliss |
| 2 | 10/4 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 1 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 3 | 10/11 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 2 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 4 | 10/18 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 3 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 5 | 10/25 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 4 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 6 | 11/1 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 5 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 7 | 11/8 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 6 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 8 | 11/15 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 7 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 9 | 11/22 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 8 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 10 | 11/29 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 9 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 11 | 12/6 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 10 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 12 | 12/13 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 11 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 13 | 12/20 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Topic 12 | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |
| 14 | 1/10 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | Review | Listening and Speaking Activities | Jonathan Corliss |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 1/17 | 10:50–12:20 | 4 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Jonathan Corliss | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000098 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 10/5 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 1 | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 3 | 10/19 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 1 | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 4 | 10/26 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 5 | 11/2 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 6 | 11/9 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 7 | 11/16 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 11/30 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 3 | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |
| 9 | 12/7 | 09:10–10:40 | 9番教室,計算機実 | Topic 3 | Presentation/Discussion Activities | フォス　パトリック |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 習室 | | | |
| 10 | 12/14 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 3 | Presentation/Discussion Activities | フォス パトリック |
| 11 | 12/21 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 3 | Presentation/Discussion Activities | フォス パトリック |
| 12 | 1/11 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 4 | Presentation/Discussion Activities | フォス パトリック |
| 13 | 1/18 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 4 | Presentation/Discussion Activities | フォス パトリック |
| 14 | 1/25 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | Topic 4 | Presentation/Discussion Activities | フォス パトリック |
| 15 | 2/1 | 09:10-10:40 | 9番教室,計算機実習室 | English Oral Test | Poster Presentation | フォス パトリック |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 50% presentations 30% reports/quizzes: 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30–PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000097 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | 菅原　未宇 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Guidance | Course Introduction | 菅原　未宇 |
| 2 | 10/5 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 1 | Presentation Practice 1 | 菅原　未宇 |
| 3 | 10/19 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 2 | Presentation Practice 2 | 菅原　未宇 |
| 4 | 10/26 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 3 | Presentation Practice 3 | 菅原　未宇 |
| 5 | 11/2 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 4 | Presentation Practice 4 | 菅原　未宇 |
| 6 | 11/9 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 5 | Presentation Practice 5 | 菅原　未宇 |
| 7 | 11/16 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 6 | Presentation Practice 6 | 菅原　未宇 |
| 8 | 11/30 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 7 | Presentation Practice 7 | 菅原　未宇 |
| 9 | 12/7 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 8 | Presentation Practice 8 | 菅原　未宇 |
| 10 | 12/14 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 9 | Presentation Practice 9 | 菅原　未宇 |
| 11 | 12/21 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 10 | Presentation Practice 10 | 菅原　未宇 |
| 12 | 1/11 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 11 | Presentation Practice 11 | 菅原　未宇 |
| 13 | 1/18 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 12 | Presentation Practice 12 | 菅原　未宇 |
| 14 | 1/25 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Pre-test Preparation | Presentation Practice 13 | 菅原　未宇 |
| 15 | 2/1 | 09:10-10:40 | 2番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 菅原　未宇 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価:　attendance：30%　participation：30%　discussion test：40%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000096 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 c | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：検査技術学・口腔保健工学

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 10/5 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion 1 | Miya Marutsuka |
| 3 | 10/19 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion 2 | Miya Marutsuka |
| 4 | 10/26 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion 3 | Miya Marutsuka |
| 5 | 11/2 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 11/9 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 11/16 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion 4 | Miya Marutsuka |
| 8 | 11/30 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion 5 | Miya Marutsuka |
| 9 | 12/7 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 12/14 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 12/21 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion 6 | Miya Marutsuka |
| 12 | 1/11 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 13 | 1/18 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 1/25 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 2/1 | 09:10–10:40 | 3 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Miya |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | Marutsuka | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000099 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Introduction | Class structure and assignments<br>Small talk activity | Dennisson Jeanette | |
| 2 | 10/5 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Teacher topic 1 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette | |
| 3 | 10/19 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Student topic | Sciencedaily article topic discussion | Dennisson Jeanette | |
| 4 | 10/26 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette | In library (図書館) |
| 5 | 11/2 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion test | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette | |
| 6 | 11/9 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Teacher topic 2 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette | |
| 7 | 11/16 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Student topic | Sciencedaily article topic discussion | Dennisson Jeanette | |
| 8 | 11/30 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette | In library (図書館) |
| 9 | 12/7 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion test | Theme: Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette | |
| 10 | 12/14 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Teacher topic 3 | Lecture and discussion on teacher topic | Dennisson Jeanette | |
| 11 | 12/21 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion forum | Online discussion of teacher and student topics | Dennisson Jeanette | In library (図書館) |
| 12 | 1/11 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Student presentations | Student topic 1 or 2 presentations | Dennisson Jeanette | |
| 13 | 1/18 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Student presentations | Student topic 1 or 2 presentations | Dennisson Jeanette | |
| 14 | 1/25 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Discussion test 3 | Theme: Teacher topic 3 | Dennisson Jeanette | |
| 15 | 2/1 | 09:10-10:40 | 11 番教室 | Oral test week | Check schedule for test time | Dennisson Jeanette | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 45% group oral presentation 15% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000101 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 1 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 2 | 10/5 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 2 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 3 | 10/19 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 3 | Research article 1 | Dennisson Jeanette |
| 4 | 10/26 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 1 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 5 | 11/2 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 2 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 6 | 11/9 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Group challenge 3 | Research article 2 | Dennisson Jeanette |
| 7 | 11/16 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Mid term examination | Research article | Dennisson Jeanette |
| 8 | 11/30 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 1 | Teacher topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 9 | 12/7 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 1 | Student topic 1 | Dennisson Jeanette |
| 10 | 12/14 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 1 | Forum | Dennisson Jeanette |
| 11 | 12/21 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Discussion test 1 | Ted Talks | Dennisson Jeanette |
| 12 | 1/11 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 2 | Teacher topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 13 | 1/18 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 2 | Student topic 2 | Dennisson Jeanette |
| 14 | 1/25 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Ted Talk discussion 2 | Forum | Dennisson Jeanette |
| 15 | 2/1 | 10:50–12:20 | 11 番教室 | Discussion test 2 | Ted Talks | Dennisson Jeanette |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance/participation 15%　class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日　PM.12:30-13:00　管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000100 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｃ | | |
| 担当教員 | Miya Marutsuka | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.

**授業の到達目標**

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Orientation | Course Introduction | Miya Marutsuka |
| 2 | 10/5 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 1 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 3 | 10/19 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 2 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 4 | 10/26 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 3 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 5 | 11/2 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 6 | 11/9 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 7 | 11/16 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 4 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 8 | 11/30 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 5 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 9 | 12/7 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 10 | 12/14 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 11 | 12/21 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Topic 6 | Discussion | Miya Marutsuka |
| 12 | 1/11 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 13 | 1/18 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 14 | 1/25 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | Activities | Group Assignment | Miya Marutsuka |
| 15 | 2/1 | 10:50–12:20 | 3 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | Miya Marutsuka |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2–14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: Attendance/Participation：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価: 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000103 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 1　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 1　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 計算機実 | Topic 4　Research | Reading/Writing/Presentation | フォス　パトリ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 習室 | Project | Activities | ック |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4 Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス パトリック |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4 Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス パトリック |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 20% presentation assignments 50% research project 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000104 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 畔柳 和代 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：水曜2限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳 和代 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Reading Material 12 | a Quiz and a Short Assignment | 畔柳 和代 |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳 和代 |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 畔柳 和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

| |
|---|
| の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>Attendance and participation are both essential. |
| **試験の受験資格**<br>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。 |
| **参照ホームページ**<br>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources. |
| **連絡先**<br>kuroyanagi.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室 |

| 時間割番号 | 000107 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Guidance | Course Instruction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance + participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000108 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 畔柳 和代 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳 和代 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Reading Material 12 | a Quiz and a Short Assignment | 畔柳 和代 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | Review | Comments and Suggestions | 畔柳 和代 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 畔柳 和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

| |
|---|
| の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>Attendance and participation are both essential. |
| **試験の受験資格**<br>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。 |
| **参照ホームページ**<br>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources. |
| **連絡先**<br>kuroyanagi.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室 |

| 時間割番号 | 000106 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance and participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000109 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜1限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 10/5 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 10/19 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 10/26 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 11/2 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 11/9 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 11/16 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 11/30 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 12/7 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 12/14 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 12/21 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 1/11 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 1/18 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 14 | 1/25 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 2/1 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance + participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000110 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 畔柳 和代 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：木曜1限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳 和代 |
| 2 | 10/5 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 3 | 10/19 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 4 | 10/26 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 5 | 11/2 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 6 | 11/9 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 7 | 11/16 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 8 | 11/30 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 9 | 12/7 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 10 | 12/14 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 11 | 12/21 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 12 | 1/11 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 13 | 1/18 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Reading Material 11 | a Quiz and a Short Assignment | 畔柳 和代 |
| 14 | 1/25 | 09:10-10:40 | 10番教室 | Review | Comments and suggestions | 畔柳 和代 |
| 15 | 2/1 | 09:10-10:40 | 10番教室 | English Oral Test | Poster Presentarion | 畔柳 和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

| |
|---|
| の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>Attendance and participation are both essential. |
| **試験の受験資格**<br>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。 |
| **参照ホームページ**<br>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources. |
| **連絡先**<br>kuroyanagi.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室 |

| 時間割番号 | 000102 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語ｄ | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 10/5 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 1　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 3 | 10/19 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 1　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 4 | 10/26 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 5 | 11/2 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 6 | 11/9 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 7 | 11/16 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 2 (Group Project) Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 8 | 11/30 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 9 | 12/7 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 10 | 12/14 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 11 | 12/21 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 12 | 1/11 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 3　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |
| 13 | 1/18 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4　Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 1/25 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4 Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス パトリック | |
| 15 | 2/1 | 10:50-12:20 | 計算機実習室 | Topic 4 Research Project | Reading/Writing/Presentation Activities | フォス パトリック | |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価: attendance/participation 20% presentation assignments 50% research project 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000111 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 畔柳 和代 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・限：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Guidance | Course Introduction | 畔柳 和代 |
| 2 | 10/5 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 3 | 10/19 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 4 | 10/26 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Materian 3 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 5 | 11/2 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 6 | 11/9 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 7 | 11/16 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 8 | 11/30 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 9 | 12/7 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 10 | 12/14 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 11 | 12/21 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 12 | 1/11 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 畔柳 和代 |
| 13 | 1/18 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Reading Material 12 | a quiz and a short assignment | 畔柳 和代 |
| 14 | 1/25 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | Review | comments and suggestions | 畔柳 和代 |
| 15 | 2/1 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 畔柳 和代 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%

再評価：有　（再評価方法：「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test

| |
|---|
| の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>Attendance and participation are both essential. |
| **試験の受験資格**<br>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。 |
| **参照ホームページ**<br>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources. |
| **連絡先**<br>kuroyanagi.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室 |

| 時間割番号 | 000112 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Guidance | Course Introduction | 猪熊　恵子 |
| 2 | 10/5 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 3 | 10/19 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 4 | 10/26 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 5 | 11/2 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 6 | 11/9 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 7 | 11/16 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 8 | 11/30 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 9 | 12/7 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 10 | 12/14 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 11 | 12/21 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 12 | 1/11 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 猪熊　恵子 |
| 13 | 1/18 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Review | Finish Writing Final Essays | 猪熊　恵子 |
| 14 | 1/25 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | Feedback | Return Graded Essays | 猪熊　恵子 |
| 15 | 2/1 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | English Oral Exam | Poster Presentation | 猪熊　恵子 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価：attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時

木曜日　　12時30分～13時20分

管理研究棟　3階　猪熊研究室

| 時間割番号 | 000113 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 英語 d | | |
| 担当教員 | 菅原 未宇 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：保健衛生学科 口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－4）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

**授業の到達目標**

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Guidance | Course Introduction | 菅原 未宇 |
| 2 | 10/5 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 1 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 3 | 10/19 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 2 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 4 | 10/26 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 3 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 5 | 11/2 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 4 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 6 | 11/9 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 5 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 7 | 11/16 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 6 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 8 | 11/30 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 7 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 9 | 12/7 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 8 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 10 | 12/14 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 9 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 11 | 12/21 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 10 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 12 | 1/11 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 11 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 13 | 1/18 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Reading Material 12 | Reading and Writing Practice | 菅原 未宇 |
| 14 | 1/25 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | Review | In-class Exam | 菅原 未宇 |
| 15 | 2/1 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | English Oral Test | Poster Presentation | 菅原 未宇 |

**授業方法**

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

**成績評価の方法**

評価： attendance and preparation：40% quizzes and other works：40% final exam：20%

再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

| 時間割番号 | 000158 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 日本語 a | | |
| 担当教員 | 今村　圭介 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

**授業の到達目標**

東京医科歯科大学での 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 15 | 7/31 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |

**授業方法**

講義、読解、ディスカッション、発表

**授業内容**

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

**成績評価の方法**

出席及び授業態度　40%　宿題　30%、期末レポート　30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

**試験の受験資格**

期末試験を実施しない。

**他科目との関連**

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

**連絡先**

Imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00

| 時間割番号 | 000159 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 日本語ｂ | | |
| 担当教員 | 今村　圭介 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

**授業の到達目標**

東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |

**授業方法**

ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表

**授業内容**

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

**成績評価の方法**

出席及び授業態度　40%　宿題　30%、期末レポート　30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

**試験の受験資格**

期末試験を実施しない。

**他科目との関連**

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

**連絡先**

Imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00

| 時間割番号 | 000160 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 日本語 c | | |
| 担当教員 | 今村　圭介 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

**授業の到達目標**

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 12 番教室 | 今村　圭介 |

**授業方法**

講義、読解、ディスカッション、発表

**授業内容**

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

**成績評価の方法**

出席及び授業態度　40%　宿題　30%、期末レポート　30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

**試験の受験資格**

期末試験を実施しない。

**他科目との関連**

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

**連絡先**

Imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00

| 時間割番号 | 000161 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 日本語 d | | |
| 担当教員 | 今村　圭介 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

**主な講義場所**

12 番教室

**授業の目的、概要等**

現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。

**授業の到達目標**

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 12 番教室 | 今村　圭介 |

**授業方法**

ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表

**授業内容**

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

**成績評価の方法**

出席及び授業態度　40%　宿題　30%、期末レポート　30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。

**試験の受験資格**

期末試験を実施しない。

**他科目との関連**

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

**連絡先**

Imamura.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **時間割番号** | 000162 | | | | |
| **科目名** | ドイツ語 | | | | |
| **担当教員** | シンチンガー　エミ, 立川　睦美, 白井　史人, 上田　知夫 | | | | |
| **開講時期** | 通年 | **対象年次** | 1 | **単位数** | 4 |
| **準備学習などについての具体的な指示** | | | | | |
| **連絡先**<br>シンチンガー　エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp | | | | | |
| **オフィスアワー**<br>シンチンガー　エミ:毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室 | | | | | |

| 時間割番号 | 000163 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | シンチンガー エミ | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 月曜3限

・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1)ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1: アルファベットと発音のルール;母音の発音;特殊な発音について。 | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/24 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2:子音の発音と特殊な発音;簡単な質問に答える。(第 1 課の準備) | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第1課:自己紹介1、10ページ;好きな食べ物と飲み物1 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/8 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第2課:自己紹介2、14ページ;好きな食べ物飲み物2 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/15 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課:14～18ページ;自己紹介3;家族のことを聞く。 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 5/22 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第3課:他人を紹介する、18ページ;家族のことを聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/29 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ;大学での専攻を聞く。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/5 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ 2 回目。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/12 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待;趣味について聞く。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/19 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待、2回目;趣味について聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/26 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1;職業について尋ねる。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/3 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2;職業2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/10 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:手紙、フランクフルトについて、1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/24 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:手紙、フランクフルトについて、2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリ |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/31 | 13:10–14:40 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 期末筆記試験: ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配布しますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の 1 回目の授業で説明します。

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯に入っている辞書、スマートフォンに入っている辞書は

使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上の授業を履修していないと試験を受けられません。 授業に積極的に参加し、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000165 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | シンチンガー エミ | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 月曜4限

・対象学科: 医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1)ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1: アルファベットと発音のルール;母音の発音;特殊な発音について。 | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2:子音の発音と特殊な発音;簡単な質問に答える。(第 1 課の準備) | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第1課:自己紹介1、10ページ;好きな食べ物と飲み物1 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第2課:自己紹介2、14ページ;好きな食べ物飲み物2 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課:14～18ページ;自己紹介3;家族のことを聞く。 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第3課:他人を紹介する、18ページ;家族のことを聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ;大学での専攻を聞く。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ、2 回目。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待;趣味について聞く1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待、2回目;趣味について聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1;職業について尋ねる。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2;職業2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:34 ページ;手紙、フランクフルトについて、1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:34 ページ;手紙、フランクフルトについて、2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリ |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/31 | 14:50–16:20 | 5 番教室 | ドイツ語 a | 期末筆記試験:ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験を受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000164 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | 上田　知夫 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1:　アルファベットと発音のルール；母音の発音；特殊な発音について。 | 上田　知夫 | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/19 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2：子音の発音と特殊な発音；簡単な質問に答える。（第 1 課の準備） | 上田　知夫 | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第1課：自己紹介1、10ページ；好きな食べ物と飲み物1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/10 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第2課：自己紹介2、14ページ；好きな食べ物飲み物2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/17 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課：14～18ページ；自己紹介3；家族のことを聞く。 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第3課:他人を紹介する、18ページ;家族のことを聞く2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ;大学での専攻を聞く。 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ2回目。 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第5課:26ページ、電話、招待;趣味について聞く1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第5課:26ページ、電話、招待、2回目;趣味について聞く2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1;職業について尋ねる。 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2;職業2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第7課:手紙、フランクフルトについて、1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語a | 第7課:手紙、フランクフルトについて、2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリ |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/26 | 10:50–12:20 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 期末面接試験：全クラスで、ドイツ語 a,の期末面接試験を行う。 | 上田 知夫 | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと、欠席遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 ： ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

| 時間割番号 | 000170 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | シンチンガー エミ | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1:　アルファベットと発音のルール；母音の発音；特殊な発音について。 | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/19 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2：子音の発音と特殊な発音；簡単な質問に答える。（第 1 課の準備） | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第1課：自己紹介1、10ページ；好きな食べ物と飲み物1 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/10 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第2課：自己紹介2、14ページ；好きな食べ物飲み物2 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/17 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課：14～18ページ；自己紹介3；家族のことを聞く。 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持って |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | くること。 |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第 3 課：18ページ；自己紹介4：家族のことを聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第4課：家族紹介、招待、22ページ；大学での専攻を聞く。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第4課：家族紹介、招待、22ページ、2 回目； | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第5課：26ページ、電話、招待；趣味について聞く1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第5課：26ページ、電話、招待、2 回目；趣味について聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第6課：30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1；職業について尋ねる。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第6課：30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2；職業2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課：34 ページ；手紙、フランクフルトについて、1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課：34 ページ；手紙、フランクフルトについて、2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/26 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語 a | 期末面接試験：全クラスでドイツ語 a,期末面接試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000173 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | シンチンガー エミ | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1:　アルファベットと発音のルール；母音の発音；特殊な発音について | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/19 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2：子音の発音と特殊な発音；簡単な質問に答える。（第 1 課の準備） | シンチンガー エミ | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第1課：自己紹介1、10ページ；好きな食べ物と飲み物1 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/10 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第2課：自己紹介2、14ページ；好きな食べ物飲み物2 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/17 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課：14～18ページ；自己紹介3；家族のことを聞く。 | シンチンガー エミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持って |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | くること。 |
| 6 | 5/24 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第3課：18ページ；自己紹介4：家族のことを聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/31 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第4課：家族紹介、招待、22ページ；大学での専攻を聞く。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/7 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第4課：家族紹介、招待、22ページ、2回目；大学での専攻を聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/14 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第5課：26ページ、電話、招待；趣味について聞く1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/21 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第5課：26ページ、電話、招待、2回目；趣味について聞く2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/28 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第6課：30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1；職業について尋ねる。 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/5 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第6課：30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2；職業2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/12 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第7課：34ページ、手紙、フランクフルトについて、1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/19 | 13:10–14:40 | 7番教室 | ドイツ語a | 第7課：34ページ、手紙、フランクフルトについて、2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。パートナー |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/26 | 13:10–14:40 | 7 番教室 | ドイツ語 a | 期末面接試験：全クラスでドイツ語 a,期末面接試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000166 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 a | | |
| 担当教員 | 上田　知夫 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ1:　アルファベットと発音のルール；母音の発音；特殊な発音について。 | 上田　知夫 | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 発音とあいさつ2：子音の発音と特殊な発音；簡単な質問に答える。（第 1 課の準備） | 上田　知夫 | 最初に正しいドイツ語の発音を身につけることが重要。耳を慣らすことも重要。教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第1課：自己紹介1、10ページ；好きな食べ物と飲み物1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第2課：自己紹介2、14ページ；好きな食べ物飲み物2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第2課～第3課：14～18ページ；自己紹介3；家族のことを聞く。 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持って |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | くること。 |
| 6 | 5/24 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第3課:他人を紹介する、18ページ;家族のことを聞く2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 7 | 5/31 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ;大学での専攻を聞く。 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 8 | 6/7 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第4課:家族紹介、招待、22ページ、2 回目;大学での専攻を聞く2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 9 | 6/14 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待;趣味について聞く1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 10 | 6/21 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第5課:26ページ、電話、招待、2回目;趣味について聞く2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 6/28 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、1;職業について尋ねる。 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 12 | 7/5 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第6課:30ページ、切符を買う、列車について尋ねる、2;職業2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 13 | 7/12 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:34 ページ、手紙、フランクフルトについて、1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 14 | 7/19 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 第 7 課:34 ページ、手紙、フランクフルトについて、2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。パートナー |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 練習は重要。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 7/26 | 13:10–14:40 | 3 番教室 | ドイツ語 a | 期末面接試験：全クラスでドイツ語 a,の期末面接試験を行う。 | 上田　知夫 | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

| 時間割番号 | 000167 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | オリエンテーション、アルファベット、発音：6～8ページ | 立川 睦美 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/24 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 立川 睦美 | 教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2： sein, haben の現在人称変化 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/8 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/15 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/22 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/29 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2）；命令形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/5 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/12 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/19 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/26 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/3 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/10 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/24 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 7 課：従属の接続詞と副文1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 必携。 |
| 15 | 7/31 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 期末筆記試験:ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | 立川 睦美 | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回辞書と教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000171 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 白井　史人 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | オリエンテーション：アルファベット、発音、辞書説明：6～8ページ | 白井　史人 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/24 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 白井　史人 | 教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2：　sein, haben の現在人称変化 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/8 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/15 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/22 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/29 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2）、2回目；命令形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/5 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/12 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/19 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/26 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/3 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/10 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/24 | 13:10-14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 第 7 課：従属の接続詞と副文1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 7/31 | 13:10–14:40 | 4 番教室 | ドイツ語b | 期末筆記試験:ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | 白井　史人 | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有　(再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000174 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 白井　史人 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b,は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | オリエンテーション：アルファベット、発音、辞書説明：6～8ページ | 白井　史人 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 白井　史人 | 教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2：　sein, haben の現在人称変化 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2）、2回目；命令形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第6課：前置詞の格支配1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第6課：前置詞の格支配2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語b | 第7課：従属の接続詞と副文1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 必携。 |
| 15 | 7/31 | 14:50–16:20 | 4 番教室 | ドイツ語b | 期末筆記試験:ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | 白井　史人 | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有　(再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000168 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | オリエンテーション：アルファベット、発音、辞書説明：6～8ページ | 立川 睦美 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 立川 睦美 | 教科書は必携。 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2： sein, haben の現在人称変化 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第3課：動詞の現在人称変化（2）、2 回目；命令形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第 6 課：前置詞の格支配1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第 6 課：前置詞の格支配2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語ｂ | 第 7 課：従属の接続詞と副文1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 必携。 |
| 15 | 7/31 | 14:50–16:20 | 8 番教室 | ドイツ語 b | 期末筆記試験:ドイツ語 a,b,共通の期末筆記試験を行う。 | 立川 睦美 | 全クラス共通でドイツ語 a,b,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000169 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | オリエンテーション：アルファベット、発音、辞書説明：6～8ページ | 立川 睦美 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 立川 睦美 | 教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2： sein, haben の現在人称変化 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2）、2回目；命令形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 第 7 課：従属の接続詞と副文1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 7/26 | 10:50–12:20 | 6 番教室 | ドイツ語b | 期末面接試験：全クラスでドイツ語a,期末面接試験を行う | 立川　睦美 | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000172 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｂ | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b,は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | オリエンテーション：アルファベット、発音、辞書説明：6～8ページ | 立川 睦美 | 独和辞典についての説明があるので購入すること。 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第1課：普通の動詞の現在人称変化と語順1 | 立川 睦美 | 教科書は必携。 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第1課：動詞の現在人称変化と語順2： sein, haben の現在人称変化 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第2課：冠詞と名詞の性と格変化2、名詞の複数形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2） | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第3課：動詞の現在人称変化（2）、2回目；命令形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第4課：定冠詞類・不定冠詞類2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第5課：話法の助動詞と未来2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 6 課：前置詞の格支配2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 第 7 課：従属の接続詞と副文1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 7/26 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語b | 期末面接試験：全クラスでドイツ語a,期末面接試験を行う。 | 立川 睦美 | 全クラスでドイツ語 a,期末面接試験。教員の指示に従うこと。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期には教科書1の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と辞書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000176 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | シンチンガー　エミ | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒に |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | いつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 11 | 12/11 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 13:10-14:40 | 4番教室 | ドイツ語c | 期末筆記試験:ドイツ語c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラス共通でドイツ語c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000177 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | シンチンガー　エミ | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｃ は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 4 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 4番教室 | ドイツ語c | 期末筆記試験:ドイツ語c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | シンチンガーエミ | 全クラス共通でドイツ語c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

復習は重要ですので、毎回自宅で復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 ：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000179 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | シンチンガー　エミ | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 7番教室 | ドイツ語c | 復習・質問・まとめ | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000175 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | 上田　知夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 5番教室 | ドイツ語c | 復習・質問・まとめ | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinziger・木村高明 著,:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

| 時間割番号 | 000182 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | シンチンガー　エミ | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | シンチンガー　エミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒に |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | いつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう2 | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 7番教室 | ドイツ語c | 復習・質問・まとめ | シンチンガーエミ | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第8課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,:同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受験できません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 − 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000178 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｃ | | |
| 担当教員 | 上田　知夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,c, は、ドイツ語 b,d,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語ｃ は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | 試験返却、第7課：手紙、フランクフルト、34ページ | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | 第8課：38ページ、ドイツについて2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | ドイツと周りの国々について（プリント）2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ1 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 2 番教室 | ドイツ語c | 第10課：46ページ、休みの予定、ハンブルグ2 | 上田　知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第11課:50ページ、冬休みのことを話す、ハンブルグ2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第12課:54ページ、1日のことを話す2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう、建物、乗り物1 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | ドイツのクリスマスソング(プリント) | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 第13課:58ページ、空港へ向かう2 | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 2番教室 | ドイツ語c | 復習・質問・まとめ | 上田 知夫 | 教科書と辞書は必携。プリントも教科書と一緒にいつも持ってくること。予習復習重要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

**成績評価の方法**

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん！ドイツ語 : ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

| 時間割番号 | 000180 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｄ | | |
| 担当教員 | 立川　睦美 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 試験返却：第7課：従属の接続詞と副文2 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞1 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞2 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の３基本形・過去1 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の３基本形・過去2 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞1 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞2 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形1 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形2 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞、 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 11 | 12/11 | 13:10-14:40 | 8番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞2；第13課：形 | 立川　睦美 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 容詞の比較級 | | 必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課受動態1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第15課:es の用法;zu 不定詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 13:10–14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 期末筆記試験: ドイツ語 c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | 立川 睦美 | 全クラス共通でドイツ語 c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000184 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 d | | |
| 担当教員 | 白井　史人 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 試験返却：第7課：従属の接続詞と副文2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 11 | 12/11 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞2；第13課：形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 容詞の比較級 | | 必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課:受動態1 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第15課:es の用法;zu 不定詞2 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 13:10-14:40 | 5 番教室 | ドイツ語d | 期末筆記試験: ドイツ語 c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | 白井 史人 | 全クラス共通でドイツ語 c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000181 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 d | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 月曜4限

・対象学科: 医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1)ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 試験返却:第7課:従属の接続詞と副文2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課:形容詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課:形容詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課:動詞の3基本形・過去1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課:動詞の3基本形・過去2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課:分離動詞・非分離動詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課:分離動詞・非分離動詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課:完了形1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課:完了形2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第12課:再帰動詞 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 重要。 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第12課:再帰動詞2;第13課:形容詞の比較級 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課受動態1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第15課:es の用法;zu 不定詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 期末筆記試験: ドイツ語 c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | 立川 睦美 | 全クラス共通でドイツ語 c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第16課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000185 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 d | | |
| 担当教員 | 白井　史人 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 試験返却：第7課：従属の接続詞と副文2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形1 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形2 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞 | 白井　史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞2；第13課：形 | 白井　史人 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 容詞の比較級 | | 必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課:受動態1 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 第15課:es の用法;zu 不定詞2 | 白井 史人 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 5 番教室 | ドイツ語d | 期末筆記試験: ドイツ語 c,d,共通の期末筆記試験を行う。 | 白井 史人 | 全クラス共通でドイツ語 c,d,期末筆記試験。欠席、遅刻をしないこと。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000183 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語ｄ | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期ｂ、後期ｄ、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 ｄ は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 試験返却：第7課：従属の接続詞と副文2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の３基本形・過去1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の３基本形・過去2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 8番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 12/6 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第12課:再帰動詞2;第13課:形容詞の比較級 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課受動態1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第15課:es の用法;zu 不定詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/17 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | ドイツ語d | 復習・質問・まとめ | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000186 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | ドイツ語 d | | |
| 担当教員 | 立川 睦美 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて１年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

**授業の到達目標**

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 試験返却：第7課：従属の接続詞と副文2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第8課：形容詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第9課：動詞の 3 基本形・過去2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第10課：分離動詞・非分離動詞2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第11課：完了形2 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第12課：再帰動詞2；第13課：形 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 容詞の比較級 | | 必携。予習復習重要。 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第13課:形容詞の比較級;第14課:受動態1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 第14課:受動態2;第15課:es の用法;zu 不定詞1 | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 8 番教室 | ドイツ語d | 復習・質問・まとめ | 立川 睦美 | 教科書と辞書は必携。予習復習重要。 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

**成績評価の方法**

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

**参考書**

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

**他科目との関連**

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

| 時間割番号 | 000201 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 a | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | イントロダクション | 発音、アルファベ | 中島 ひかる |
| 2 | 4/24 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(1) | 主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1 | 中島 ひかる |
| 3 | 5/1 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(1) | 名詞の性・数、提示表現、冠詞 | 中島 ひかる |
| 4 | 5/8 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(1) | 否定文2、疑問文 | 中島 ひかる |
| 5 | 5/15 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(1) | 第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 | 中島 ひかる |
| 6 | 5/22 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(1) | être・avoir、形容詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 5/29 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去 | 中島 ひかる |
| 8 | 6/5 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | 復習 | 中島 ひかる |
| 9 | 6/12 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 比較級・最上級 | 中島 ひかる |
| 10 | 6/19 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 複合過去 | 中島 ひかる |
| 11 | 6/26 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 受動態、命令法、非人称構文 | 中島 ひかる |
| 12 | 7/3 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 疑問形容詞、疑問副詞 | 中島 ひかる |
| 13 | 7/10 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(2) | 疑問代名詞 | 中島 ひかる |
| 14 | 7/24 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | 疑問文と否定文のまとめ | 中島 ひかる |
| 15 | 7/31 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | 前期のまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去
第 8 回:復習
第 9 回:比較級・最上級
第 10 回:複合過去
第 11 回:受動態、命令法、非人称構文
第 12 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 13 回:疑問代名詞
第 14 回:疑問文、否定文のまとめ
第 15 回:前期のまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)60～70%・レポート 0 %・
その他 30～40%(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000202 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 a | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | イントロダクション | 発音、アルファベ | 中島 ひかる |
| 2 | 4/24 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1 | 中島 ひかる |
| 3 | 5/1 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 名詞の性・数、提示表現、冠詞 | 中島 ひかる |
| 4 | 5/8 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 否定文2、疑問文 | 中島 ひかる |
| 5 | 5/15 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 | 中島 ひかる |
| 6 | 5/22 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（1） | être・avoir、形容詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 5/29 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去 | 中島 ひかる |
| 8 | 6/5 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 復習 | 復習 | 中島 ひかる |
| 9 | 6/12 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 比較級・最上級 | 中島 ひかる |
| 10 | 6/19 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 複合過去 | 中島 ひかる |
| 11 | 6/26 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 受動態、命令法、非人称構文 | 中島 ひかる |
| 12 | 7/3 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問形容詞・疑問副詞 | 中島 ひかる |
| 13 | 7/10 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問代名詞 | 中島 ひかる |
| 14 | 7/24 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 復習 | 疑問文と否定文のまとめ | 中島 ひかる |
| 15 | 7/31 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 復習 | 前期のまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回：否定文2、疑問文

第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去
第 8 回:復習
第 9 回:比較級・最上級
第 10 回:複合過去
第 11 回:受動態、命令法、非人称構文
第 12 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 13 回:疑問代名詞
第 14 回:疑問文、否定文のまとめ
第 15 回:前期のまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)60～70%・レポート 0 %・
その他 30～40%(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon, Allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a･b･c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000203 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 b | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜 2 限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | イントロダクション | 授業概要の説明、発音、アルファベ | 中島 ひかる |
| 2 | 4/19 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1 | 中島 ひかる |
| 3 | 4/26 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 名詞の性・数、提示表現、冠詞 | 中島 ひかる |
| 4 | 5/10 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 否定文2、疑問文 | 中島 ひかる |
| 5 | 5/17 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（1） | 第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容 | 中島 ひかる |
| 6 | 5/24 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（1） | être・ avoir、形容詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 5/31 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去 | 中島 ひかる |
| 8 | 6/7 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 比較級・最上級 | 中島 ひかる |
| 9 | 6/14 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 複合過去 | 中島 ひかる |
| 10 | 6/21 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 受動態、命令法、非人称構文 | 中島 ひかる |
| 11 | 6/28 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問形容詞・疑問副詞 | 中島 ひかる |
| 12 | 7/5 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問代名詞 | 中島 ひかる |
| 13 | 7/12 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 目的語人称代名詞 | 中島 ひかる |
| 14 | 7/19 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 文法（2） | 目的語人称代名詞 | 中島 ひかる |
| 15 | 7/26 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 復習 | 前期のまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：授業概要の説明、発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回:否定文2、疑問文
第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去
第 8 回:比較級・最上級
第 9 回:複合過去
第 10 回:受動態、命令法、非人称構文
第 11 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 12 回:疑問代名詞
第 13 回:目的語人称代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)60～70%・レポート 0 %・
その他 30～40%(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a･b･c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000205 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 b | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜3限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | イントロダクション | 授業概要の説明、発音、アルファベ | 中島 ひかる |
| 2 | 4/19 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（1） | 主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1 | 中島 ひかる |
| 3 | 4/26 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（1） | 名詞の性・数、提示表現、冠詞 | 中島 ひかる |
| 4 | 5/10 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（1） | 否定文2、疑問文 | 中島 ひかる |
| 5 | 5/17 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（1） | 第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 | 中島 ひかる |
| 6 | 5/24 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（1） | être・ avoir、形容詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 5/31 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過 | 中島 ひかる |
| 8 | 6/7 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 比較級・最上級 | 中島 ひかる |
| 9 | 6/14 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 複合過去 | 中島 ひかる |
| 10 | 6/21 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 受動態、命令法、非人称構文 | 中島 ひかる |
| 11 | 6/28 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問形容詞、疑問副詞 | 中島 ひかる |
| 12 | 7/5 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 疑問代名詞 | 中島 ひかる |
| 13 | 7/12 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 目的語人称代名詞 | 中島 ひかる |
| 14 | 7/19 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法（2） | 目的語人称代名詞 | 中島 ひかる |
| 15 | 7/26 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | 前期のまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。

原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第 1 回：授業概要の説明、発音、アルファベ

第 2 回：主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、否定文1

第 3 回：名詞の性・数、提示表現、冠詞

第 4 回:否定文2、疑問文
第 5 回:第 2 群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 6 回:être・avoir、形容詞
第 7 回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、 近接未来・近接過去
第 8 回:比較級・最上級
第 9 回:複合過去
第 10 回:受動態、命令法、非人称構文
第 11 回:疑問形容詞、疑問副詞
第 12 回:疑問代名詞
第 13 回:目的語人称代名詞
第 14 回:目的語人称代名詞
第 15 回:前期のまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)60～70%・レポート 0 %・
その他 30～40%(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

| |
|---|
| フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a･b･c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。 |

| 時間割番号 | 000207 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 c | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜3限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 代名動詞 | 中島 ひかる |
| 2 | 10/2 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 代名動詞 | 中島 ひかる |
| 3 | 10/16 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 半過去・大過去 | 中島 ひかる |
| 4 | 10/23 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 半過去・大過去 | 中島 ひかる |
| 5 | 10/30 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 関係代名詞 | 中島 ひかる |
| 6 | 11/6 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 関係代名詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 11/13 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 中性代名詞 | 中島 ひかる |
| 8 | 11/20 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 中性代名詞 | 中島 ひかる |
| 9 | 11/27 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 単純未来・前未来 | 中島 ひかる |
| 10 | 12/4 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 条件法 | 中島 ひかる |
| 11 | 12/11 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 条件法 | 中島 ひかる |
| 12 | 12/18 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 現在分詞・ジェロンディフ | 中島 ひかる |
| 13 | 1/15 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 接続法・話法 | 中島 ひかる |
| 14 | 1/22 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 文法(3) | 接続法・話法 | 中島 ひかる |
| 15 | 1/29 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | フランス語cまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第 1 回：代名動詞

第 2 回：代名動詞

第 3 回：半過去・大過去

第 4 回：半過去・大過去

第 5 回：関係代名詞

第 6 回：関係代名詞

第 7 回：中性代名詞

第 8 回:中性代名詞
第 9 回:単純未来、前未来
第 10 回:条件法
第 11 回:条件法
第 12 回:現在分詞・ジェロンディフ
第 13 回:接続法・話法
第 14 回:接続法・話法
第 15 回:フランス語cまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)80～85%・レポート 0 %・
その他 15～20 %(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行います。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon , allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000209 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 c | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：月曜4限

・対象学科：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

**授業の到達目標**

1）基本単語の意味と綴りを身につける。

2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 代名動詞 | 中島 ひかる |
| 2 | 10/2 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 代名動詞 | 中島 ひかる |
| 3 | 10/16 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 半過去・大過去 | 中島 ひかる |
| 4 | 10/23 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 半過去・大過去 | 中島 ひかる |
| 5 | 10/30 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 関係代名詞 | 中島 ひかる |
| 6 | 11/6 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 関係代名詞 | 中島 ひかる |
| 7 | 11/13 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 中性代名詞 | 中島 ひかる |
| 8 | 11/20 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 中性代名詞 | 中島 ひかる |
| 9 | 11/27 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 単純未来・前未来 | 中島 ひかる |
| 10 | 12/4 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 条件法 | 中島 ひかる |
| 11 | 12/11 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 条件法 | 中島 ひかる |
| 12 | 12/18 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 現在分詞・ジェロンディフ | 中島 ひかる |
| 13 | 1/15 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 接続法、話法 | 中島 ひかる |
| 14 | 1/22 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 文法(3) | 接続法、話法 | 中島 ひかる |
| 15 | 1/29 | 14:50−16:20 | 11 番教室 | 復習 | フランス語cまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第 1 回：代名動詞
第 2 回：代名動詞
第 3 回：半過去・大過去
第 4 回：半過去・大過去
第 5 回：関係代名詞
第 6 回：関係代名詞
第 7 回：中性代名詞
第 8 回：中性代名詞

第 9 回:単純未来、前未来
第 10 回:条件法
第 11 回:条件法
第 12 回:現在分詞・ジェロンディフ
第 13 回:接続法、話法
第 14 回:接続法、話法
第 15 回:フランス語cまとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)80～85%・レポート 0 %・
その他 15～20%(授業中小試験 ・授業中の解答状況等)
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。
●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行います。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社, 2017

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000210 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 d | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間:水曜3限

・対象学科:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3−1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。

目的:フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。

概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

**授業の到達目標**

1)フランスの文化や社会について理解を深める。

2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

3)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。

4)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | イントロダクション<br>作文・読解 | アカデミー・フランセーズ | 中島 ひかる |
| 2 | 10/4 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | アカデミー・フランセーズ、レジオン・ドヌール | 中島 ひかる |
| 3 | 10/11 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | レジオン・ドヌール | 中島 ひかる |
| 4 | 10/18 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 死刑廃止 | 中島 ひかる |
| 5 | 10/25 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 死刑廃止、生地主義 | 中島 ひかる |
| 6 | 11/1 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 生地主義 | 中島 ひかる |
| 7 | 11/8 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 食料浪費 | 中島 ひかる |
| 8 | 11/15 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 食料浪費、折り紙 | 中島 ひかる |
| 9 | 11/22 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 折り紙 | 中島 ひかる |
| 10 | 11/29 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 出生率 | 中島 ひかる |
| 11 | 12/6 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | 出生率、サンタクロース | 中島 ひかる |
| 12 | 12/13 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | サンタクロース | 中島 ひかる |
| 13 | 12/20 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | カキ | 中島 ひかる |
| 14 | 1/10 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 作文・読解 | セルジュ・ゲンスブール | 中島 ひかる |
| 15 | 1/17 | 13:10−14:40 | 11 番教室 | 復習 | フランス語dまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。

1:文章の背景・キーワードを理解する。

2:キーセンテンスを把握する。

3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。

4:フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。

**授業内容**

テキストで扱う内容は以下のようになります。

1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序等は変更する可能性があります。

1～2回目:アカデミー・フランセーズ

2～3回目:レジオン・ドヌール勲章

4～5回目:死刑廃止

5～6回目:生地主義

7～8回目:食料浪費

8～9回目:折り紙

10～11 回目:出生率

11～12 回目:サンタクロース

13 回目:カキ

14 回目:セルジュ・ゲンスブール

15 回目:フランス語 d 総まとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)50～60%・レポート 0 %・

その他 40～50 %(提出物・授業中の解答)

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 50 点未満の場合は不合格とします。

●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格

・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。

・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。

(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。

・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。

受験資格は定期試験を受験していること。

・後期 d については再考査は行わない。

・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

A la page 2017 年度版／加藤晴久他:朝日出版社, 2017

:朝日出版社

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

**他科目との関連**

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000211 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 d | | |
| 担当教員 | 満島　直子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜3限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語 a, b （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

パリに留学しているアキコを中心に展開される様々な場面での会話と映像をとおして、旅行や日常生活で使われる表現を学びます。

知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

**授業の到達目標**

1） 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。

2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 2 | 10/4 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 3 | 10/11 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 4 | 10/18 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 5 | 10/25 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 6 | 11/1 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 7 | 11/8 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 8 | 11/15 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 9 | 11/22 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 10 | 11/29 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 11 | 12/6 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 12 | 12/13 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 13 | 12/20 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 14 | 1/10 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |
| 15 | 1/17 | 13:10−14:40 | 10 番教室 | 満島　直子 |

**授業方法**

テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。

**授業内容**

開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目 ： 前期学習項目の確認と練習。

2 回目 ： 電話をかける。誘う。待ち合わせをする。

3 回目 ： 蚤の市で買い物をする。

4 回目 ： 道順を尋ねる。

5 回目 ： 美術館を見学する。

6 回目 ： 市場で食料品を買う。

7 回目 ： 料理をする。

8 回目 ： 休日の計画を立てる。

9 回目 ： 時間・天候を語る。スポーツ観戦をする。

10 回目 : 洋服を試着する。デパートに行く。
11 回目 : 招待される。紹介する。
12 回目 : 友人家族と食事する。
13 回目 : 週末にしたことを語る。ノルマンディー観光。
14 回目 : レストランで。未来を語る。お別れを言う。
15 回目:総合練習

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)40%・レポート 0 %・その他 60 %(授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %)
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。

再評価:有(再評価方法 「フランス語」としての再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」のみの再考査は行いまん。「フランス語」として全体の再評価を行います。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Fujita Yuji, Elle est gourmande ! 1, nouvelle edition, (『新・彼女は食いしん坊 ! 1』), 朝日出版社, 2013

**参考書**

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。

**他科目との関連**

フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000212 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 d | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。

目的：フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。

概要：フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。

**授業の到達目標**

1）フランスの文化や社会について理解を深める。

2）やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。

3）フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。

4）基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | イントロダクション<br>作文・読解 | アカデミー・フランセーズ | 中島 ひかる |
| 2 | 10/4 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | アカデミー・フランセーズ、レジオン・ドヌール | 中島 ひかる |
| 3 | 10/11 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | レジオン・ドヌール | 中島 ひかる |
| 4 | 10/18 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 死刑廃止 | 中島 ひかる |
| 5 | 10/25 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 死刑廃止、生地主義 | 中島 ひかる |
| 6 | 11/1 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 生地主義 | 中島 ひかる |
| 7 | 11/8 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 食料浪費 | 中島 ひかる |
| 8 | 11/15 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 食料浪費、折り紙 | 中島 ひかる |
| 9 | 11/22 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 折り紙 | 中島 ひかる |
| 10 | 11/29 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 出生率 | 中島 ひかる |
| 11 | 12/6 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | 出生率、サンタクロース | 中島 ひかる |
| 12 | 12/13 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | サンタクロース | 中島 ひかる |
| 13 | 12/20 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | カキ | 中島 ひかる |
| 14 | 1/10 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 作文・読解 | セルジュ・ゲンスブール | 中島 ひかる |
| 15 | 1/17 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 復習 | フランス語dまとめ | 中島 ひかる |

**授業方法**

フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。

1：文章の背景・キーワードを理解する。

2：キーセンテンスを把握する。

3：1，2をもとにテキスト内容を把握する。

4：フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。

**授業内容**

テキストで扱う内容は以下のようになります。

1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序等は変更する可能性があります。

1～2回目:アカデミー・フランセーズ

2～3回目:レジオン・ドヌール勲章

4～5回目:死刑廃止

5～6回目:生地主義

7～8回目:食料浪費

8～9回目:折り紙

10～11 回目:出生率

11～12 回目:サンタクロース

13 回目:カキ

14 回目:セルジュ・ゲンスブール

15 回目:フランス語 d 総まとめ

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)50～60%・レポート 0 %・

その他 40～50 %(提出物・授業中の解答)

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 50 点未満の場合は不合格とします。

●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格

・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。

・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。

(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。

・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。

受験資格は定期試験を受験していること。

・後期 d については再考査は行わない。

・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

A la page 2017 年度版／加藤晴久他:朝日出版社, 2017

:朝日出版社

**参考書**

ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

| |
|---|
| **他科目との関連**<br>フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島（作文・講読）、満島（聞き取り・会話）のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。 |
| **履修上の注意事項**<br>出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。 |

| 時間割番号 | 000213 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | フランス語 d | | |
| 担当教員 | 満島　直子 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜2限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う

別表3−4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

フランス語 a, b （前期文法）修了者を対象とする会話入門。

パリに留学しているアキコを中心に展開される様々な場面での会話と映像をとおして、旅行や日常生活で使われる表現を学びます。

知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。

文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。

**授業の到達目標**

1） 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。

2） 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 2 | 10/4 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 3 | 10/11 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 4 | 10/18 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 5 | 10/25 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 6 | 11/1 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 7 | 11/8 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 8 | 11/15 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 9 | 11/22 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 10 | 11/29 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 11 | 12/6 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 12 | 12/13 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 13 | 12/20 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 14 | 1/10 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |
| 15 | 1/17 | 10:50−12:20 | 12 番教室 | 満島　直子 |

**授業方法**

テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。

**授業内容**

開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目 ： 前期学習項目の確認と練習。

2 回目 ： 電話をかける。誘う。待ち合わせをする。

3 回目 ： 蚤の市で買い物をする。

4 回目 ： 道順を尋ねる。

5 回目 ： 美術館を見学する。

6 回目 ： 市場で食料品を買う。

7 回目 ： 料理をする。

8 回目 ： 休日の計画を立てる。

9 回目 ： 時間・天候を語る。スポーツ観戦をする。

10 回目 : 洋服を試着する。デパートに行く。
11 回目 : 招待される。紹介する。
12 回目 : 友人家族と食事する。
13 回目 : 週末にしたことを語る。ノルマンディー観光。
14 回目 : レストランで。未来を語る。お別れを言う。
15 回目:総合練習

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)40%・レポート 0 %・その他 60 %(授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %)
期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。

再評価:有(再評価方法 「フランス語」としての再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」のみの再考査は行いまん。「フランス語」として全体の再評価を行います。

●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」のみの再考査は行いまん。「フランス語」として全体の再評価を行います。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

**試験の受験資格**

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。
 受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 d については再考査は行わない。
 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

**教科書**

Fujita Yuji, Elle est gourmande ! 1, nouvelle edition, (『新・彼女は食いしん坊 ! 1』), 朝日出版社, 2013

**参考書**

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。
辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。

**他科目との関連**

フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000225 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 a | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜3限

対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。

**授業の到達目標**

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「方向補語」「比較文」あたりまでの習得が到達目標になります。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 4/24 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 5/1 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 5/8 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 5/15 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 5/22 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 5/29 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 6/5 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 6/12 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 6/19 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 6/26 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 7/3 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 7/10 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 7/24 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 7/31 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

時間割の名義上は a(前期文法)と b(前期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ行う授業となります。

学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。

進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

**授業内容**

教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「方向補語」「比較文」あたりまで扱う予定です。

**成績評価の方法**

評価: 期末試験40%・小テスト等40%・その他(平常点)20%

再評価：有 （再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 a＋b」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011
辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000226 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 a | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜3限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。

**授業の到達目標**

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「方向補語」「比較文」あたりまでの習得が到達目標になります。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

時間割の名義上はa(前期文法)とb(前期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ行う授業となります。

学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。

進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

**授業内容**

教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「方向補語」「比較文」あたりまで扱う予定です。

**成績評価の方法**

評価：期末試験40%・小テスト等40%・その他(平常点)20%

再評価：有 （再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 a＋b」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011
辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000227 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語ｂ | | |
| 担当教員 | 家永　真幸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜2限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、１年間を通じて体得していただきたいと思います。

**授業の到達目標**

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「方向補語」「比較文」あたりまでの習得が到達目標になります。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 2 | 4/19 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 3 | 4/26 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 4 | 5/10 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 5 | 5/17 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 6 | 5/24 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 7 | 5/31 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 8 | 6/7 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 9 | 6/14 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 10 | 6/21 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 11 | 6/28 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 12 | 7/5 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 13 | 7/12 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 14 | 7/19 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 15 | 7/26 | 10:50-12:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |

**授業方法**

時間割の名義上はａ(前期文法)とｂ(前期会話)に分かれていますが、１人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ行う授業となります。

学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。

進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

**授業内容**

教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「方向補語」「比較文」あたりまで扱う予定です。

**成績評価の方法**

評価：期末試験40%・小テスト等40%・その他(平常点)20%

再評価：有 （再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 a＋b」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011
辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000228 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語ｂ | | |
| 担当教員 | 家永　真幸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：月曜4限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。

中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。

このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。

**授業の到達目標**

中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「方向補語」「比較文」あたりまでの習得が到達目標になります。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |
| 15 | 7/31 | 14:50-16:20 | 9番教室 | 家永　真幸 |

**授業方法**

時間割の名義上はａ(前期文法)とｂ(前期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ行う授業となります。

学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。

進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。

**授業内容**

教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「方向補語」「比較文」あたりまで扱う予定です。

**成績評価の方法**

評価：期末試験40%・小テスト等40%・その他(平常点)20%

再評価：有 （再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 a＋b」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011
辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000229 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 c | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜2限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

第二外国語科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期「中国語 a,b」に準じます。

**授業の到達目標**

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「受け身文」から「使役」「把構文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 10/4 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 10/11 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 10/18 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 10/25 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 11/1 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 11/8 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 11/15 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 11/22 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 11/29 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 12/6 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 12/13 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 12/20 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 1/10 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 1/17 | 10:50-12:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

前期「中国語 a,b」の続きです。前期同様、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬に短いスピーチを発表していただきます。

**授業内容**

教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。

**成績評価の方法**

評価：期末試験40%・小テスト(スピーチ含む)40%・その他(平常点)20%

再評価：有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)

※上記は後期「中国語 c」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996

やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015

中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日　PM.12:20–PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000230 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 c | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：水曜3限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

第二外国語科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期「中国語 a,b」に準じます。

**授業の到達目標**

日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「受け身文」から「使役」「把構文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

前期「中国語 a,b」の続きです。前期同様、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにしていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬に短いスピーチを発表していただきます。

**授業内容**

教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。

**成績評価の方法**

評価：期末試験40%・小テスト（スピーチ含む）40%・その他（平常点）20%

再評価：有 （再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は後期「中国語 c」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

習熟度を確認するため小テストを数週間に 1 回程度のペースで行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

旅して学ぶ中国語／楊凱栄：朝日出版社, 2010

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996

やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015

中国語の構文／王亜新 著,：アルク, 2011

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日　PM.12:20–PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000231 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 d | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜3限

対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語で書かれた新聞記事などを読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代の中国文化への理解を深めることを目的とします。

**授業の到達目標**

新聞記事程度の中国語を、辞書を使いながら読めるようになること。中国語を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 10/2 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 10/16 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 10/23 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 10/30 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 11/6 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 11/13 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 11/20 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 11/27 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 12/4 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 12/11 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 12/18 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 1/15 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 1/22 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 1/29 | 13:10-14:40 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。

**授業内容**

上海ディズニーランド開園、爆買いなどのニュース記事を中国語で読み、中国語の読解の練習を課すと同時に、現代中国文化に対する解説を行います。

**成績評価の方法**

評価: 期末試験70%・その他(平常点)30%

再評価: 有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)

※上記は前期「中国語 d」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。

教科書付属のドリルを各自活用すること。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

時事中国語の教科書 2017 年度版／三潴正道:朝日出版社, 2017

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996

やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中国語の構文／王亜新 著,:アルク, 2011

次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000232 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 中国語 d | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜4限

対象学科: 医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

中国語で書かれた新聞記事などを読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代の中国文化への理解を深めることを目的とします。

**授業の到達目標**

新聞記事程度の中国語を、辞書を使いながら読めるようになること。中国語を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。

**授業内容**

上海ディズニーランド開園、爆買いなどのニュース記事を中国語で読み、中国語の読解の練習を課すと同時に、現代中国文化に対する解説を行います。

**成績評価の方法**

評価: 期末試験70%・その他(平常点)30%

再評価: 有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)

※上記は前期「中国語 d」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。

教科書付属のドリルを各自活用すること。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

**教科書**

時事中国語の教科書 2017 年度版／三潴正道:朝日出版社, 2017

**参考書**

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996

やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中国語の構文／王亜新 著,:アルク, 2011

次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

**他科目との関連**

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日 PM.12:20–PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000234 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | スペイン語 a | | |
| 担当教員 | 佐藤　正樹 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:　月曜4限

対象学科:　医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):　3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。

世界中でおよそ４億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけ、併せてスペインおよびイスパノアメリカの文化に触れることがこの授業の狙いです。

**授業の到達目標**

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。

3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |
| 15 | 7/31 | 14:50-16:20 | 2 番教室 | 佐藤　正樹 |

**授業方法**

時間割の名目上は a/b/c/d に分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。この繰り返しの合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行い、スペイン語を使って暮らしている人々とその世界についての想像力を養ってもらいたいと考えています。演習の方向性については、受講者の関心を踏まえて調整する予定です。

**授業内容**

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:ガイダンス、アルファベットと発音

第2回:発音とアクセント

第3回:現在・規則変化

第4回:名詞の性と数、冠詞、形容詞

第5回:現在・不規則変化、所有形容詞

第6回:線過去

第7回:人称代名詞、gustar 型動詞

第8回:点過去・規則変化

第9回:指示詞、否定語

第10回:点過去・不規則変化

第11回:不定詞
第12回:現在完了、過去完了
第13回:関係詞
第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説

**成績評価の方法**

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業参加・出席)30%
再評価: 有(再評価方法:試験)
・abcd を総合して成績を評価します。 ・授業機関中には適宜小テストを行う可能性があります ・ab の再考査・補講は 9 月に行います。 ・前期は中間、期末の二回テストを行う予定ですが、それぞれが成績評価に占める度合いは半分ずつです。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業中に適宜指示します。

**試験の受験資格**

・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

**参考書**

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000235 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | スペイン語ｂ | | |
| 担当教員 | 佐藤　正樹 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:　水曜3限

対象学科:　医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。

世界中でおよそ４億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけ、併せてスペインおよびイスパノアメリカの文化に触れることがこの授業の狙いです。

**授業の到達目標**

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。

3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 2 | 4/19 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 3 | 4/26 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 4 | 5/10 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 5 | 5/17 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 6 | 5/24 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 7 | 5/31 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 8 | 6/7 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 9 | 6/14 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 10 | 6/21 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 11 | 6/28 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 12 | 7/5 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 13 | 7/12 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 14 | 7/19 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 15 | 7/26 | 13:10-14:40 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |

**授業方法**

時間割の名目上はa/b/c/dに分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。この繰り返しの合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行い、スペイン語を使って暮らしている人々とその世界についての想像力を養ってもらいたいと考えています。演習の方向性については、受講者の関心を踏まえて調整する予定です。

**授業内容**

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:ガイダンス、アルファベットと発音

第2回:発音とアクセント

第3回:現在・規則変化

第4回:名詞の性と数、冠詞、形容詞

第5回:現在・不規則変化、所有形容詞

第6回:線過去

第7回:人称代名詞、gustar型動詞

第8回:点過去・規則変化

第9回:指示詞、否定語

第10回:点過去・不規則変化

第11回:不定詞
第12回:現在完了、過去完了
第13回:関係詞
第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説

**成績評価の方法**

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業参加・出席)30%
再評価: 有(再評価方法:試験)
・abcd を総合して成績を評価します。 ・授業機関中には適宜小テストを行う可能性があります ・ab の再考査・補講は 9 月に行います。 ・前期は中間、期末の二回テストを行う予定ですが、それぞれが成績評価に占める度合いは半分ずつです。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業中に適宜指示します。

**試験の受験資格**

・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

**参考書**

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000236 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | スペイン語ｃ | | |
| 担当教員 | 佐藤　正樹 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:　月曜4限

対象学科:　医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):　3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。

世界中でおよそ４億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけ、併せてスペインおよびイスパノアメリカの文化に触れることがこの授業の狙いです。

**授業の到達目標**

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。

3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 2 | 10/2 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 3 | 10/16 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 4 | 10/23 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 5 | 10/30 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 6 | 11/6 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 7 | 11/13 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 8 | 11/20 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 9 | 11/27 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 10 | 12/4 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 11 | 12/11 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 12 | 12/18 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 13 | 1/15 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 14 | 1/22 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |
| 15 | 1/29 | 14:50-16:20 | 2番教室 | 佐藤　正樹 |

**授業方法**

時間割の名目上はa/b/c/dに分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。この繰り返しの合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行い、スペイン語を使って暮らしている人々とその世界についての想像力を養ってもらいたいと考えています。演習の方向性については、受講者の関心を踏まえて調整する予定です。

**授業内容**

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:未来、未来完了

第2回:無主語文

第3回:比較

第4回:再帰動詞①

第5回:過去未来

第6回:過去未来完了

第7回:再帰動詞②

第8回:接続法現在・現在完了

第9回:命令文

第10回:接続法過去・過去完了

第11回:条件文
第12回:願望文
第13回:総見直し
第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説

**成績評価の方法**

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業参加・出席)30%
再評価: 有(再評価方法:試験)
・abcd を総合して成績を評価します。 ・授業機関中には適宜小テストを行う可能性があります ・ab の再考査・補講は 9 月に行います。 ・後期も中間、期末の二回テストを行う予定ですが、それぞれが成績評価に占める度合いは半分ずつです。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

演習問題は教員の指示どおり、予習してきてください。

**試験の受験資格**

・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

**参考書**

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000237 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | スペイン語ｄ | | |
| 担当教員 | 佐藤　正樹 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:　水曜3限

対象学科:　医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。

世界中でおよそ４億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけ、併せてスペインおよびイスパノアメリカの文化に触れることがこの授業の狙いです。

**授業の到達目標**

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。

2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。

3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 2 | 10/4 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 3 | 10/11 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 4 | 10/18 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 5 | 10/25 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 6 | 11/1 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 7 | 11/8 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 8 | 11/15 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 9 | 11/22 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 10 | 11/29 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 11 | 12/6 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 12 | 12/13 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 13 | 12/20 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 14 | 1/10 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |
| 15 | 1/17 | 13:10-14:40 | 6番教室 | 佐藤　正樹 |

**授業方法**

時間割の名目上はa/b/c/dに分かれていますが、一人の教員が一冊の教科書を使い週２コマ通年で行う授業となります。

基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。この繰り返しの合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行い、スペイン語を使って暮らしている人々とその世界についての想像力を養ってもらいたいと考えています。演習の方向性については、受講者の関心を踏まえて調整する予定です。

**授業内容**

以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。

第1回:未来、未来完了

第2回:無主語文

第3回:比較

第4回:再帰動詞①

第5回:過去未来

第6回:過去未来完了

第7回:再帰動詞②

第8回:接続法現在・現在完了

第9回:命令文

第10回:接続法過去・過去完了

第11回:条件文
第12回:願望文
第13回:総見直し
第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説

**成績評価の方法**

評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業参加・出席)30%
再評価: 有(再評価方法:試験)
・abcd を総合して成績を評価します。 ・授業機関中には適宜小テストを行う可能性があります ・ab の再考査・補講は 9 月に行います。 ・後期も中間、期末の二回テストを行う予定ですが、それぞれが成績評価に占める度合いは半分ずつです。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業中に適宜指示します。

**試験の受験資格**

・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

**参考書**

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000238 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 物理学実験 | | | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章 | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:金曜日・3～5時限

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

**主な講義場所**

物理学生実験室(1F)、計算機実習室(2F)、物理教員実験室 1(3F)

**授業の目的、概要等**

物理学実験がどのような手順で行われるかを学ぶ。

実験するにあたり、目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながらやり方を改良しつつ着実に目的に向かって進み、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物事を処理するときの基本的な方法を学ぶ。

**授業の到達目標**

1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。
2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。
3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。
4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1−3 | 4/14 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 4−6 | 4/21 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 7−9 | 4/28 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 10−12 | 5/12 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 13−15 | 5/19 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 16−18 | 5/26 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 19−21 | 6/2 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 22−24 | 6/9 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 25−27 | 6/16 | 13:10−18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 28-30 | 6/23 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 31-33 | 6/30 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 34-36 | 7/7 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 37-39 | 7/14 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 40-42 | 7/21 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 43-45 | 7/28 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 46-48 | 9/29 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 49-51 | 10/6 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 52-54 | 10/13 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 55-57 | 10/20 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 58-60 | 10/27 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 61-63 | 11/10 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 64-66 | 11/17 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 67-69 | 11/24 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |
| 70-72 | 12/1 | 13:10-18:00 | 梅崎 馨章,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲 |

**授業方法**

実験

**授業内容**

物理実験学の講義を実験初日(第1週)に行うので休まないこと。

下記の 3 項目の実験を、項目ごとに 2 回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。

1. レンズの焦点距離と主点の位置（担当：梅崎）
2. 計算機による運動方程式の解法（担当：越野）
3. 物性実験、重力加速度の測定（担当：檜枝）

**成績評価の方法**

レポート60%

その他（実験態度，実験ノート等）40%

**成績評価の基準**

遅刻や実験中の態度不良による減点が大きいので注意すること。

なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席すること、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストは、実験初日に配布する。

**教科書**

物理学実験／東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編

**履修上の注意事項**

全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、補講実験を行うこ。 全てのレポートを提出すること。未提出のレポートがある場合、不合格とする。 他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とす。

**連絡先**

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

檜枝 光憲:毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

越野 和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000239 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 化学実験 | | | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行 | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:金曜日・3～5時限(前期5回、後期 3 回)対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

**授業の目的、概要等**

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

**授業の到達目標**

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。

自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1−3 | 4/14 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 4−6 | 4/21 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 7−9 | 4/28 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 10−12 | 5/12 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 13−15 | 5/19 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 16−18 | 5/26 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 19−21 | 6/2 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 22−24 | 6/9 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 25−27 | 6/16 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 28−30 | 6/23 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 31−33 | 6/30 | 13:10−18:00 | 奈良 雅之, |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 34-36 | 7/7 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 37-39 | 7/14 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 40-42 | 7/21 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 43-45 | 7/28 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 46-48 | 9/29 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 49-51 | 10/6 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 52-54 | 10/13 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 55-57 | 10/20 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 58-60 | 10/27 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 61-63 | 11/10 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 64-66 | 11/17 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 67-69 | 11/24 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |
| 70-72 | 12/1 | 13:10-18:00 | 奈良 雅之,<br>澤野 頼子,<br>勝又 敏行 |

**授業方法**

実習および講義による

**授業内容**

前期

1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1族－3族の分析)
3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(3－5族の分析)
4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) テスト(1－5族混合未知試料の分析)
5. 考察実験(ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等)

後期

6. 容量分析(その1) 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方

7. 容量分析(その2) 容量分析テスト(酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定)

8. 容量分析(その3) キレート滴定 牛乳、天然水中の Ca2+の定量

9. 容量分析(応用編) 酸化還元滴定(ヨウ素滴定)によるビタミン C の定量／沈殿滴定による塩素イオンの定量／過マンガン酸滴定による過酸化水素水の濃度および硫酸第一鉄の純度 など(考察実験)

10. 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する

**成績評価の方法**

実験ノート(一次記録および報告)50%、特別報告・口頭発表 20%

実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)30%

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

**教科書**

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

**参考書**

高木誠司著:定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂

高木誠司著:定量分析の実験と計算、共立出版

柴田村治著:無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版

D.T.Plummer 著:廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

**連絡先**

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00–13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000240 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 生物学実験 | | | | |
| 担当教員 | 松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則 | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：金曜日3～5限

・対象学科・専攻：医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

2－2）自然現象を探究するための手法を知る。

4－3）自然現象を探求するための基本的手法を身につける。

**主な講義場所**

ヒポクラテスホール3階 生物学生実験室

**授業の目的、概要等**

講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。

**授業の到達目標**

1）生物を適切に取り扱うことができる。

2）実験機器を正しく使用することができる。

3）肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。

4）現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。

5）データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-3 | 4/14 | 13:10-18:00 | ウシガエルの解剖（1） | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 4-6 | 4/21 | 13:10-18:00 | ウシガエルの解剖（2） | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 7-9 | 4/28 | 13:10-18:00 | 顕微鏡とミクロメーターの取扱　血液塗抹標本の観察 | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 10-12 | 5/12 | 13:10-18:00 | 黒色素胞のはたらき | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 13-15 | 5/19 | 13:10-18:00 | マイクロピペットの使い方　タンパク質の定量 | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 16-18 | 5/26 | 13:10-18:00 | ウシガエルの解剖（1） | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 19-21 | 6/2 | 13:10-18:00 | ウシガエルの解剖（2） | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 22-24 | 6/9 | 13:10-18:00 | 顕微鏡とミクロメーターの取扱　血液塗抹標本の観察 | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |
| 25-27 | 6/16 | 13:10-18:00 | 黒色素胞のはたらき | 伊藤　正則,<br>服部　淳彦,<br>松本　幸久 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 28–30 | 6/23 | 13:10–18:00 | マイクロピペットの使い方　タンパク質の定量 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 31–33 | 6/30 | 13:10–18:00 | ウシガエルの解剖(1) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 34–36 | 7/7 | 13:10–18:00 | ウシガエルの解剖(2) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 37–39 | 7/14 | 13:10–18:00 | 顕微鏡とミクロメーターの取扱　血液塗抹標本の観察 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 40–42 | 7/21 | 13:10–18:00 | 黒色素胞のはたらき | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 43–45 | 7/28 | 13:10–18:00 | マイクロピペットの使い方　タンパク質の定量 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 46–48 | 9/29 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(1) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 49–51 | 10/6 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(2) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 52–54 | 10/13 | 13:10–18:00 | ExBL の発表会 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 55–57 | 10/20 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(1) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 58–60 | 10/27 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(2) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 61–63 | 11/10 | 13:10–18:00 | ExBL の発表会 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 64–66 | 11/17 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(1) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 67–69 | 11/24 | 13:10–18:00 | Experiment-based Learning (ExBL)(2) | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |
| 70–72 | 12/1 | 13:10–18:00 | ExBL の発表会 | 伊藤 正則,<br>服部 淳彦,<br>松本 幸久 |

**授業方法**

実習による。

**授業内容**

肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。

**成績評価の方法**

評価:試験 0%・レポート 80%

その他 20%(実習態度等)

再評価:有

*欠席は原則認めない。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。

**教科書**

「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2017 年版)

参考図書は随時紹介する。

**参考書**

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命/シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005

**履修上の注意事項**

欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。

**連絡先**

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

| 時間割番号 | 000300 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | サイエンス PBL 入門 | | | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦, 清田 正夫, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 吉田 靖雄, 吉井 健太郎, 中野 真樹, 大塚 淳 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:金曜 3～4 限又は 3～5 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

**主な講義場所**

後日、掲示する。。

**授業の目的、概要等**

①問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上:

次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体 的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根 拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言 葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。

②実験研究者になるための基礎づくり:

問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。ま た、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技 術を培う。

**授業の到達目標**

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 12/8 | 13:10-16:20 | 共通課題 1 | ガイダンス 問題抽出 | 服部 淳彦 |
| 3-5 | 12/15 | 13:10-18:00 | 共通課題 2 | 問題解決 発表会準備 | 服部 淳彦 |
| 6-8 | 12/22 | 13:10-18:00 | 共通課題 3 個別課題 1 | 共通課題:発表会 個別課題:問題抽出 | 服部 淳彦 |
| 9-10 | 1/12 | 13:10-16:20 | 個別課題 2 | 問題解決 問題抽出 | 服部 淳彦 |
| 11-13 | 1/19 | 13:10-18:00 | 個別課題 3 | 問題解決 問題抽出 発表会準備 | 服部 淳彦 |
| 14-15 | 1/26 | 13:10-16:20 | 個別課題 4 | 発表会 | 服部 淳彦 |

**授業方法**

problem-based learning (PBL)

**授業内容**

10 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の①－③の順に行う。

①配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。

②各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。

③整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。

従って、この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。

**成績評価の方法**

出席、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、ノートの記述内容などによる。詳細はガイダンス資料で述べる。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による

**準備学習などについての具体的な指示**

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、整理しておくこと。

**試験の受験資格**

試験は行わない。

**教科書**

課題シートなどの資料を配布する。

**参考書**

必要に応じて紹介する。

**連絡先**

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

服部　淳彦:毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12:00～13:00　ヒポクラテス4階数学研究室(清田)
徳永　伸一:月曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。
奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週木曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける
越野　和樹:毎週月曜日 12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階
檜枝　光憲:毎週月曜　11:00～13:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000241 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 科学基礎実験 T | | |
| 担当教員 | 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, 服部 淳彦, 松本 幸久 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間: 火曜 2～4限(第9週～15 週)

・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る

別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

**授業の目的、概要等**

無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

**授業の到達目標**

実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 11/21 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 2 | 11/21 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 3 | 11/21 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 4 | 11/28 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 5 | 11/28 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 6 | 11/28 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久 |
| 7 | 12/5 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 8 | 12/5 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 9 | 12/5 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 10 | 12/5 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 11 | 12/12 | 09:10-10:40 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 12 | 12/12 | 10:50-12:20 | 7 番教室 | 勝又 敏行, 奈良 雅之 |
| 13 | 12/12 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又 敏行, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 奈良 雅之 |
| 14 | 12/12 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 15 | 12/19 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 16 | 12/19 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 17 | 12/19 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 18 | 1/9 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 19 | 1/9 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 20 | 1/9 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 21 | 1/16 | 09:10-10:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 22 | 1/16 | 10:50-12:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |
| 23 | 1/16 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>奈良 雅之 |

**授業方法**

実習による

**授業内容**

1. 光学顕微鏡を用いた観察(1) 顕微鏡の使い方
2. 光学顕微鏡を用いた観察(2) 血液塗抹標本の作製
3. 化学実験総論／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法)
5. 無機金属イオンの分析(硫化水素法)
6. 容量分析(その1) 中和滴定(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
7. 容量分析(その2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量)

**成績評価の方法**

生物学分野20%、化学分野80%で評価する。

化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、特別報告、口頭発表20%

実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

**教科書**

化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

**連絡先**

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス2階化学実験準備室

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ4F 教員研究室(A2)

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2 : 00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

| 時間割番号 | 000242 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 科学基礎実験Ｎ･Ｏ･Ｋ | | |
| 担当教員 | 澤野　頼子, 奈良　雅之, 勝又　敏行 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

・曜日・時間：木曜日（前半１１回）/３、４時限

・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・募集人数：48 名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

２－２）自然現象を探求するための手法を知る

４－３）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

**授業の目的、概要等**

定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。１人１セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

**授業の到達目標**

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。

自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 2 | 9/28 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 3 | 10/5 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 4 | 10/5 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 5 | 10/19 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 6 | 10/19 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 7 | 10/26 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 8 | 10/26 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 9 | 11/2 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子,<br>奈良　雅之 |
| 10 | 11/2 | 14:50-16:20 | 7 番教室 | 勝又　敏行,<br>澤野　頼子, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 奈良 雅之 |
| 11 | 11/9 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 12 | 11/9 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 13 | 11/16 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 14 | 11/16 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 15 | 11/30 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 16 | 11/30 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 17 | 12/7 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之,<br>勝又 敏行 |
| 18 | 12/7 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 19 | 12/14 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之,<br>勝又 敏行 |
| 20 | 12/14 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |
| 21 | 12/21 | 13:10-14:40 | 7番教室 | 奈良 雅之,<br>勝又 敏行 |
| 22 | 12/21 | 14:50-16:20 | 7番教室 | 勝又 敏行,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之 |

**授業方法**

実習および講義による

**授業内容**

1. 科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量
3. 容量分析 数値の取り扱いにいて
4. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量
5. 容量分析(3)キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量
6. 容量分析 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する
7. 無機定性分析(1)金属イオンの分析(硫化水素法による分属)
8. 無機定性分析(2)金属イオンの分析(個体試料の分析)
9. 無機定性分析(3)金属イオンの分析(ペーパークロマトグラフィー)
10. 無機定性分析 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する
11. 発表会(希望者)

**成績評価の方法**

実験ノート(一次記録、報告)50%、特別報告、口頭発表 20%、実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

**教科書**

「化学実験」（東京医科歯科大学教養部化学教室編）

**参考書**

生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか：東京教学社, 2007

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁：東京化学同人, 2007

基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編,：東京化学同人, 2012

**他科目との関連**

本科目か「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。 夏休み前に希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。

**履修上の注意事項**

出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。

**備考**

2年次、3年次編入生は、前半8週の 3～5 時限目で行う。

**連絡先**

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

勝又　敏行:毎週木曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

| 時間割番号 | 000243 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 科学基礎演習 | | | | |
| 担当教員 | 越野　和樹，澤野　頼子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：木曜3限

・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・募集人数：50 名まで

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学や物理の基礎を演習することを基本とする。前半は物理学（力学の基礎）について、後半は化学（物理化学の基礎）について演習を行う。

**授業の到達目標**

看護や口腔保健の専門科目で役立つ化学と物理の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には，下記の授業計画で挙げている各項目に関して，基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（1） | | 越野　和樹 |
| 2 | 10/5 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（2） | | 越野　和樹 |
| 3 | 10/19 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（3） | | 越野　和樹 |
| 4 | 10/26 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（4） | | 越野　和樹 |
| 5 | 11/2 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（5） | | 越野　和樹 |
| 6 | 11/9 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（6） | | 越野　和樹 |
| 7 | 11/16 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（7） | | 越野　和樹 |
| 8 | 11/30 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 物理学（8） | 物理学分野の考査 | 越野　和樹 |
| 9 | 12/7 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（1） | | 澤野　頼子 |
| 10 | 12/14 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（2） | | 澤野　頼子 |
| 11 | 12/21 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（3） | | 澤野　頼子 |
| 12 | 1/11 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（4） | | 澤野　頼子 |
| 13 | 1/18 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（5） | | 澤野　頼子 |
| 14 | 1/25 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（6） | | 澤野　頼子 |
| 15 | 2/1 | 13:10-14:40 | 10 番教室 | 化学（7） | 化学分野の考査 | 澤野　頼子 |

**授業方法**

講義と演習による

**授業内容**

物理学

・運動の法則

・簡単な運動

・仕事とエネルギー

・質点系の運動

化学

・酸化・還元

・電池

・反応速度

・化学平衡

**成績評価の方法**

評価：試験（物理学分野・化学分野毎の考査）100%・レポート0%・その他（出席状況が考慮される）

再評価：有（再評価方法　物理学分野と化学分野を合わせた学期末再試験）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

物理学：講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする。

化学：参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。

**試験の受験資格**

考査・再試験の受験資格：3分の2以上出席

**教科書**

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,：培風館, 2016

**参考書**

化学／小島一光 著,：化学同人, 2002

医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著,：裳華房, 2003

**他科目との関連**

本科目か「科学基礎実験 N・O・K」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。

**履修上の注意事項**

物理学分野、化学分野のいずれかの考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者としない。

**連絡先**

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000244 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 情報科学Ｎ | | |
| 担当教員 | 徳永　伸一, 津垣　正男 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜５限

対象学科・専攻: 保健衛生学科 看護学専攻

**主な講義場所**

計算機実習室

**授業の目的、概要等**

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

**授業の到達目標**

(1)情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。

(2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 2 | 4/24 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 3 | 5/1 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 4 | 5/8 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 5 | 5/15 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 6 | 5/22 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 7 | 5/29 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 8 | 6/5 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 9 | 6/12 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 10 | 6/19 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 11 | 6/26 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 12 | 7/3 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 13 | 7/10 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 14 | 7/24 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 15 | 7/31 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |

**授業方法**

パソコンを用いた実習を中心とする。

**授業内容**

第1回(情報処理1) E メール(Web メール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習
第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習
第3回(情報処理3) HTML 演習
第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行
第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文
第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文
第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数
第8回(プログラミング5) グラフィックス
第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文
第 10 回(プログラミング7) DO～LOOP 構文
第 11 回(プログラミング8) 配列
第 12 回(プログラミング9) 応用課題1
第 13 回(プログラミング 10) 応用課題2
第 14 回 タイピング試験
第 15 回 予備(成績評価に関わる演習等)

**成績評価の方法**

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約 70 点満点)
(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約 30 点満点)
なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。
なお再評価の上限は 70 点とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

**試験の受験資格**

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

**教科書**

Web 上の教材を利用する。

**履修上の注意事項**

実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。

**参照ホームページ**

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

**連絡先**

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000245 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 情報科学Ｔ | | |
| 担当教員 | 徳永　伸一, 津垣　正男 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 月曜４限

対象学科・専攻: 保健衛生学科 検査技術学専攻

**主な講義場所**

計算機実習室

**授業の目的、概要等**

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

（1）情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。

（2）プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

**授業の到達目標**

（1）情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。

（2）プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 2 | 4/24 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 3 | 5/1 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 4 | 5/8 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 5 | 5/15 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 6 | 5/22 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 7 | 5/29 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 8 | 6/5 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 9 | 6/12 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 10 | 6/19 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 11 | 6/26 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 12 | 7/3 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 13 | 7/10 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 14 | 7/24 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |
| 15 | 7/31 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永　伸一, 津垣　正男 |

**授業方法**

パソコンを用いた実習を中心とする。

**授業内容**

第1回(情報処理1) E メール(Web メール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習
第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習
第3回(情報処理3) HTML 演習
第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行
第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文
第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文
第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数
第8回(プログラミング5) グラフィックス
第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文
第 10 回(プログラミング7) DO～LOOP 構文
第 11 回(プログラミング8) 配列
第 12 回(プログラミング9) 応用課題1
第 13 回(プログラミング 10) 応用課題2
第 14 回 タイピング試験
第 15 回 予備(成績評価に関わる演習等)

**成績評価の方法**

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約 70 点満点)
(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約 30 点満点)
なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。
なお再評価の上限は 70 点とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

**試験の受験資格**

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

**教科書**

Web 上の教材を利用する。

**履修上の注意事項**

実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。

**参照ホームページ**

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

**連絡先**

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000246 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 情報科学 O・K | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:木曜3限

対象学科・専攻:口腔保健学科(口腔衛生専攻・口腔工学専攻)

**主な講義場所**

計算機実習室

**授業の目的、概要等**

情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

**授業の到達目標**

(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。

(2)プログラミング:十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 2 | 4/20 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 3 | 4/27 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 4 | 5/11 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 5 | 5/18 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 6 | 5/25 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 7 | 6/1 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 8 | 6/8 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 9 | 6/15 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 10 | 6/22 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男 |
| 11 | 6/29 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 津垣 正男 |
| 12 | 7/6 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>津垣 正男 |
| 13 | 7/13 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>津垣 正男 |
| 14 | 7/20 | 13:10-14:40 | 計算機実習室 | 徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>津垣 正男 |
| 15 | 7/27 | 13:10-14:40 | 7 番教室 | 徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>津垣 正男 |

**授業方法**

パソコンを用いた実習を中心とする。

**授業内容**

第1回(情報処理1) E メール(Web メール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習
第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習
第3回(情報処理3) HTML 演習
第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行
第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文
第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文
第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数
第8回(プログラミング5) グラフィックス
第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文
第 10 回(プログラミング7) DO～LOOP 構文
第 11 回(プログラミング8) 配列
第 12 回(プログラミング9) 応用課題1
第 13 回(プログラミング 10) 応用課題2
第 14 回 タイピング試験
第 15 回 予備(成績評価に関わる演習等)

**成績評価の方法**

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約 70 点満点)
(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約 30 点満点)
なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講＋再試験 により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。
なお再評価の上限は 70 点とする。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

**試験の受験資格**

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

**教科書**

Web 上の教材を利用する。

**履修上の注意事項**

実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とします。

**参照ホームページ**

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

**連絡先**

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

徳永　伸一:月曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業（木）終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000248 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 情報処理(a) | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:木曜 1 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)

**主な講義場所**

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

**授業の目的、概要等**

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

**授業の到達目標**

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 2 | 4/20 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 3 | 4/27 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 4 | 5/11 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 5 | 5/18 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 6 | 5/25 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 7 | 6/1 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 8 | 6/8 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 9 | 6/15 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 10 | 6/22 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 11 | 6/29 | 09:10-10:40 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 12 | 7/6 | 09:10–10:40 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 13 | 7/13 | 09:10–10:40 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 14 | 7/20 | 09:10–10:40 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 15 | 7/27 | 09:10–10:40 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |

**授業内容**

第 1 回　情報セキュリティ、著作権
第 2 回　[計]E メール（Web メール）・LMS 利用法
第 3 回　パソコン・インターネットの基礎
第 4 回　[計]タイピング演習
第 5 回　無線 LAN 接続
第 6 回　[計]テキストエディタ演習
第 7 回　HTML 基礎
第 8 回　[計]HTML 演習
第 9 回　Excel 基礎
第 10 回　[計]Excel 演習（1）
第 11 回　データ処理の基礎
第 12 回　[計]Excel 演習（2）
第 13 回　総合演習
第 14 回　[計]Excel 演習（3）
第 15 回　[計]タイピング試験
（[計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること）

**成績評価の方法**

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

**教科書**

Web 上の教材を利用する。

**履修上の注意事項**

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

**参照ホームページ**

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

**連絡先**

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

徳永　伸一:月曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000249 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 情報処理(β) | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間:木曜 2 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)

**主な講義場所**

計算機実習室および 6 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

**授業の目的、概要等**

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

**授業の到達目標**

・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 2 | 4/20 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 3 | 4/27 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 4 | 5/11 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 5 | 5/18 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 6 | 5/25 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 7 | 6/1 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 8 | 6/8 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 9 | 6/15 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 10 | 6/22 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 11 | 6/29 | 10:50-12:20 | 計算機実習室, 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 12 | 7/6 | 10:50–12:20 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 13 | 7/13 | 10:50–12:20 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 14 | 7/20 | 10:50–12:20 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |
| 15 | 7/27 | 10:50–12:20 | 計算機実習室 6番教室 | 徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将 |

**授業内容**

第 1 回　情報セキュリティ、著作権
第 2 回　[計]E メール（Web メール）・LMS 利用法
第 3 回　パソコン・インターネットの基礎
第 4 回　[計]タイピング演習
第 5 回　無線 LAN 接続
第 6 回　[計]テキストエディタ演習
第 7 回　HTML 基礎
第 8 回　[計]HTML 演習
第 9 回　Excel 基礎
第 10 回　[計]Excel 演習（1）
第 11 回　データ処理の基礎
第 12 回　[計]Excel 演習（2）
第 13 回　総合演習
第 14 回　[計]Excel 演習（3）
第 15 回　[計]タイピング試験
（[計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること）

**成績評価の方法**

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

**教科書**

Web 上の教材を利用する。

**履修上の注意事項**

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

**参照ホームページ**

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

**連絡先**

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

徳永　伸一:月曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。
中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000250 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | スポーツ・健康科学 | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：木曜3限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

**主な講義場所**

1 番教室

**授業の目的、概要等**

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学である。

**授業の到達目標(SBOs)**

本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な教養を身につけることである。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 授業ガイダンス | スポーツと健康（概説） | 水野 哲也 |
| 2 | 10/5 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 1 | 運動と健康・体力 | 水野 哲也 |
| 3 | 10/19 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 1 | 健康生成論 | 戸ヶ里 泰典 |
| 4 | 10/26 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 2 | ライフフタイルと健康 | 水野 哲也 |
| 5 | 11/2 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 2 | 休養・ストレスマネジメンと | 谷木 龍男 |
| 6 | 11/9 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 3 | 健康と栄養 | 難波 秀行 |
| 7 | 11/16 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 4 | トータル・フィットネス | 水野 哲也 |
| 8 | 11/30 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | スポーツ科学 1 | スポーツ医学概説 | 水野 哲也 |
| 9 | 12/7 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 身体論 | 「生きられる身体」 | 水野 哲也 |
| 10 | 12/14 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | |
| 11 | 12/21 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | |
| 12 | 1/11 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 3 | ホルモン科学からみた心と身体 | 水野 哲也 |
| 13 | 1/18 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 4 | 生活習慣病 | 水野 哲也 |
| 14 | 1/25 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | 水野 哲也 |
| 15 | 2/1 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 学習内容のチェック | 学期末テスト | 水野 哲也 |

**授業方法**

授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。

**授業内容**

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考える。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。

3. フィットネス科学（健康栄養学を含む）

健康の維持増進（健康生成）の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事（栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法）と休養（リラクセーション、睡眠

など）の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント（健全なライフスタイルの形成）の意義について考える。

**成績評価の方法**

評価：定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価する。 試験　100%

（担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある）

再評価：　有　（レポートによる）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的かつ能動的に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備で重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。

**参考書**

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],：講談社, 2013

スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,：世界思想社, 1999

生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,：有信堂高文社, 2011

教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,：大修館書店, 2005

**他科目との関連**

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週金曜日　AM. 11：00　～　12：30　管理研究棟　2 階

| 時間割番号 | 000251 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | スポーツ・健康科学 | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜3限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

**主な講義場所**

1 番教室

**授業の目的、概要等**

保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学である。

**授業の到達目標(SBOs)**

本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な教養を身につけることである。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 授業ガイダンス | スポーツと健康（概説） | 水野 哲也 |
| 2 | 10/6 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 1 | 運動と健康・体力 | 水野 哲也 |
| 3 | 10/13 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 2 | ライフスタイルと健康 | 水野 哲也 |
| 4 | 10/20 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 1 | 健康生成論 | 戸ヶ里 泰典 |
| 5 | 10/27 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 3 | トータル・フィットネス | 水野 哲也 |
| 6 | 11/10 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | フィットネス科学 4 | 健康と栄養 | 難波 秀行 |
| 7 | 11/17 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | スポーツ科学 | スポーツ医学概説 | 水野 哲也 |
| 8 | 11/24 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 2 | 休養・ストレスマネジメント | 谷木 龍男 |
| 9 | 12/1 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 身体論 | 「生きられる身体」 | 水野 哲也 |
| 10 | 12/8 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | |
| 11 | 12/15 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | |
| 12 | 12/22 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | | | |
| 13 | 1/12 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 3 | ホルモン科学からみた心と身体 | 水野 哲也 |
| 14 | 1/19 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 健康科学 4 | 生活習慣病 | 水野 哲也 |
| 15 | 1/26 | 13:10-14:40 | 1 番教室 | 学習内容チェック | 学期末テスト | 水野 哲也 |

**授業方法**

授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。

**授業内容**

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考える。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。

3. フィットネス科学（健康栄養学を含む）

健康の維持増進（健康生成）の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事（栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法）と休養（リラクセーション、睡眠

など）の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント（健全なライフスタイルの形成）の意義について考える。

**成績評価の方法**

評価：定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価する。 試験　100%

（担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある）

再評価：　有　（レポートによる）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的かつ能動的に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備で重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。

**参考書**

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],：講談社, 2013

スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,：世界思想社, 1999

生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,：有信堂高文社, 2011

教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,：大修館書店, 2005

**他科目との関連**

実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週金曜日　AM. 11：00　～　12：30　管理研究棟　2 階

| 時間割番号 | 000252 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：木曜3限

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 13:10-14:40 | | 授業ガイダンス　前期種目選択　第1回体力テスト（屋内） | 年間授業の説明　前期種目選択　健康関連体力テスト　（屋内種目） | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |
| 2 | 4/20 | 13:10-14:40 | | 第1回体力テスト（屋外）第1回種目別授業 | 健康関連体力テスト　（屋外種目）　種目別授業 | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |
| 3 | 4/27 | 13:10-14:40 | | 第2回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |
| 4 | 5/11 | 13:10-14:40 | | 第3回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |
| 5 | 5/18 | 13:10-14:40 | | TFAS ガイダンス | 種目別授業 | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |
| 6 | 5/25 | 13:10-14:40 | | TFAS ガイダンス | 種目別授業 | 水野 哲也, 稲垣 和希, 今野 和志 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 6/1 | 13:10–14:40 | | 第4回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 8 | 6/8 | 13:10–14:40 | | 第5回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 9 | 6/15 | 13:10–14:40 | | 第6回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 10 | 6/22 | 13:10–14:40 | | 第7回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 11 | 6/29 | 13:10–14:40 | | 第8回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 12 | 7/6 | 13:10–14:40 | | 第9回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 13 | 7/13 | 13:10–14:40 | | 第 10 回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 14 | 7/20 | 13:10–14:40 | | 第 11 回種目別授業 | 種目別授業 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 15 | 7/27 | 13:10–14:40 | | 第 12 回種目別授業 | 種目別授業　前期レポート提出 | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基にフィットネスプランを含むレポートを作成する。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図り、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価： 有 （レポート等による）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をも

って自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.: 北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000253 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:木曜4限

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィトネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/13 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 2 | 4/20 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 3 | 4/27 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 4 | 5/11 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 5 | 5/18 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 6 | 5/25 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 6/1 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 8 | 6/8 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 9 | 6/15 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 10 | 6/22 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 11 | 6/29 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 12 | 7/6 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 13 | 7/13 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 14 | 7/20 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 15 | 7/27 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基にフィットネスプランを含むレポートを作成する。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図り、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自

己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.: 北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

| 時間割番号 | 000254 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野　哲也, 松浦　佑希, 髙岡　英氣 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜3限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 2 | 4/21 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 3 | 4/28 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 4 | 5/12 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 5 | 5/19 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 6 | 5/26 | 13:10-14:40 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 6/2 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 8 | 6/9 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 9 | 6/16 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 10 | 6/23 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 11 | 6/30 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 12 | 7/7 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 13 | 7/14 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 14 | 7/21 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 15 | 7/28 | 13:10–14:40 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基にフィットネスプランを含むレポートを作成する。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図り、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.: 北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000255 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野　哲也, 松浦　佑希, 髙岡　英氣 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜4限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 2 | 4/21 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 3 | 4/28 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 4 | 5/12 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 5 | 5/19 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |
| 6 | 5/26 | 14:50-16:20 | | 水野　哲也,<br>松浦　佑希,<br>髙岡　英氣 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 6/2 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 8 | 6/9 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 9 | 6/16 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 10 | 6/23 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 11 | 6/30 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 12 | 7/7 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 13 | 7/14 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 14 | 7/21 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 15 | 7/28 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基にフィットネスプランを含むレポートを作成する。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図り、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.: 北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

| 時間割番号 | 000863 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希, 松浦 佑希, 髙岡 英氣, 谷木 龍男 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:木曜4限(隔週)

対象学科:医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィトネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 2 | 10/19 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 3 | 11/2 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 4 | 11/16 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 5 | 12/7 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 6 | 12/21 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 今野 和志 |
| 7 | 1/18 | 14:50–16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には後期は隔週で時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期後半に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第1回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

後期は隔週での授業の他に、各自で定期的な運動実践プログラムを立案、実施するとともに、年 3 回の実施される体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る。また、年度末にはそれらの実践結果等を基に本授業の最終課題である生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

後期授業では、最低1日/隔週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳,:北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000864 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：木曜4限（隔週）

対象学科：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/28 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 2 | 10/5 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 3 | 10/26 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 4 | 11/9 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 5 | 11/30 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |
| 6 | 12/14 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 1/11 | 14:50–16:20 | | 水野 哲也,<br>稲垣 和希,<br>今野 和志 | |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には後期は隔週で時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期後半に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第1回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

後期は隔週での授業の他に、各自で定期的な運動実践プログラムを立案、実施するとともに、年 3 回の実施される体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る。また、年度末にはそれらの実践結果等を基に本授業の最終課題である生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

後期授業では、最低1日/隔週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000865 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 松浦 佑希, 髙岡 英氣 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜4限（隔週）

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 2 | 10/13 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 3 | 10/27 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 4 | 11/17 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 5 | 12/1 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 6 | 12/15 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 1/12 | 14:50–16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 | |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には後期は隔週で時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期後半に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第1回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

後期は隔週での授業の他に、各自で定期的な運動実践プログラムを立案、実施するとともに、年 3 回の実施される体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る。また、年度末にはそれらの実践結果等を基に本授業の最終課題である生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

後期授業では、最低1日/隔週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000866 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | フィットネスマネージメント | | | | |
| 担当教員 | 水野 哲也, 松浦 佑希, 髙岡 英氣 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜4限（隔週）

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）

別表1－8）自己の心と体を管理する能力を獲得する

別表3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

**授業の目的、概要等**

教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間である。よって保健体育分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、授業受講をとおして人におけるスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められる。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス（健康・体力）管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。

また、本授業では様々な身体活動の機会（身体運動文化の実践）をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。

**授業の到達目標**

本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力（フィットネスの自己管理能力）の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム（適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション）の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理（フィトネスマネジメント）にむけたプランニングが求められる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 2 | 10/6 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 3 | 10/20 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 4 | 11/10 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 5 | 11/24 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣, |
| 6 | 12/8 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也, |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 7 | 12/22 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |
| 8 | 1/19 | 14:50-16:20 | | 水野 哲也,<br>松浦 佑希,<br>髙岡 英氣 |

**授業方法**

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがある。
受講学生には後期は隔週で時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、前期後半に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第1回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

後期は隔週での授業の他に、各自で定期的な運動実践プログラムを立案、実施するとともに、年 3 回の実施される体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らのフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る。また、年度末にはそれらの実践結果等を基に本授業の最終課題である生涯フィットネスプランを含むレポートを作成する。

**授業内容**

後期授業では、最低1日/隔週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。また、後期種目選択の一つとして転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれる。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

**成績評価の方法**

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

**試験の受験資格**

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

**参考書**

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

**他科目との関連**

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

**参照ホームページ**

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

**連絡先**

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

| 時間割番号 | 000820 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・フランスとヨーロッパの現代 | | | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時限:月曜2限

対象学科:全学科

受講資格:特になし

募集人数:15 名

コンピテンシー:別表3−4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

目的:主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題を通して、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。

概要:フランスで最近話題になった社会現象や、文化的な出来事を取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。できるだけ直近のニュース報道から、今、話題になっている出来事を取り上げることで、現在のフランスやヨーロッパへの関心を高めます。

**授業の到達目標**

1)フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。

2)フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げるとともに、日本を世界の中で相対化する視点を獲得する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 授業紹介 | フランスの最新ニュース紹介 | 中島 ひかる |
| 2 | 4/24 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 3 | 5/1 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 4 | 5/8 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 5 | 5/15 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 6 | 5/22 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 7 | 5/29 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 8 | 6/5 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 学生発表 | 学生発表と意見交換 | 中島 ひかる |
| 9 | 6/12 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 10 | 6/19 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 11 | 6/26 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 12 | 7/3 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 13 | 7/10 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 14 | 7/24 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | ニュース解説 | 教員によるニュースの解説と意見交換 | 中島 ひかる |
| 15 | 7/31 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 学生発表 | 学生発表と意見交換 | 中島 ひかる |

**授業方法**

講義形式で、毎回、最近のフランスのニュース報道から話題になった社会現象や、文化的な出来事について幾つかのトピックスに選んで解説し、その背景となる歴史や地理、社会制度についても触れます。後半は、ニュース報道等から、興味のあるトピックスを自ら選んでいただき、教室で発表して頂く予定です。

**授業内容**

昨年扱った Topics の例をあげます。

・移民問題
・ヨーロッパにおける極右の擡頭
・テロ(ニース等)
・イギリスの EU 離脱
・パリの洪水
・バカロレアの難易度
・タバコパッケージ
・ヴェルサイユの美術展示
・農民のストライキ
・労働法改革
・トルコの独裁政権
・ユーロ 2016
・中国の経済進出
・地方の医者不足
・テロ後の観光客減少

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)0%・レポート 80 %・
その他 20 %(授業中の質疑応答、発表等)

再評価:無

おもに期末レポートで評価しますが、授業中の質疑応答や議論等による参加度も考慮します。
期末レポートは、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで作成して頂きます。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

取り上げるトピックスについては、できる範囲で自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや自分の考えを述べてもらう機会を設けます。

**試験の受験資格**

3 分の 2 以上に出席したものにレポート提出資格を与える。

**他科目との関連**

ヨーロッパの社会や文化に興味があって、積極的にニュースに触れようという意欲があれば、フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストにはフランス語も含まれますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

| 時間割番号 | 000813 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・ロシア語入門1 | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

**授業の目的、概要等**

ロシア語の基礎を学ぶ。文字を覚えることからはじめ、動詞の現在変化、名詞の格変化など初歩の文法を学び、平易なロシア語のあいさつや重要表現を習得する。

**授業の到達目標**

ロシア語はロシアだけでなく、旧ソ連各国や離散したロシア人たちによって世界各地で使われる言語である。またウクライナ語やベラルーシ語という東スラブ系言語とも近い関係にある。独特の文字や発音、また格変化など一見して近づきがたい印象があるかもしれないが、傑出した文豪や知識人を生み出したロシアの文化を、言語を通して学んでいく。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | ロシア語の文字と発音1 | 高尾　千津子 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 文字と発音2 | 高尾　千津子 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 5 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業方法**

まずは独特の文字と発音を覚えることから始める。ロシア語の入門用テキストを用いて、ロシア語の基本的文法を習得する。履修者には毎回、重要表現の暗唱、書き取り、練習問題を課す。またロシアの社会や文化についても随時紹介していきたい。

**授業内容**

1 ロシア語の文字と発音 1
2 ロシア語の文字と発音 2
3 基本の文型
4 疑問文　疑問詞
5 人称代名詞、ロシア人の名前について
6 名詞の文法性
7 所有代名詞
8 動詞の現在人称変化　第 1 変化、第 2 変化
9 無人称文
10 場所の表現　前置格
11 移動の動詞
12 生格の使い方
13 名詞の与格と造格
14 名詞の対格
15 まとめと復習

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 60% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加と小テスト )40 %

再評価:　有(再評価方法　試験)

試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

**準備学習などについての具体的な指示**

履修者は教科書を予習するだけでなく、授業後は付録の CD を聞き、毎週ロシア語のイントネーション、アクセント、発音を復習すること。

**教科書**

NHK新ロシア語入門／佐藤　純一／著,: 日本放送出版協会, 2001

**参考書**

必要に応じて補助教材を配布する。

**履修上の注意事項**

初回にロシア語の文字と発音の基礎を習得するので必ず出席すること。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日　PM12:30–PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000821 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・漢文講読 | | | | |
| 担当教員 | 土佐 朋子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 月曜 2 限

・募集人数: 10 名

・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)

別表1－1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

**授業の目的、概要等**

志怪小説・唐代伝奇を読みながら、日中の現代ホラーの源泉の一つである古代中国文学に対する理解を深めるとともに、漢文訓読の能力を向上させることを目指す。

志怪小説とは、魏晋南北朝を中心に記録された怪異譚であり、唐代伝奇はそれが発展した怪奇小説である。

これらは、日本にも 9 世紀までには確実に伝来し、享受されてきた。それらを土台とした作品が、今昔物語などの古典作品に見られるだけでなく、芥川龍之介『杜子春』や中島敦『山月記』などの近代以降の文学にも継承されている。

中国志怪小説・唐代伝奇を読むことを通して、現代に至るまで継承される怪異譚の源流のありようを考える。また、それらを土台として成立した日本の作品も、比較対照させながら読んでいきたい。

**授業の到達目標**

①漢文訓読の技術を身につけ、できるだけ高いレベルに到達すること。

②中国志怪・唐代伝奇に対する知識を身につけ、理解を深めること。

③文化の継承と創造に対する考えを深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | ガイダンス | 半年間の授業に関する説明。 | 土佐 朋子 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 1 | 『捜神記』義犬塚ほか | 土佐 朋子 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 2 | 『捜神記』干将莫邪 | 土佐 朋子 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 3 | 『捜神記』死友ほか | 土佐 朋子 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 4 | 異境訪問譚 2 編「桃花源」「劉晨・阮肇」 | 土佐 朋子 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 5 | 『幽明録』石氏女ほか | 土佐 朋子 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 6 | 唐代伝奇「離魂記」ほか | 土佐 朋子 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 7 | 唐代伝奇「無双伝」ほか | 土佐 朋子 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文訓読と解釈 8 | 唐代伝奇「杜子春伝」 芥川龍之介『杜子春』との比較も行う。 | 土佐 朋子 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文講読と解釈 9 | 唐代伝奇「謝小娥伝」ほか | 土佐 朋子 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文講読と解釈 10 | 唐代伝奇「人虎伝」ほか 中島敦『山月記』との比較も行う。 | 土佐 朋子 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文講読と解釈 11 | 『剪灯新話』牡丹灯記 落語『牡丹灯籠』との比較も行う。 | 土佐 朋子 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文講読と解釈 12 | 『剪灯新話』金鳳釵記 | 土佐 朋子 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 10 番教室 | 演習 漢文講読と解釈 | 『剪灯新話』太虚司法伝 | 土佐 朋子 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 13 | | |
| 15 | 7/31 | 10:50–12:20 | 10 番教室 | まとめ | 半年間の漢文講読を通して考えたことをまとめる。 | 土佐 朋子 |

**授業方法**

演習形式。

**授業内容**

第 1 回 オリエンテーション

第 2～14 回 漢文訓読と解釈を演習形式で行う。

第 15 回 まとめ。半年間漢文を読んできて考えたことをまとめる。

具体的な内容は、「授業スケジュール」に記したが、授業の進み具合などによって、内容を変更する場合がある。

**成績評価の方法**

評価：試験 0%・レポート 50%

その他 50%（演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等）50%

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

毎回、訓読と解釈を行う。漢和辞典をひきながら、自分で漢文を訓む力が身につくよう、努力する。次回あてられそうな箇所については、事前に準備をすることを勧める。

**試験の受験資格**

レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。

**教科書**

中国志怪・伝奇選／近藤春雄：武蔵野書院

**参考書**

唐代伝奇（新釈漢文大系）／内田泉之助ほか：明治書院

『捜神記 幽明録 異苑』：明治書院

『唐伝奇入門』／呉志達著 赤井益久訳：日中出版, 1985

『中国の怪奇と美女－志怪・伝奇の世界－』／諏訪春男：武蔵野書院, 1991

『中国説話の散歩道』／荘司格一：日中出版, 1984

『中国の幽霊』／竹田晃：東京大学出版, 1980

『鬼趣談義』／澤田瑞穂：中公文庫, 1998

：講談社, 1987

漢和辞典（手元にあるものでよい。電子辞書で OK）。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、教員がとった出欠に出席記録がない場合には、欠席扱いになります。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。

**連絡先**

tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜 PM.12:30–PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000847 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・英語文献講読 | | | | |
| 担当教員 | 田中 智彦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

◇ 曜日・時間: 月曜 2 限

◇ 対象学科:全学科

◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-7)人間の心への理解を深める

**授業の目的、概要等**

この授業では、20 世紀の哲学者ガダマーが医学・医療、生と死、健康と病などのテーマを論じた論文集 Hans-Georg Gadamer, The Enigma of Health: The Art of Healing in a Scientific Age, translated. by J.Gaiger and N.Walker (Polity Press, 1996) に収められている論文をとりあげ、精読してゆきます。

英語の文献を適切に読解することはもちろん、そこで論じられているテーマについて洞察を深めることが目的です。授業はセミナー形式で行います。

**授業の到達目標**

(1)人文社会科学系の英語学術論文を適切に読解する基礎を作ること。

(2)医学・医療に関係するさまざまな論点について理解を深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 2 | 4/24 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 3 | 5/1 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 4 | 5/8 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 5 | 5/15 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 6 | 5/22 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 7 | 5/29 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 8 | 6/5 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 9 | 6/12 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 10 | 6/19 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 11 | 6/26 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 12 | 7/3 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 13 | 7/10 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 14 | 7/24 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |
| 15 | 7/31 | 10:50-12:20 | 4 番教室 | 田中 智彦 |

**授業方法**

セミナー形式で行います。担当者(受講者の中から指名)が作成した訳文をもとに読み進めてゆくと同時に、そこで提示される論点について折々に議論をし、テーマへの理解を深めてゆきます。

**授業内容**

The Enigma of Health 所収の論文からまずは Authority and Critical Freedom をとりあげ、精読してゆきます。他に少なくともう 1 本は読みたいと考えています。

**成績評価の方法**

◇評価:授業へのコミットメント(訳文の作成、議論への参加など) 80%

その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など)

◇再評価:有(試験もしくはレポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

(1)担当者であるかないかにかかわらず、毎回必ず各自で訳文を作成して授業に臨むこと。
(2)各回に学んだことを、次回の訳文作成や内容理解に反映させるよう試みること。

**試験の受験資格**

◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席

**教科書**

授業で用いる論文はコピーして配布します。

**参考書**

参考書等は授業の中で随時紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

**連絡先**

tanaka.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

| 時間割番号 | 000856 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・初等力学 | | | | |
| 担当教員 | 越野 和樹 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 月曜5限

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

**授業の目的、概要等**

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ⅰ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ⅱ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(ⅲ)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

**授業の到達目標**

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/17 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 2 | 4/24 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 3 | 5/1 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 4 | 5/8 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 5 | 5/15 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 6 | 5/22 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 7 | 5/29 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 8 | 6/5 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 9 | 6/12 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 10 | 6/19 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 11 | 6/26 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 12 | 7/3 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 13 | 7/10 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 14 | 7/24 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |
| 15 | 7/31 | 16:30-18:00 | 7番教室 | 越野 和樹 |

**授業方法**

講義および演習による

**授業内容**

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動

**成績評価の方法**

評価: 期末考査および平常点

再評価: 期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.

**試験の受験資格**

初回の講義において説明する

**教科書**

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

**参考書**

:中経出版

『基礎物理学　力学』

秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹　共著

培風館, 2016 年 11 月発行

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

**連絡先**

ikuzak.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000303 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・メンタルトレーニング | | | | |
| 担当教員 | 谷木 龍男 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜4限

受講資格:受講資格:メンタルトレーニングに興味・関心があり,トレーニングを継続し,スキルを習得すること

なんらかのスポーツあるいは競技(competition)経験を有し,現在もスポーツあるいは競技を継続していることが望ましい

募集人数:20名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－7),1―8)

**授業の目的、概要等**

スポーツに限らずあらゆる活動において安定して実力を発揮するためには,自己の身心の状態に気づき,調える心理的スキルを獲得することが不可欠です。

メンタルトレーニング(MT)とは,スポーツ心理学や心理学の理論や技法に基づいて,様々な心理的スキルを習得し,実際に競技で使えるように体系化したものです。

今日では,MT は,スポーツ領域に留まらず,医療領域,教育領域など,様々な領域に応用されています。

本授業では,講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び,実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。

**授業の到達目標**

基本的な心理的スキル技法を習得し,日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に,自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 1. ガイダンス | 谷木 龍男 |
| 2 | 4/19 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 2. メンタルトレーニングとは何か？自己への気づき1(質問紙法) | 谷木 龍男 |
| 3 | 4/26 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 3. リラクセーション | 谷木 龍男 |
| 4 | 5/10 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 4. 自己への気づき2(投影法) | 谷木 龍男 |
| 5 | 5/17 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 5. 自己への気づき3(エゴグラム) | 谷木 龍男 |
| 6 | 5/24 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 6. イメージの基礎 | 谷木 龍男 |
| 7 | 5/31 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 7. 過去のイメージ1(ピークパフォーマンス分析) | 谷木 龍男 |
| 8 | 6/7 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 8. 過去のイメージ2(人生曲線) | 谷木 龍男 |
| 9 | 6/14 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 9. 未来のイメージ1(人生曲線) | 谷木 龍男 |
| 10 | 6/21 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 10. 未来のイメージ2(目標設定) | 谷木 龍男 |
| 11 | 6/28 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 11. セルフトーク | 谷木 龍男 |
| 12 | 7/5 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 12. セルフ・コンパッション | 谷木 龍男 |
| 13 | 7/12 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 13. エンカウンター | 谷木 龍男 |
| 14 | 7/19 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 14. アスリートの心理的問題とスポーツカウンセリング | 谷木 龍男 |
| 15 | 7/26 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 15. 総括 | 谷木 龍男 |

**授業方法**

スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後，実際にその技法を練習します。練習・習得状況について集団で熟議・討議した後，発表を課します。

**授業内容**

1. ガイダンス
2. メンタルトレーニングとは何か？自己への気づき1（質問紙法）
3. リラクセーション
4. 自己への気づき2（投影法）
5. 自己への気づき3（エゴグラム）
6. イメージの基礎
7. 過去のイメージ1（ピークパフォーマンス分析）
8. 過去のイメージ2（人生曲線）
9. 未来のイメージ1（人生曲線）
10. 未来のイメージ2（目標設定）
11. セルフトーク
12. セルフ・コンパッション
13. エンカウンター
14. アスリートの心理的問題とスポーツカウンセリング
15. 総括

**成績評価の方法**

評価 ： 試験　　% ・ レポート50% ・ その他（受講態度）50%

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

メンタルトレーニングの練習及び練習記録の提出

**教科書**

スポーツメンタルトレーニング教本　三訂版，日本スポーツ心理学会編，2016，大修館書店

**参考書**

・アスリートの心理臨床―スポーツカウンセリング，中込四郎，2004，道和書院.

・スポーツカウンセリング入門，内田直，2011，講談社.

・自律訓練法改訂版，松岡洋一・松岡素子，2009，日本評論社.

**履修上の注意事項**

・出欠管理システムを優先する。　・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。

| 時間割番号 | 000343 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・離散構造Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜 4-5 限(ただし第 1 週・第 3 週を除く)

対象学科・専攻:全学科

**授業の目的、概要等**

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:

「m×nの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの 必要十分条件を求めよ」

「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」

「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。

本年度は

V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」

(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)

の適当な Chapter を選んで読むことにします。

(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり)

本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

**授業の到達目標**

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 2 | 4/12 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 3 | 4/26 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 4 | 4/26 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 5 | 5/10 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 6 | 5/10 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 7 | 5/24 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 8 | 5/24 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 9 | 6/14 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 10 | 6/14 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 11 | 6/28 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 12 | 6/28 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 13 | 7/12 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 14 | 7/12 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 15 | 7/26 | 14:50-16:20 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |
| 16 | 7/26 | 16:30-18:00 | 3 番教室 | 徳永 伸一 |

**授業方法**

輪読によるセミナー形式。

**授業内容**

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲（1セクションの半分程度）を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

**成績評価の方法**

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

**成績評価の基準**

到達目標をある程度達成したと見なせること。

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

**参考書**

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原濶 著,: 共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,: 共立出版, 1985

**他科目との関連**

後期の「数学Ⅱ（$\beta$）」で本科目の内容と関連する問題を扱う可能性があります。　また後期に湯島キャンパスで開講される「R・離散構造Ⅱ」は本科目とほぼ同じ内容となりますので、本科目の単位を取得した場合、「R・離散構造Ⅱ」は履修できません。

**備考**

後期に湯島キャンパスで開講される「R・離散構造Ⅱ」は本科目とほぼ同じ内容となりますので、本科目を履修しなかった人はそちらも検討してもらえればと思います。

**連絡先**

tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000306 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・講義と実習によるバイオサイエンス 1 | | | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:水曜日4・5限(第1・3週を除く)

・対象学科・専攻:医学・歯学・検査学

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

**授業の目的、概要等**

この科目は, バイオサイエンス 1(前期)と 2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では,

1)現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。

2)また, 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み, その内容をレジュメにまとめて, それぞれ発表してもらう。

3)次に, それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。

4)さらにその発展バージョンとして, 自由にテーマを設定し, 実験のプランニングをし, そのプランに従った実験を実際に行い, 結果を発表, ミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。

したがって, 実験を行う日は, 5時限以降にずれ込むこともあるので, そのつもりでいてほしい。

**授業の到達目標**

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 概論 | 研究テーマの紹介 | 服部 淳彦 |
| 2 | 4/12 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 概論 | 論文紹介の実例 | 服部 淳彦 |
| 3 | 4/26 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(1) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 4 | 4/26 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(2) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 5 | 5/10 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(3) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 6 | 5/10 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(4) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 7 | 5/24 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(5) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 8 | 5/24 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(6) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 9 | 6/14 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(7) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 10 | 6/14 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(8) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 11 | 6/28 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(9) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 12 | 6/28 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(10) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 13 | 7/12 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 論文紹介(11) | 各学生による発表 | 服部 淳彦 |
| 14 | 7/12 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 論文紹介(12) | 論文で扱った技術とその原理の説明 | 服部 淳彦 |
| 15 | 7/26 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | まとめ | 各個人の実験テーマの設定 | 服部 淳彦 |
| 16 | 7/26 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | まとめ | 各個人の実験テーマの設定 | 服部 淳彦 |

**授業方法**

主に、論文紹介と実験による。

**授業内容**

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義(前期)
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み, その内容をレジュメにまとめて発表(前期)
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得(前期・夏休み)
4. テーマを設定し(夏休み), 独自の実験計画を立て, 実際に実験を行う(後期)

5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し，ミニ卒論としてまとめる（後期）

＊　少人数セミナー形式の授業なので，希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

**成績評価の方法**

評価：その他　100%

内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子，さらに，実際に行った研究（実験）の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価：　無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また，レジュメにまとめる内容に関しては事前に相談に来ること。

**教科書**

参考論文などは，随時紹介する。

**連絡先**

ahattori.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

| 時間割番号 | 000850 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・物理実験学基礎 | | | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜日4・5限(第1・3週を除く)

対象学科:検査技術学専攻

募集人数:6 名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表4－2)

**授業の目的、概要等**

この授業は学生自身が主体的に実験を行うことに重点をおき、物理量の測定や現象の観察を自ら行うことにより、その背景にある物理法則についての理解を深め、基本的な測定方法と原理、各種測定機器の使用法などの実験技術を習得することを目的としている。同時に、実験に関連した講義と演習を行ってデーター処理、レポートの書き方などについても学習する。

**授業の到達目標**

講義形式のみの授業では得られない物理学の知識を実験演習形式で学び、それぞれの専門分野のための基礎学力を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 4/12 | 14:50-18:00 | ガイダンス | 檜枝 光憲 |
| 3-4 | 4/26 | 14:50-18:00 | 誤差の取り扱い方 | 檜枝 光憲 |
| 5-6 | 5/10 | 14:50-18:00 | 実験 1 | 檜枝 光憲 |
| 7-8 | 5/24 | 14:50-18:00 | 実験 2 | 檜枝 光憲 |
| 9-10 | 6/14 | 14:50-18:00 | 実験 3 | 檜枝 光憲 |
| 11-12 | 6/28 | 14:50-18:00 | 実験 4 | 檜枝 光憲 |
| 13-14 | 7/12 | 14:50-18:00 | 実験 5 | 檜枝 光憲 |
| 15-16 | 7/26 | 14:50-18:00 | 総括 | 檜枝 光憲 |

**授業方法**

主に演習形式とする

**授業内容**

・重力加速度の測定(ボルダーの振り子)

・自然放射線の測定と飛跡の観測

・レンズの実験

・磁場中における電子の運動

・液体窒素を使った物性測定(超伝導体、磁性体の相転移など)

他

**成績評価の方法**

評価 : レポート 80% 、その他(実験への取り組み態度) 20%

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

授業までに資料に一通り目を通しておくこと。

**教科書**

こちらで用意した実験資料を配布する。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

**連絡先**

hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000861 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・タンパク質の科学 | | | | |
| 担当教員 | 澤野 頼子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜 4・5 時限(第 1・3 週のぞく)

対象学科:全学科

受講資格:タンパク質に興味のある者

募集人数:20 名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

**授業の目的、概要等**

タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがありますが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要です。この授業では化学、生命科学のおけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸の基礎から応用について、基本概念の導入講義を行った上で、学生自らが問題提起を行う PBL(Problem Based Learning)を通して学習し、受講者が発表する機会も設けます。

**授業の到達目標**

講義、PBL、発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/12 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 2 | 4/12 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 3 | 4/26 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 4 | 4/26 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 5 | 5/10 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 6 | 5/10 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 7 | 5/24 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 8 | 5/24 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 9 | 6/14 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 10 | 6/14 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 11 | 6/28 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 12 | 6/28 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 13 | 7/12 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 14 | 7/12 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 15 | 7/26 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |
| 16 | 7/26 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | 澤野 頼子 |

**授業方法**

講義、PBL、および学生による発表会を行う。

**授業内容**

1. アミノ酸の構造と機能の講義
2. タンパク質の構造と機能の講義
3. タンパク質の解析法の講義
4. PBL
5. 学生の発表会

**成績評価の方法**

評価 : レポート 20% ・ その他(出席状況、授業への参加度、発表等など) 80%

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

タンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行っておくこと。

**試験の受験資格**

原則3分の2以上出席

**参考書**

ヴォート基礎生化学／D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正實, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳：東京化学同人, 2010

タンパク質の構造と機能：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳：ニュートンプレス, 2000

タンパク質入門：その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著,：内田老鶴圃, 2006

タンパク質科学：構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編,：化学同人, 2005

アミノ酸：タンパク質と生命活動の化学／船山信次 著,：東京電機大学出版局, 2009

タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一, 木戸康博 編,：講談社, 2007

**連絡先**

sawano.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000862 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・Essentials of Molecular and Cellular Biology | | | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

This course is being offered for the first time. The content of this course is connected to the 生物学(細胞・遺伝子)taught by Prof. Ito (and other Biology professors).

This course will present similar content learned in your regular biology course through English lectures and reading materials. The purpose of this course is to prepare motivated students to learn content through English. The course should provide support to learning in your regular biology course.

**授業の目的、概要等**

The purpose of this course is to build molecular and cellular biology knowledge through lectures and study materials in English.

Goals

1) Gain confidence in taking notes of English-medium lectures and teaching materials

2) Improve oral discussion abilities on molecular and cellular biology topics

3) Actively inquire on current trends of molecular and cellular topics

**授業の到達目標**

By the end of this course, you will be able to:

1) Take quality notes on lectures presented in English

2) Quickly acquire biology knowledge through skimming and scanning of teaching materials written in English

3) Identify reliable sources of molecular and cellular biology information available in English in the literature

4) Communicate in a class discussion on molecular and cellular biology topics in English

5) Explain molecular and cellular biology concepts in written and oral forms of English.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 4/12 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Introduction to science lectures in English | | Dennisson Jeanette |
| 3-4 | 4/26 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 1 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 5-6 | 5/10 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 2 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 7-8 | 5/24 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 3 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 9-10 | 6/14 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 4 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 11-12 | 6/28 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 5 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 13-14 | 7/12 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Molecular and Cellular Topic 6 | Chapter topics Articles from literature | Dennisson Jeanette |
| 15-16 | 7/26 | 14:50-18:00 | 2番教室 | Final Examination | All chapter topics | Dennisson Jeanette |

**授業方法**

Students will work in groups to complete tasks in and outside class.

For each topic, there will be the following components.

1) A short lecture: you will learn note taking techniques

2) A class discussion: you will learn how to present ideas in a discussion

3) A reading assignment: you will learn skimming and scanning techniques

4) Literature search activity: you will learn how to find information in the literature (on the internet)

5) Summary (written/oral) tasks: you will learn to summarize content learned in this course and the corresponding biology course in Japanese

**授業内容**

Selected topics from the regular biology course taught in Japanese with be reviewed and discussed in this course in English

**成績評価の方法**

Attendance: 15%

Class discussion/note taking: 25%

Online activities/reading assignments: 30%

Written/oral summaries: 30%

**成績評価の基準**

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」

**準備学習などについての具体的な指示**

**試験の受験資格**

This course is available only to medical students in 生物学(細胞・遺伝子)M taught by Prof. Ito.

**教科書**

Main textbook:

Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014)

**Note: Purchase of this textbook is NOT required. There is a copy available in the Kounodai Library. Chapters used in class will be available by the instructor.

Link for Amazon JP:

https://www.amazon.co.jp/Essential-Cell-Biology-Bruce-Alberts/dp/0815344554/ref=sr_1_1?s=english-books&ie=UTF8&qid=1487135004&sr=1-1&keywords=essential+cell+biology

**参考書**

Japanese version of textbook:

Essential 細胞生物学(原書第 4 版)

https://www.amazon.co.jp/Essential 細胞生物学 - 原書第 4 版 - 中村 - 桂子/dp/4524261990/ref=pd_bxgy_14_img_2?_encoding=UTF8&psc=1&refRID=WGVZQ0B8GES8JQQC2E5M

Additional supplemental materials will be provided on the course website.

**履修上の注意事項**

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device

(laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

**参照ホームページ**

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.

You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

**連絡先**

dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000305 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・整数論 | | | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時限:金曜日 1時限

募集人数:10人以下

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−4)

**授業の目的、概要等**

英文テキストを用いて、ゼミ形式で初等整数論を学ぶ。

**授業の到達目標**

整数論における基本的定理の内容と証明を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 2 | 4/21 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 3 | 4/28 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 4 | 5/12 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 5 | 5/19 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 6 | 5/26 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 7 | 6/2 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 8 | 6/9 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 9 | 6/16 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 10 | 6/23 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 11 | 6/30 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 12 | 7/7 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 13 | 7/14 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 14 | 7/21 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |
| 15 | 7/28 | 09:10−10:40 | 3番教室 | 清田 正夫 |

**授業方法**

学生一人ひとりに下記テキストの一章節(3、4ページ)を割り当て、十分時間をかけてレジュメを作成してもらい、その内容を他の学生にわかるように黒板を用いて解説してもらう。

本文のみならず、章末問題の解答、解説も学生自身にやってもらう。

**授業内容**

第1回—第2回　整数の公理と数学的帰納法

第3回—第4回　整除性と素因数分解の一意性

第5回—第7回　整数の合同と合同類群

第8回—第11回　フェルマーの定理とオイラーの定理

第12回—第15回　二次剰余の相互法則

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100%

出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。

**教科書**

Number Theory for Beginners

Andre Weil

| |
|---|
| ISBN 13: 9780387903811 |
| Publisher: Springer Verlag |
| Publication Date: 1979 |
| **履修上の注意事項** |
| 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 |
| **連絡先** |
| kiyota.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー** |
| 毎週月曜日、木曜日　12：00～13：00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田） |

| 時間割番号 | 000312 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・水の科学 | | | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:金曜1時限

・対象学科:全学科

・募集人数:25 名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

別表2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

**授業の目的、概要等**

水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。

**授業の到達目標**

1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。

2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 2 | 4/21 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 3 | 4/28 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 4 | 5/12 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 5 | 5/19 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 6 | 5/26 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 7 | 6/2 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 8 | 6/9 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 9 | 6/16 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 10 | 6/23 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 11 | 6/30 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 12 | 7/7 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 13 | 7/14 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 14 | 7/21 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |
| 15 | 7/28 | 09:10-10:40 | 5 番教室 | 奈良 雅之 |

**授業方法**

教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習を設けます。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか？」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか？」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。

**授業内容**

1.ガイダンス

2.水に関する講義

3.水,水溶液に関連する文献の輪読

4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会

5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象)

6.報告会 など

**成績評価の方法**

評価:出席・授業への貢献度(50 点)、プレゼンテーション(20 点)、レポート(30 点)を総合して評価します。

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。

**試験の受験資格**

期末考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

**教科書**

水を科学する／川瀬義矩　著,：東京電機大学出版局, 2011

**参考書**

水の話・十講 ： その科学と環境問題／鈴木啓三　著,：化学同人, 1997

水とはなにか ： ミクロに見たそのふるまい／上平　恒／著,：講談社, 1979

**他科目との関連**

分子レベルに興味を持った方は、「分子分光学演習：基礎編」をお勧めします。

**履修上の注意事項**

1限の授業に遅刻する人は履修しないでください。　グループ学習が嫌いな人には向いていません。

**連絡先**

nara.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000812 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・Topics in the News | | | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：金曜1限

・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学

・募集人数：20名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表3－5）

**授業の目的、概要等**

Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them?

It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.

**授業の到達目標**

By the end of this course, students will be able to:

1. Critically read news articles in English

2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Orientation | Course Introduction | フォス　パトリック |
| 2 | 4/21 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 1 | Reading/Writing/Speaking Activities 1 | フォス　パトリック |
| 3 | 4/28 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 2 | Reading/Writing/Speaking Activities 2 | フォス　パトリック |
| 4 | 5/12 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 3 | Reading/Writing/Speaking Activities 3 | フォス　パトリック |
| 5 | 5/19 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 4 | Reading/Writing/Speaking Activities 4 | フォス　パトリック |
| 6 | 5/26 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 5 | Reading/Writing/Speaking Activities 5 | フォス　パトリック |
| 7 | 6/2 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 6 | Reading/Writing/Speaking Activities 6 | フォス　パトリック |
| 8 | 6/9 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 7 | Reading/Writing/Speaking Activities 7 | フォス　パトリック |
| 9 | 6/16 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 8 | Reading/Writing/Speaking Activities 8 | フォス　パトリック |
| 10 | 6/23 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 9 | Reading/Writing/Speaking Activities 9 | フォス　パトリック |
| 11 | 6/30 | 09:10–10:40 | 2番教室 | Topic 10 | Reading/Writing/Speaking Activities 10 | フォス　パトリック |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 7/7 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 11 | Reading/Writing/Speaking Activities 11 | フォス パトリック | |
| 13 | 7/14 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Topic 12 | Reading/Writing/Speaking Activities 12 | フォス パトリック | |
| 14 | 7/21 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Course Review | Reading/Writing/Speaking Activities 13 | フォス パトリック | |
| 15 | 7/28 | 09:10-10:40 | 2番教室 | Course Review | In-class comprehensive test | フォス パトリック | |

**授業方法**

Discussion

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:

Separating fact from opinion
Identifying missing information
Differentiating causes and effects
Identifying perspectives and bias
Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes
Evaluating tone and word choice
Distinguishing between emotional and logical arguments
Evaluating inferences
Evaluating evidence and credibility
Determining the validity of conclusions
Evaluating one's own reactions and opinions

**成績評価の方法**

評価: quizzes/response papers 20% attendance/participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30%

再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

There is no official final examination for this course.

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.12:30–PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30–PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000852 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・ Mathematics for Natural Scientists | | | | |
| 担当教員 | Eckhard HITZER, 中口 悦史 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間: 金曜日2限(10:50～12:20)

受講資格:

High school level mathematics and English are required. Good listening understanding is helpful.

募集人数: 10名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2−1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

2−4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

3−1)国際的に活躍するための語学力を養う

4−2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

English is the common language on the international scene, not only in science but also in medicine. Many Japanese researchers have had the experience of having had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to early on take a class of natural science in English as freshman. In this lecture, you will learn various topics of mathematics by using English: infinite series, integrals and differential equations, complex algebra, vector spaces and geometric algebra, and crystal symmetry. It is also aiming at obtaining not only knowledge of mathematics but also a communicative competence in English.

**授業の到達目標**

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in mathematics from English lecture.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER, 中口 悦史 |
| 2 | 4/21 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER, 中口 悦史 |
| 3 | 4/28 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 4 | 5/12 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 5 | 5/19 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 6 | 5/26 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 7 | 6/2 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 8 | 6/9 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 9 | 6/16 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 10 | 6/23 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 11 | 6/30 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 12 | 7/7 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard HITZER |
| 13 | 7/14 | 10:50−12:20 | 8 番教室 | Eckhard |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | HITZER |
| 14 | 7/21 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | Eckhard<br>HITZER |
| 15 | 7/28 | 10:50–12:20 | 8 番教室 | Eckhard<br>HITZER |

**授業方法**

Lecture

**授業内容**

Infinite series

Integrals and differential equations

Complex algebra

Vector spaces and geometric algebra

Orthogonal transformations and crystal symmetry

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 0 % ・ レポート 50 % ・ その他(授業中の演習と発表) 50 %

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Review your high school mathematics well before the course. Put more emphasize on review after each class than preparation during course.

Try to learn English words, which are new to you. After solving problems confirm the correct answer after it is discussed in class.

**教科書**

Linear and Geometric Algebra／A.Macdonald：CreateSpace Independent Publishing Platform, 2011

Mathematical toold for physicists／J.Nearing：Dover Publications, 2010

Free PDF for 教科書 2: http://www.physics.miami.edu/~nearing/mathmethods/

**参考書**

Understanding Geometric Algebra: Hamilton, Grassmann, and Clifford for Computer Vision and Graphics／Kenichi Kanatani：A K Peters/CRC Press, 2015

幾何学と代数系 = Geometric Algebra : ハミルトン,グラスマン,クリフォード／金谷健一 著,：森北出版, 2014

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと、数回のクイズ提出による確認を併用する。

**連絡先**

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

中口 悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000314 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・国際文化論 | | | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2, 1-5, 1-9, 3-2, 3-5

**授業の目的、概要等**

みなさんの外国に対するイメージはどのように作られたものでしょうか。ある国を観光旅行で訪れ、実際の見聞に基づいて作られる場合もあれば、テレビやネット経由の伝聞によって作られる場合もあるでしょう。いずれにしても、私たちはある「特定」の情報から、ある国「全体」をイメージするということを普段から行っているはずです。

では、そのような「特定」の情報はどこから来るのでしょうか。近年ではインターネットの発達により、個人でも簡単に「多数」かつ「不特定」の人々に向けて情報を伝達することができるようになりました。しかし、つい最近まで、そのような情報伝達は、新聞、ラジオ、映画、テレビ等のマスメディアが中心となって担ってきました。

そこでこの授業では、メディアを通じた情報伝達という部分に着目して、今日の国際社会がどのような文化的状況にあるのか考えていきます。

**授業の到達目標**

報道や宣伝など「メディアの果たす役割」に注目しながら、今日の国際社会における「文化」をめぐる状況を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/14 | 10:50-12:20 | 2番教室 | ガイダンス・抽選 | | 家永 真幸 |
| 2 | 4/21 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 教員による講義① | | 家永 真幸 |
| 3 | 4/28 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 教員による講義② | | 家永 真幸 |
| 4 | 5/12 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 討論・グループ分け | | 家永 真幸 |
| 5 | 5/19 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表① | | 家永 真幸 |
| 6 | 5/26 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表② | | 家永 真幸 |
| 7 | 6/2 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表③ | | 家永 真幸 |
| 8 | 6/9 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表④ | | 家永 真幸 |
| 9 | 6/16 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表⑤ | | 家永 真幸 |
| 10 | 6/23 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表⑥ | 渡辺靖輪読(1) 教員解説・1章 | 家永 真幸 |
| 11 | 6/30 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表⑦ | 渡辺靖輪読(2) 2・3章 | 家永 真幸 |
| 12 | 7/7 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 学生発表⑧ | 渡辺靖輪読(3) 4・5章 | 家永 真幸 |
| 13 | 7/14 | 10:50-12:20 | 2番教室 | グループ発表① | | 家永 真幸 |
| 14 | 7/21 | 10:50-12:20 | 2番教室 | グループ発表② | | 家永 真幸 |
| 15 | 7/28 | 10:50-12:20 | 2番教室 | 総合討論 | | 家永 真幸 |

**授業方法**

参加者による15分程度のプレゼン、教員による解説、参加者によるディスカッションを組み合わせて進めていきます。

初回はガイダンスを行います。初回開始時に履修希望者が募集人数を超えている場合は、その場で抽選を行います。もし定員に余裕がある場合は、初回授業時の後半(2限の11:35～)から二次募集を行います。さらに空きがある場合はウェブクラスにて追加募集の告知を出します。

教科書は、初回の抽選で本教科を履修できることが内定した後、それを使用する回の授業までに入手し必ず持参してください。

**授業内容**

国際社会における宣伝戦、中国におけるソーシャルメディアの役割、アジアにおけるポップカルチャーの共有とメディアなどのテーマを扱う予定です。履修者の顔ぶれを見て適宜変更する場合があります。

**成績評価の方法**

評価:授業内での報告30%・期末レポート30%・その他(出席・議論への参加等)40%

再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

教科書の指定範囲を必ず読んでくること。それに基づき、報告者に対し必ず質問やコメントを投げかけること。

**試験の受験資格**

期末レポート提出資格として、①授業内での報告を最低 1 回担当、かつ②原則3分の2以上出席。

**教科書**

国際メディア情報戦／高木徹:講談社現代新書, 2014

**参考書**

越境するメディアと東アジア／玄武岩編著？:勉誠出版？, 2015？

日中韓の戦後メディア史／李相哲編著？:藤原書店？, 2012

〈文化〉を捉え直す――カルチュラル・セキュリティの発想／渡辺靖:岩波書店, 2015

国際文化論／平野健一郎 著,:東京大学出版会, 2000

メディア文化論／吉見俊哉:有斐閣, 2012

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日　PM.12:20–PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000347 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・分子分光学演習：基礎編 | | | | |
| 担当教員 | 奈良　雅之 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

夏季集中型:

・対象学科：全学科

・募集人数：5名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

2－1・2・3)科学的思考方法を知る

4－3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

**主な講義場所**

分光測定は化学教員実験室で行います。

オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。

**授業の目的、概要等**

近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは分光測定の基本操作に慣れることから始まり、測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。

**授業の到達目標**

(1)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。

(2)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。

**授業方法**

演習形式による

**授業内容**

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1.(初回) ガイダンス、 分子分光学に関する概説、装置の説明など

2. 分光学に関する基本操作を習得する。

3. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析)

4. 実験経過、研究成果を発表する。

5. 実験レポート(報告書)として報告する。

**成績評価の方法**

評価：報告会での発表・レポート　70%・

その他　30%(実験の取り組み方)

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。

**試験の受験資格**

考査の受験資格：原則3分の2以上出席

**教科書**

必要な文献はコピーして配付します

**履修上の注意事項**

分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光学演習をお勧めします。

**連絡先**

nara.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000819 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・英語で学ぶ力学 | | | | |
| 担当教員 | 越野 和樹 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

**授業の目的、概要等**

ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより，科学英語に親しむことを目的とする.

**授業の到達目標**

下記トピックについて英文教材に基づいて理解し，演習問題を解けることを目標とする:

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

**授業方法**

講義および演習による

**授業内容**

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

**成績評価の方法**

評価:平常点およびレポート

再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため，前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする. .

**履修上の注意事項**

前期「力学」において優秀な成績をおさめている者，あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする. 出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.

**連絡先**

ikuzak.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000353 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門 | | | | |
| 担当教員 | 徳永　伸一 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

8 月下旬または 9 月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。
対象学科・専攻:全学科

**主な講義場所**

湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。

**授業の目的、概要等**

「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。
「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーチスト(＋彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品としてCD・DVD 等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。

より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です
(よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。

**授業の到達目標**

・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。
・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。

**授業方法**

講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。

**授業内容**

各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーチスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。

また 2014 年度より、授業期間中に開催した、外部講師(演奏家等)による公開講座を、授業の一部として取り入れています。

**成績評価の方法**

評価項目は以下の2点:
(1) 各回の授業の関するレポート
(2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート

(1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

**成績評価の基準**

到達目標をある程度達成したと見なせること。

**準備学習などについての具体的な指示**

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

**教科書**

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

**他科目との関連**

直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」(室田尚子先生)の履修を推奨します。

**参照ホームページ**

過去の記録(の一部):
http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625

**連絡先**

tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20–13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000349 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・ウニの発生と海産生物の観察実習 | | | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・夏季集中(8 月 1 日教養部においてガイダンス、8 月 22 日～25 日金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設にて実験)
・対象学科:全学科(20 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う)
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
2－2)自然現象を探究するための手法を知る。
4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

**主な講義場所**

8 月 1 日(火)に教養部においてガイダンスを行う。8 月 22 日(火)～25 日(金)に金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において実験を行う。

**授業の目的、概要等**

[目的]
ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。
[概要]
この実習の大部分は、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。

**授業の到達目標**

1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。
2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。

**授業方法**

講義と実習による。

**授業内容**

教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。その目的は光学顕微鏡の使い方と生物の分類を理解することである。金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。

**成績評価の方法**

レポート内容によって評価する。再評価を行わない。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。

**試験の受験資格**

8 月 1 日に教養部で行われるガイダンスと 8 月 22 日～25 日金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設で行う実験に出席すること。

**教科書**

資料を配布する。

**参考書**

発生生物学／浅島, 誠,:朝倉書店, 1996
日本産海洋プランクトン検索図説／千原光雄, 村野正昭 編,:東海大学出版会, 1997
原色検索日本海岸動物図鑑／西村, 三郎,:保育社, 1992

**履修上の注意事項**

定員は 20 名で、履修希望者が 20 名を超えたときは抽選で履修者を決める。 8 月 1(火)に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。22(火)－25(金)(3 泊 4 日)に金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。 台風などのため、22 日～25 日に臨海実験所で実習ができないときは、この科目は開講しません。別の日に開講し直すことはありません。

**連絡先**

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

服部　淳彦:毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

| 時間割番号 | 000849 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・イギリス文学講読 | | | | |
| 担当教員 | 猪熊　恵子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:夏季集中、8月下旬から9月上旬予定とする。詳細は後日掲示を確認すること。

**授業の目的、概要等**

19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。
主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。
また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。
あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。

**授業の到達目標**

英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。
また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。

**授業方法**

セミナー形式を取る。
一日3時限続きの集中講義形式であるため、事前に十分な予習をすることが求められる。
一時限目は予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換、二限目は該当箇所の文脈や、作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッション、三限目はその短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。

**授業内容**

第一回:ガイダンス
第二回から第五回:シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ_The Blind Banker_
第六回から第九回:シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』(_The hound of the Baskervilles_) ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ 『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像
第十回から第十三回:アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシエ主演のポワロシリーズ
第十四回:総括およびディスカッション回
第十五回:最終レポート提出および意見交換

**成績評価の方法**

評価:出席および議論への参加・貢献度:40%、授業内発表(訳出課題の提出含む):30%、最終レポート 30%
再評価:　無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

上記授業内容からも明らかなように、英語の短編(および長編の抜粋)を三作品分読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。
履修が決定した学生には、夏休みに入る前にメールその他で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで初回授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

**参照ホームページ**

参考文献および使用テクストは、教員からコピーを配布する。

**連絡先**

| |
|---|
| inokuma.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>水曜日　12時30分～13時<br>木曜日　 12時30分～13時20分<br>管理研究棟 3階 猪熊研究室 |

| 時間割番号 | 000322 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・フランス語でニュースを読む | | | | |
| 担当教員 | 中島 ひかる | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時限:月曜2限

対象学科:全学科

受講資格:フランス語前期履修者(あるいは同等のフランス語力のある者)

募集人数:10 名

コンピテンシー:別表3−4)外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

目的:フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。

概要:4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めでまだ出てきていない文法項目については解説しますし、ニュース記事は英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば概略は理解できます。

前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。

**授業の到達目標**

1)1 年生の文法知識で、リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。

2)現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。

3)ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | 授業紹介 | 授業方法説明、サンプル記事購読 | 中島 ひかる |
| 2 | 10/2 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 3 | 10/16 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 4 | 10/23 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 5 | 10/30 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 6 | 11/6 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 7 | 11/13 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 8 | 11/20 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 9 | 11/27 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 10 | 12/4 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 11 | 12/11 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 12 | 12/18 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 13 | 1/15 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 14 | 1/22 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | | ニュース記事講読・解説 | 中島 ひかる |
| 15 | 1/29 | 10:50−12:20 | 11 番教室 | まとめ | 意見交換 | 中島 ひかる |

**授業方法**

初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で、皆で読んでいきます。細かい点にはこだわらず、概略が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使われているかに注意を促します。

**授業内容**

毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2 回に 1 回度程度担当して頂きます。

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)0%・レポート 0 %・

その他 100 %(授業への準備・授業の発表等)

再評価：無

授業への準備、教室での担当箇所の読解、コメント等の平常点で評価します。

学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分なりに、ニュースに興味を持ち、概要だけでも理解しようと努め、積極的に授業に参加することを重視します。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

自分の力にあった、興味の持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の土曜日までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。

短い記事を選んでも結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。

国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。

**試験の受験資格**

試験は行わず、平常点で評価する

**教科書**

・francetvinfo

http://www.francetvinfo.fr/

テレビ報道を文字に起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。

・パリジアン

http://www.leparisien.fr/

・パリマッチ

http://www.parismatch.com/

・フィガロ

http://www.lefigaro.fr/

・リベラシオン

http://www.liberation.fr/

・ネット新聞

http://www.20minutes.fr/

・ル・モンド

http://www.lemonde.fr/

無料購読の場合一ヶ月の閲覧数に制限あり

**参考書**

・テレビ放送（1 週間分のニュース報道のアーカイブ）

閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。

http://jt.france2.fr/20h/

**他科目との関連**

フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。

**履修上の注意事項**

少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。

| 時間割番号 | 000817 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・日本の古典 | | | | |
| 担当教員 | 土佐 朋子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 月曜 2 限

・募集人数: 25 名

・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)

別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

**授業の目的、概要等**

日本の古典文学に対する理解を深めることを目的とし、今年度は上田秋成『雨月物語』を講読する。

『雨月物語』は、一七七六年に刊行された、短編怪異小説集である。

日本および中国の古典をふまえながら、秋成が翻案したこれらの怪異小説を読み、江戸期における古典の継承と文学創作のありようとを考察する。

また、短編それぞれがふまえた古典作品と比較対照させながら読むことにより、秋成の創作意図を考えていきたい。

現代ホラーの源流の一つともいえる『雨月物語』を読むことにより、日本文化に対する理解を深める一助ともしたい。

**授業の到達目標**

①『雨月物語』の内容を理解すること。

②日本古典文学の素養を身に付け、理解を深めること。

③日本の文化・文学が、中国および自国の古典を継承することによって成立していることを、実践的に学び、理解すること。

④人間にとって「語り」とは何かという問いに対して自分なりの考えをまとめること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | ガイダンス | 授業の内容に関する説明 | 土佐 朋子 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読1 | 「菊花の契り」 | 土佐 朋子 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読2 | 「菊花の契り」と『古今小説』「范巨卿鶏黍死生交」 | 土佐 朋子 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読3 | 「浅茅が宿」 | 土佐 朋子 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読4 | 「浅茅が宿」と『剪灯新話』「愛卿伝」 | 土佐 朋子 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読5 | 「仏法僧」 | 土佐 朋子 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読6 | 「吉備津の釜」 | 土佐 朋子 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読7 | 「吉備津の釜」と『剪灯新話』「牡丹灯記」 | 土佐 朋子 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読8 | 「牡丹灯記」から落語「牡丹灯籠」へ | 土佐 朋子 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読9 | 「蛇性の婬」 | 土佐 朋子 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読 10 | 「蛇性の婬」と「白娘子永鎮雷峰塔」 | 土佐 朋子 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読 11 | 「浅茅が宿」「蛇性の婬」から溝口健二監督『雨月物語』へ | 土佐 朋子 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読 12 | 「青頭巾」 | 土佐 朋子 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | 『雨月物語』講読 13 | 『リング』と『ザ・リング』と『雨月物語』 | 土佐 朋子 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 8 番教室 | まとめ | 半年間の講義を踏まえて、日本の怪異譚について考察する。 | 土佐 朋子 |

**授業方法**

講義を中心とする予定であるが、受講生に意見を聞いたり、課題にもとづく議論を行うことも考えている。

**授業内容**

『雨月物語』を講読する。それぞれの話のもととなった中国の白話小説などとも比較対照させる。また、映画『雨月物語』における物語

の再構成に関する考察や、日本の現代ホラーへに継承される怪奇の表象に関する考察も考察する。
　具体的な内容については、「授業スケジュール」に記載した。ただし、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、内容を変更する場合がある。

**成績評価の方法**

評価:試験 0%・レポート 50%
　　その他 50%(演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等)
再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

書物に書いてある説明などを鵜呑みのせず、批判的精神にもとづく主体的な解釈を目指すこと。

**試験の受験資格**

レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。

**教科書**

雨月物語 : 現代語訳付き／上田秋成 [著],鵜月洋 訳注,:角川学芸出版, 2006

**参考書**

『日本の幽霊』／諏訪春男:岩波新書, 1988
『さかさまの幽霊』／服部幸雄:ちくま学芸文庫, 2005
『妖怪談義』／柳田国男:講談社学術文庫, 1977
『剪灯新話』／竹田晃ほか編:明治書院, 2008
『剪灯新話』／飯塚明訳:平凡社, 1965
『牡丹灯籠』／三遊亭円朝:岩波文庫, 2002
『幽霊名画集』／辻惟雄監修:ちくま学芸文庫, 2008
授業でその都度紹介する。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。　出欠管理システムの打刻されていても、教員がとる出欠において出席が認められない場合は欠席扱いとなる。　レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。

**連絡先**

tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000831 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・ロシア語入門2 | | | | |
| 担当教員 | 高尾　千津子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

**授業の目的、概要等**

前期に引き続き、ロシア語の基礎を学ぶ。後期は教科書の第 16 課から始め、完了体と不完了体、関係代名詞、仮定法などロシア語のテキストを読む上で必要な文法事項を習得する。

**授業の到達目標**

ロシア語読解の上で必要な基本的文法を学び、簡単なロシア語文学を原文で読めるようにする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/25 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 前期の復習 | 高尾　千津子 |
| 2 | 10/2 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 3 | 10/16 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 4 | 10/23 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 5 | 10/30 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 6 | 11/6 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 7 | 11/13 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 8 | 11/20 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 9 | 11/27 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 10 | 12/4 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 11 | 12/11 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 12 | 12/18 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 基本文法 | 高尾　千津子 |
| 13 | 1/15 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 簡単な読み物を読む | 高尾　千津子 |
| 14 | 1/22 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | 簡単な読み物を読む | 高尾　千津子 |
| 15 | 1/29 | 10:50-12:20 | 2 番教室 | まとめ | 高尾　千津子 |

**授業内容**

1 所有の表現と否定
2命令法
3過去
4未来形
5Cf動詞
6定動詞と不定動詞
7動詞の体　その1
8動詞の体　その2
9関係代名詞
10 仮定法
11 接続詞
12 比較級
13 ロシア語の読み物　1 「三匹のくま」
14 ロシア語の読み物　2　ロシア詩を読む
15 まとめ

**成績評価の方法**

評価　:　試験　60%　・　レポート　0%　・　その他(授業への参加と小テスト　)40　%
再評価:　有(再評価方法　試験)
試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

**準備学習などについての具体的な指示**

履修者は教科書を予習するだけでなく、授業後は付録の CD を聞き、ロシア語のイントネーションとアクセント、発音を復習しておくこと。

**教科書**

NHK新ロシア語入門／佐藤　純一／著,: 日本放送出版協会, 2001

**参考書**

必要に応じて補助教材を配布する。

**履修上の注意事項**

初回にロシア語の文字と発音を習得するので必ず出席すること。

**連絡先**

takao.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

高尾千津子

毎週月曜日　PM12:30-PM1:30

管理研究棟2階

| 時間割番号 | 000344 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・離散構造Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間: 火曜 5 限(ただし履修者の希望により時間帯は調整します)

対象学科・専攻: 全学科

選択科目の可能性を拡げる試みの1つとして、火曜日に湯島キャンパスにて(各学科の授業の後に)開講する授業です。

前期の「離散構造Ⅰ」とほぼ同内容とする予定ですので、以下の記述は「離散構造Ⅰ」と共通となります。

**主な講義場所**

湯島キャンパス(教室未定)

**授業の目的、概要等**

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:

「m×nの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの 必要十分条件を求めよ」

「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」

「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。

本年度は

V. Boltyanski & A. Soifer 著 「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」

(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)

の適当な Chapter を選んで読むことにします。

(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり)

本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

**授業の到達目標**

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/26 | 16:10-17:40 | 歯学部演習室 | 徳永 伸一 |
| 2 | 10/3 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 3 | 10/10 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 4 | 10/17 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 5 | 10/24 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 6 | 10/31 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 7 | 11/7 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 8 | 11/14 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 9 | 11/21 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 10 | 11/28 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 11 | 12/5 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 12 | 12/12 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 12/19 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 14 | 1/9 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |
| 15 | 1/16 | 16:10-17:40 | | 徳永 伸一 |

**授業方法**

輪読によるセミナー形式。

**授業内容**

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲(1セクションの半分程度)を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

**成績評価の方法**

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

**成績評価の基準**

到達目標をある程度達成したと見なせること。

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

**試験の受験資格**

前期の「R・離散構造Ⅰ」単位取得者は評価の対象外となります。

**参考書**

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原濶 著,: 共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,: 共立出版, 1985

**他科目との関連**

前期の「R・離散構造Ⅰ」とほぼ同内容となる予定です。

**履修上の注意事項**

上記の理由により、「R・離散構造Ⅰ」の単位を取得した人は履修することができません。

**備考**

選択科目の可能性を拡げるために、試験的に湯島キャンパスでの開講を予定していますが、場所・時間帯共に、なるべく履修者の要望に沿って開講したいと思いますので、希望者は相談してください(履修希望者が少なければ、より柔軟に対応できます)。

**連絡先**

tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000317 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・数学解析 | | | | |
| 担当教員 | 中口 悦史 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時限:水曜日1時限

対象学科:口腔保健学科口腔保健工学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 4−1), 4−2)

**授業の目的、概要等**

口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき, 数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら, 関連する項目を学習する。

**授業の到達目標**

微積分, 線形代数, 数値計算の基本的な考え方を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 09:10−10:40 | 2番教室 | ガイダンス | 中口 悦史 |
| 2 | 10/4 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 数の体系と代数方程式(1) | 中口 悦史 |
| 3 | 10/11 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 数の体系と代数方程式(2) | 中口 悦史 |
| 4 | 10/18 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 図形と関数(1) | 中口 悦史 |
| 5 | 10/25 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 図形と関数(2) | 中口 悦史 |
| 6 | 11/1 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 図形と関数(3) | 中口 悦史 |
| 7 | 11/8 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 場合の数と確率(1) | 中口 悦史 |
| 8 | 11/15 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 場合の数と確率(2) | 中口 悦史 |
| 9 | 11/22 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 線形代数入門(1) | 中口 悦史 |
| 10 | 11/29 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 線形代数入門(2) | 中口 悦史 |
| 11 | 12/6 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 線形代数入門(3) | 中口 悦史 |
| 12 | 12/13 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 微積分入門(1) | 中口 悦史 |
| 13 | 12/20 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 微積分入門(2) | 中口 悦史 |
| 14 | 1/10 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 微積分入門(3) | 中口 悦史 |
| 15 | 1/17 | 09:10−10:40 | 2番教室 | 総合演習 | 中口 悦史 |

**授業方法**

板書による講義と演習を交えながら授業を進める。

**授業内容**

前半は高校の数学Ⅰ・Ⅱ・Aの内容を復習しながら概観し, 体系的に捉え直す。

後半は大学の線形代数と微積分の基礎を, 演習を交えながら学習する。

さらに全体を通して, コンピュータにおける数値計算や画像処理の観点からの解説を加える。

**成績評価の方法**

評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 50%

再評価: 無

期末試験は授業最終回の総合演習をもって代えることがある。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

高校数学の内容をよく思い出し, 不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。

**試験の受験資格**

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習への参加。

**教科書**

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

**参考書**

数学入門 (大学生のための基礎シリーズ1)／上村豊, 坪井堅二:東京化学同人, 2002

数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二:東京化学同人, 2004

数学概論 －線形代数／微分積分－／田代嘉宏:裳華房, 1993
数値計算／洲之内治男 著,:サイエンス社, 2002
いかにして問題をとくか／G. ポリア 著,柿内 賢信 訳,:丸善株式会社出版事業部
その他, 高校数学の参考書。

**履修上の注意事項**

出欠確認は出欠管理システムと, 各回の演習カード提出を併用する。

**連絡先**

nakaguti.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

| 時間割番号 | 000326 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・糖の科学 | | | | |
| 担当教員 | 勝又 敏行 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜日 4,5 限(後期)1,3 週

募集人数:5名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

**授業の目的、概要等**

糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。

この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。

**授業の到達目標**

糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 10/4 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 2 | 10/4 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 3 | 10/18 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 4 | 10/18 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 5 | 11/1 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 6 | 11/1 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 7 | 11/15 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 8 | 11/15 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 9 | 11/29 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 10 | 11/29 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 11 | 12/6 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 12 | 12/6 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 13 | 12/20 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 14 | 12/20 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |
| 15 | 1/17 | 14:50−16:20 | 勝又 敏行 |
| 16 | 1/17 | 16:30−18:00 | 勝又 敏行 |

**授業方法**

実習と講義による

**授業内容**

1. 糖のペーパークロマトグラフィー
2. 化学的な糖タンパク質の検出
3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出
4. 糖の組成分析
5. HPLC を用いた糖鎖構造解析
6. 論文講読

**成績評価の方法**

評価:試験 0%、レポート 50%、その他(実験ノートなど)50%

再評価　有(レポート再提出)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。

**参考書**

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳.: 丸善, 2010

ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編.: 羊土社, 2002

糖鎖科学への招待／辻崇一 共著,梶本哲也 共著,: 三共出版, 2008

**連絡先**

katsumata.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

| 時間割番号 | 000853 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・実用統計学 | | | | |
| 担当教員 | 徳永 伸一 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：水曜4・5限（第1・3週を除く）

対象学科：保健衛生学科、口腔保健学科

**授業の目的、概要等**

保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。

保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。

**授業の到達目標**

・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。

・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。

・本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 3 | 10/11 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 4 | 10/11 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 5 | 10/25 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 6 | 10/25 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 7 | 11/8 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 8 | 11/8 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 9 | 11/22 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 10 | 11/22 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 11 | 12/13 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 12 | 12/13 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 13 | 1/10 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 14 | 1/10 | 16:30-18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |
| 15 | 1/24 | 14:50-16:20 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 16 | 1/24 | 16:30–18:00 | 計算機実習室 | 徳永 伸一 |

**授業内容**

（以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定）

第1回 :序論＋Excel 入門

第2回 :乱数の分布と標本平均の分布（講義＋Excel 演習）

第3回 :正規分布（講義＋Excel 演習）

第4回 :2項分布と正規近似（講義＋Excel 演習）

第5回 :t分布（講義＋Excel 演習）

第6回 :相関と回帰、散布図（講義＋Excel 演習）

第7回 :実用統計学講義（カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定 他）

第8回 （予備）

**成績評価の方法**

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

**準備学習などについての具体的な指示**

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

**参考書**

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著,:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著,:東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂, 1990

**他科目との関連**

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

**連絡先**

tokunaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

月曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

| 時間割番号 | 000331 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・講義と実習によるバイオサイエンス 2 | | | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:水曜日4・5限(第1・3週を除く)

・対象学科・専攻:医学・歯学・検査学

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

**授業の目的、概要等**

この科目は, バイオサイエンス 1(前期)と 2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では,

1)現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。

2)また, 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み, その内容をレジュメにまとめて, それぞれ発表してもらう。

3)次に, それらの技術の一部を用いた実験を, 実際に行う。

4)さらにその発展バージョンとして, 自由にテーマを設定し, 実験のプランニングをし, そのプランに従った実験を実際に行い, 結果を発表, ミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。

したがって, 実験を行う日は, 5時限以降にずれ込むこともあるので, そのつもりでいてほしい。

**授業の到達目標**

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 実験 1 | 実験 1 | 服部 淳彦 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 実験 2 | 実験 2 | 服部 淳彦 |
| 3 | 10/11 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 実験 3 | 実験 3 | 服部 淳彦 |
| 4 | 10/11 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 実験 4 | 実験 4 | 服部 淳彦 |
| 5 | 10/25 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 中間発表 1-1 | 中間発表 1-1 | 服部 淳彦 |
| 6 | 10/25 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 中間発表 1-2 | 中間発表 1-2 | 服部 淳彦 |
| 7 | 11/8 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 実験 5 | 実験 5 | 服部 淳彦 |
| 8 | 11/8 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 実験 6 | 実験 6 | 服部 淳彦 |
| 9 | 11/22 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 実験 7 | 実験 7 | 服部 淳彦 |
| 10 | 11/22 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 実験 8 | 実験 8 | 服部 淳彦 |
| 11 | 12/13 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 中間発表 2-1 | 中間発表 2-1 | 服部 淳彦 |
| 12 | 12/13 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 中間発表 2-2 | 中間発表 2-2 | 服部 淳彦 |
| 13 | 1/10 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 実験 9 | 実験 9 | 服部 淳彦 |
| 14 | 1/10 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 実験 10 | 実験 10 | 服部 淳彦 |
| 15 | 1/24 | 14:50-16:20 | 6 番教室 | 最終発表 | 最終発表 | 服部 淳彦 |
| 16 | 1/24 | 16:30-18:00 | 6 番教室 | 最終発表 | 最終発表 | 服部 淳彦 |

**授業方法**

主に、論文紹介と実験による。

**授業内容**

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義(前期)
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み, その内容をレジュメにまとめて発表(前期)
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得(前期・夏休み)
4. テーマを設定し(夏休み), 独自の実験計画を立て, 実際に実験を行う(後期)
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し, ミニ卒論としてまとめる(後期)

＊ 少人数セミナー形式の授業なので, 希望者が多い場合は, 申し訳ないが人数を絞らせていただく。

**成績評価の方法**

評価:その他 100%

内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子, さらに, 実際に行った研究(実験)の内容やミニ

| |
|---|
| 卒論などから総合的に判断する。<br>再評価: 無 |
| **成績評価の基準**<br>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。 |
| **準備学習などについての具体的な指示**<br>渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また，レジュメにまとめる内容に関して事前に相談に来ること。 |
| **教科書**<br>参考論文などは随時紹介する。 |
| **連絡先**<br>ahattori.las@tmd.ac.jp |
| **オフィスアワー**<br>毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) |

| 時間割番号 | 000818 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・表象文化論 | | | | |
| 担当教員 | 土佐　朋子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：第1・3を除く水曜2限

・対象学科：全学科

・募集人数：25 名

・科目を履修して得られる能力（コンピテシー）

別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1－4）異なる空間の文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ここでいう「表象文化」とは、「文学」あるいは「作品」の概念をより拡張したものであるが、本講においては、特に視覚的イメージを題材にして、その構造と政治性について考察する。

言葉、映像、音楽などを組み合わせた映画特有の表現方法や、時代背景、作品と作品との継承関係などをふまえながら、制度＝秩序の生成と、自然＝身体との対立、そして身体の異形化による制度からの逸脱あるいは排除といった政治力学を、文化記号の中に読み取り分析する。あわせて、作品一つ一つに対する自らの解釈を定めることと、それらを人間の生み出してきた表象の大きな流れの中に位置づけることを目指す。

**授業の到達目標**

①作品一つ一つに対する自らの解釈を定めるための方法を学ぶ。

②人間の表象という創造的営みが、歴史という大きな流れの中で継承されながら新たに生み出されていくことを理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | ガイダンス | 授業の説明。 | 土佐　朋子 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | 映画の始まり―サイレントからトーキーへ― | 映画の表現方法の歴史に関する考察を行う。ジョルジュ・メリエス『月世界旅行』。 | 土佐　朋子 |
| 3 | 10/11 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 可視化される制度―『メトロポリス』― | 『メトロポリス』に基づいて、可視化される制度と人間の身体の関係について考察する。　主として映画視聴。 | 土佐　朋子 |
| 4 | 10/11 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐　朋子 |
| 5 | 10/25 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 身体のディシプリンと逸脱―『モダンタイムス』― | 『モダンタイムス』を通して、機械化・制度化される社会の中で、逸脱する身体のありようについて考察する。主として映画視聴 | 土佐　朋子 |
| 6 | 10/25 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐　朋子 |
| 7 | 11/8 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 機械の人間化―『アンドリューNDR114』― | ロボットは人間になれるか。『アンドリュー』を通して、人間とロボットの境界線について考察する。　主として映画視聴 | 土佐　朋子 |
| 8 | 11/8 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐　朋子 |
| 9 | 11/22 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 怪物、あるいは逸脱する身体―『ゴジラ』と『新ゴジラ』― | 『ゴジラ』と『新ゴジラ』を通して、科学が生み出す「怪物」と、社会から逸脱する「身体」について考察する。　主として映画視聴。 | 土佐　朋子 |
| 10 | 11/22 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐　朋子 |
| 11-12 | 12/13 | 14:50-18:00 | 9 番教室 | 経験と身体―『サロゲート』― | 『サロゲート』を通して、人間としての経験とは何かについて考察する。　主として映画視聴。 | 土佐　朋子 |
| 13 | 12/13 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐　朋子 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 1/10 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | 自然と技術、葛藤する制度―『もののけ姫』― | 『もののけ姫』に表象される自然と技術、制度について考察する。主として映画視聴。 | 土佐 朋子 | |
| 15 | 1/10 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | 学生による討論。 | 土佐 朋子 | |
| 16 | 1/24 | 14:50-16:20 | 9 番教室 | まとめ | 半年間の講義を踏まえて、人間の身体と機械化を中心に、人間とは何かという問いについて考える。 | 土佐 朋子 | |
| 17 | 1/24 | 16:30-18:00 | 9 番教室 | | | 土佐 朋子 | |

**授業方法**

講義と演習。

**授業内容**

『メトロポリス』(フリッツ・ラング、1927 年公開)、『モダンタイムス』(チャールズ・チャップリン、1938 年)、『アンドリューNDR114』(クリス・コロンバス、1999 年)、『ゴジラ』(本多猪四郎、1954 年)、『もののけ姫』(宮崎駿、1997 年)などを用いて、制度や秩序と身体や自然の関係性がどのように表象されてきたかを考察する。

具体的な内容は、「授業スケジュール」に記載したが、授業の進み具合その他によって変更する場合もある。

**成績評価の方法**

評価:試験0%・レポート 50%

その他(授業中の取り組みと演習への参加度)50%

再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

課題となる作品を事前に見て、内容を把握し、問題点や疑問点などを整理しておく。

講義中に使用する関連資料も読み、理解しておく。

**試験の受験資格**

原則として3分の2以上の出席。

**教科書**

プリントを使用。

**参考書**

授業中にその都度紹介する。

**履修上の注意事項**

出席管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させる。 出欠管理システム上に打刻があっても、教員がとった出欠で記録がない場合には欠席扱いになる。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。

**連絡先**

tosa.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

| 時間割番号 | 000337 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・生体分子分光学演習 | | | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:水曜4，5限(開講日指定)

・対象学科:全学科

・募集人数: 5名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1、2、3)科学的思考方法を知る

4－3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

**授業の目的、概要等**

担当教員の専門分野(生体分子分光学)に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。

**授業の到達目標**

少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 3 | 10/11 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 4 | 10/11 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 5 | 10/25 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 6 | 10/25 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 7 | 11/8 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 8 | 11/8 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 9 | 11/22 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 10 | 11/22 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 11 | 12/13 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 12 | 12/13 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 13 | 1/10 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 14 | 1/10 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |
| 15 | 1/24 | 14:50-16:20 | 奈良 雅之 |
| 16 | 1/24 | 16:30-18:00 | 奈良 雅之 |

**授業方法**

実験ならびに研究ミーティング形式による

**授業内容**

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1. 分光学に関する基本操作を習得する。
2. 実験テーマ、研究テーマを決める。
3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。
4. 研究を行う。(実験ならびに結果解析)
5. 研究結果についてのディスカッションを行う。－個別指導
6. 実験経過、研究成果を発表する。
7. 実験レポート(報告書)として報告する。

**成績評価の方法**

評価:報告・レポート:80%

その他20%(授業中の取り組み方、参加度)

再評価 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習：配付資料で分光学の原理について勉強する

復習：実験結果を整理して、報告できるようにまとめる

**試験の受験資格**

定期試験の受験資格：原則3分の2以上出席

（報告・レポートをもって定期試験とする）

**連絡先**

nara.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000332 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・グリム童話を読む | | | | |
| 担当教員 | シンチンガー　エミ | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：水曜 4・5 限、（第 1 と第 3 水曜をのぞく）
・対象学科：全学科
・受講資格：ドイツ語を履修していること
・募集人数：20 人
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1－4）異なる空間の文化を理解する
　別表1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
　別表1－6）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表1－7）人間の心への理解を深める
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

**授業の目的、概要等**

ドイツ語を習い始めて、原文で有名な作品を読んでみたい方々のための授業です。
グリム童話集（決定稿と呼ばれる 1857 年の第3版をもとにした現代版）から、短くて読みやすいもの、有名なものなどを中心に選び、読んでいきたいと思います。
作品だけを理解し、鑑賞することも大切ですが、作者やその時代背景についての知識が深まれば作品の理解も深まります。そこで参加者には、作者と作品の時代的、文学的背景などについて調べてきてもらい、短い発表をしてもらいます。その後発表と童話の訳を中心に作成したレポートを提出してもらいます。

**授業の到達目標**

なるべく多くの童話を読み、グリム童話というもの、そして様々な国の童話集との関係などについても考えることが目標です。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | オリエンテーション：　グリム兄弟とグリム童話について参加者にも調べてきてもらい、短く発表してもらう。その後教員からグリム兄弟とグリム童話について詳しい説明をする。次に、読んで訳すために必要なまだ習っていない文法事項を説明し始める。 | シンチンガー　エミ | 独和辞典は必携；電子辞書でも良い。グリム兄弟とグリム童話について調べてもらう。原文のコピーをプリントとして配る。 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 未習文法事項の説明、リストの中の、どの童話を読むことにするか、考えてくること。なるべく短く、さほど難しくない童話を選んで読み、訳し始める。短い童話を 1 編読むことが目標。 | シンチンガー　エミ | 辞書は必携；文法用教科書も必携；教員が選んだ中ぐらいの長さの童話の中から、どの童話が読みたいか考えてくること。 |
| 3 | 10/11 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 一つ目の童話の訳に関しての問題点、難しかった個所などについて解説した後、2 つ目に選んだ、短めでそれほど難しくない童話を読んで訳し始める。まだ 1 年後期で、未習の文法事項が多く、原文は古いドイツ語なので、いろいろ | シンチンガー　エミ | 授業中に古いドイツ語を一緒にゆっくり訳していくため、予習が非常に重要。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 解説しながら、ゆっくりと進む。 | | |
| 4 | 10/11 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 2 つ目の短い童話が読み終わったら、3 つ目の短い童話を訳し始める。できれば 3 つ目の童話を訳し終えることが目標だが、3 つ目の途中で終わるかもしれない。 | シンチンガーエミ | わからないところは質問し、読み、訳し終わったところは、家に帰ってちゃんとした訳として清書してから提出する。 |
| 5 | 10/25 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 前回訳した個所の問題点を話し合った後、3 つ目の童話が終わっていれば 4 つ目の童話を読み、訳し始める。5 つ目までは、短く、ドイツ語もあまり難しすぎない童話を教員が選んである。 | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;わからないところは質問する。次にどの童話を読みたいか考えてくる。 |
| 6 | 10/25 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | なるべく学生の希望で読む童話を決めたい。中程度の長さでストーリー性もあり、あまりドイツ語が難しすぎない童話を、8 編選んであるが、その中から参加者に次に読む童話を選んでもらう。 | シンチンガーエミ | 読んで訳し終わった童話は、家に帰ってからちゃんとした訳として清書し、提出する。 |
| 7 | 11/8 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 前回訳した個所の問題点を話し合った後、5 つ目の童話が終わるまで読んで訳していく。その後、次に読むことになった長めの童話について、教員が解説をする。 | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;わからないところは質問する。 |
| 8 | 11/8 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 長めの本格的な童話を読み始める。ドイツ語もますます難しくなり、ストーリーが複雑になるほど理解が難しくなってくる。 | シンチンガーエミ | 読んだところまで、家でちゃんとした訳に仕上げ、清書して提出する。 |
| 9 | 11/22 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | おそらく 4 回ほどで中程度の童話を 1 編読んで訳し終えることを目指す。 毎回教員が必要な解説を入れていく。 | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;わからないところは質問する。 |
| 10 | 11/22 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 長めの一つ目の童話を読んで訳していく。毎回解説、説明を行う。 | シンチンガーエミ | 読んだところまで家でちゃんとした訳に仕上げ、清書して提出する。 |
| 11 | 12/13 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 長めの一つ目の童話を読み終えることが目標。 | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;わからないところは質問する。 |
| 12 | 12/13 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 次に読む長めの童話について、教員から詳しい解説、説明をしてから読み始める。 | シンチンガーエミ | 読み終わったところまで家でちゃんとした訳に仕上げ、清書して提出する。 |
| 13 | 1/10 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | あと 4 回で二つ目に選んだ長めの童話を、読み、訳し終えることを目指す。前回訳した個所の問題点について話し合った後、訳し始め | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;わからないところは質問する。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | る。 | | |
| 14 | 1/10 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 説明、解説を入れながら読み進める。 | シンチンガーエミ | 読み終わったところまで家でちゃんとした訳に仕上げ、清書して提出する。 |
| 15 | 1/24 | 14:50-16:20 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 説明、解説を入れながら訳していく。 | シンチンガーエミ | 辞書は必携;予習重要;最終回なので、わからないところはしっかり質問する。 |
| 16 | 1/24 | 16:30-18:00 | 11 番教室 | R・グリム童話を読む | 2 つ目の大きな童話を訳し終わったら、まとめとして今まで読んだ童話について話し合う。 | シンチンガーエミ | 訳し終わった童話を、家で訳しなおし、清書して提出すればこの授業は終わる。 |

**授業方法**

初回にはオリエンテーションとして、教員がグリム童話についての講義をします。その後プリントを配布、どの童話を読むかを相談し、どの参加者が、いつ、どの童話について発表するかも相談します。2 回目以降:予習してきてもらって、童話を原文で読んで、訳していきます。難しい箇所についてはみんなで考えます。3 回目以降:それぞれの童話について、担当者に作者と童話の時代背景などについて短い発表をしてもらってから、全員で読んでみて、内容、解釈等について話し合います。

**授業内容**

予定しているのは、多数のあまり知られていない短い童話と、赤ずきん、ブレーメンの音楽隊、カエルの王様、ラプンツェル、金のガチョウなどの有名な童話です。参加者の希望で読む童話を決めたいと思います。

**成績評価の方法**

予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。
授業中に行った発表と、その内容をまとめて提出してもらうレポートが 50 パーセント。

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。
毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。
1 年前期に習った文法事項では全く足りないので、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきますが、1 年の教科書のドイツ語とは格段に違う難しいドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。
受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。

**試験の受験資格**

原則 3 分の 2 以上出席

**教科書**

初回にプリントを配布します。

**参考書**

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきました。
電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、
もし電子辞書をこれから購入するのであれば、
そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、
カシオ　Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

**履修上の注意事項**

原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。　毎回予習が必要です。

**連絡先**

schinzinger.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

| 時間割番号 | 000339 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・彫刻(塑造) | | | | |
| 担当教員 | 高見 直宏 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:水曜・4～5限

募集人数:14 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1―5、1―6、1―7

**主な講義場所**

13 番教室

**授業の目的、概要等**

水粘土を使用し、塑造による頭像制作を行う実技演習授業。

**授業の到達目標**

素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/27 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 2 | 9/27 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 3 | 10/4 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 4 | 10/4 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 5 | 10/11 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 6 | 10/11 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 7 | 10/18 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 8 | 10/18 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 9 | 10/25 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 10 | 10/25 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 11 | 11/1 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 12 | 11/1 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 13 | 11/8 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 14 | 11/8 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 15 | 11/15 | 14:50-16:20 | 13 番教室 | 高見 直宏 |
| 16 | 11/15 | 16:30-18:00 | 13 番教室 | 高見 直宏 |

**授業方法**

全 16 回の授業は全て実技実習。

**授業内容**

第 1、2 回 彫刻についての講義 /第 3、4 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)/第 5、6 回心棒についての講義と塑造制作(モデル)/第 7、8 回 粘土についての講義と塑造制作(モデル)/第 9、10 回 塑造制作(モデル)/第 11、12 回 塑造制作(モデル)/第 13、14 回 塑造制作(モデル)/第 15、16 回 作品の講評会

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 04% ・ その他(実習作品、出席点)100%

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

料理・メイク・DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。

**履修上の注意事項**

出席重視 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる

**備考**

準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

| 時間割番号 | 000855 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・Essentials of Medical Language | | | | |
| 担当教員 | Dennisson Jeanette | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

This course is an introduction to medical terminology in English. As a medical professional, you will need to know technical medical vocabulary presented in textbooks and literature. You will also need to understand how to use non-technical vocabulary that you use with non-medical professionals, such as patients. In this class, you will build
technical medical language to describe systems of the body. You will also practice how to communicate with patients in English using non-technical language.

**授業の目的、概要等**

The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.

Goals

1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms

2) Identify and "translate" medical language into lay term (non-technical) language

3) Apply medical and lay terminology in written and oral formats.

**授業の到達目標**

By the end of this course, you will be able to:

1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)

2) Describe medical language used for each body system

3) Create own English conversation with a patient using non-technical language

4) Present to students on topics about one anatomical system

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 9/27 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Intro to medical language | ML Ch 1 BM Ch 1 | Dennisson Jeanette |
| 3-4 | 10/11 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Whole body (systemic) | ML Ch 2 BM Ch 2 | Dennisson Jeanette |
| 5-6 | 10/25 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Cardiovascular system | ML Ch 6 BM Ch 5 | Dennisson Jeanette |
| 7-8 | 11/8 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Respiratory system | ML Ch 8 BM Ch 6, 7 | Dennisson Jeanette |
| 9-10 | 11/22 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Digestive system | ML Ch 9 BM Ch 13, 14 | Dennisson Jeanette |
| 11-12 | 12/13 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Integumentary system | ML Ch 3 BM Ch 12 | Dennisson Jeanette |
| 13-14 | 1/10 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Student lecture | Student chapter | Dennisson Jeanette |
| 15-16 | 1/24 | 14:50-18:00 | 3番教室 | Final examination | All chapters covered | Dennisson Jeanette |

**授業方法**

Students will work in groups to complete tasks in class. They will also be responsible to lecture on a body systerm of interest in this class.

For each unit, there will be the following two components.

1) Tasks related to vocabulary building for each body system

2) Patient conversation practice related to complaints/disease of each body system

**授業内容**

The 6 units covered in this course are organised by body system:

1) Whole body (skin)

2) Digestive system (from mouth to rectum)
3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood)
4) Respiratory system (nose, lungs)
5) Integumentary system (skin)

For each system, medical language related will be introduced, including body parts, diseases and medical procedures. You will be tested on the content of these units through in class activities, weekly quizzes and conversation performance in class.

In addition to these 6 units, there will be one student project. You will decide on one body system topic to investigate. You will 1) create a vocabulary list of medical language related to this topic and 2) a patient conversation related to a problem/disease/complaint related to the topic. You will present you vocabulary to classmates and perform the conversations in class.

**成績評価の方法**

Attendance: 15%
Class participation: 15%
Online activities: 20%
Student project: 25%
Examination 25%

Attendance: Rated on 3-point scale: 3 = On time; 2 = 10 minutes late; 1 = 20 minutes late. Students 20 minutes late for class will be considered absent but may be considered for participation points.

Class participation: Rated on 4-point scale: 4 = very active, good group work; 3 = active, shares with group; 2 = limited activity, unprepared, does not share with group; 1: No activity

Online activities: TWO online activities may be dropped from your total evaluation. In-class activities have strict deadlines (same day submission). Outside class activities have flexible deadlines (by the end of the final examination).

Group projects: There are two group projects. The group may be 2 or 3 members. As a group, you must select your own topic to investigate. All members will be evaluated the same based on the group's performance. A final survey will be given to evaluate the level of participation of each group member to ensure fairness.

**成績評価の基準**

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」

**準備学習などについての具体的な指示**

Before Class:
Reading the selected parts of the textbook before each class is recommended. Copies of parts of the textbook will be provided on the course website.

In Class:
Your opinion, ideas and perspective are greatly encouraged in class activities. As part of the class, you will be role playing patient conversations. Therefore, you will have a chance to practice pronunciation and intonation. For example, you must sound sick if you are the patient and you must sound sympathetic if you are the medical professional.
Some tasks in class may require online submission. You must submit these tasks within the class or immediately following the class to receive credit.

Vocabulary List:
Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged. Sharing your list with classmates is also helpful. The course website provides a great environment to share your list. You may be tested on the vocabulary chosen by the teacher and your peers.
A good vocabulary list includes more than the definition in Japanese or in English. A good vocabulary list includes your definition of the word (using your own words not the dictionary's) and a sample sentence of how the word is used. Many words have different meanings. Only

introduce the meaning that you found in the text (not all possible meanings). When creating meanings and sentences, think about your classmates who will read it. Will they understand how to use the word without looking it up themselves?

Online Course Website:
Regular access to the online course website will be required in and outside of class. In-class activities should be submitted on the course website.
You will have to share your project materials and review the project materials of other groups on the course website.

**試験の受験資格**

Any English level is welcome.

**教科書**

Main textbook:
Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)

**Note: Purchase of this textbook is NOT required. Chapters used in class will be available by the instructor. However, this textbook is a very good reference for medical professionals and I recommend buying it!

Link for Amazon JP: http://www.amazon.co.jp/Essentials-Medical-Language-Karen-Lockyer-ebook/dp/B00WZ0SUFA/ref=sr_1_1?ie=UTF8&qid=1455503929&sr=8-1&keywords=essentials+of+medical+language

Link for Amazon USA (rent): http://www.amazon.com/Essentials-Medical-Language-Karen-Lockyer-ebook/dp/B00WZ0SUFA/ref=mt_kindle?_encoding=UTF8&me=

**参考書**

Supplemental materials will be provided on the course website.

**履修上の注意事項**

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

**参照ホームページ**

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.
You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

**連絡先**

dennisson.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

| 時間割番号 | 000816 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・Discussions on Human Behavior | | | | |
| 担当教員 | フォス　パトリック | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間：金曜1限

・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学

・募集人数：12名

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表3－5）

別表4－5）

**授業の目的、概要等**

Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest?

This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book "Predictably Irrational" by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students' understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.

**授業の到達目標**

By the end of this course, students will be able to:

1. Better understand why people make certain types of decisions

2. Make better personal decisions

3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パトリック |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス　パト |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | リック |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス パトリック |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス パトリック |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス パトリック |
| 14 | 1/19 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス パトリック |
| 15 | 1/26 | 09:10-10:40 | 12番教室 | フォス パトリック |

**授業方法**

Discussion

Presentation

Skills Instruction and Practice

**授業内容**

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Individual reports and group discussions

Week 15: Final assignment

Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed. The final assignment will be an in-class writing task concerning one or more of the course themes. There will be no quizzes or tests.

**成績評価の方法**

評価: class presentations 30% attendance/participation 30% response papers 20% final assignment 20%

再評価:無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

**試験の受験資格**

There is no official final examination for this course.

**教科書**

Predictably Irrational／Ariely, Dan:Harper, 2010

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

foss.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

| 時間割番号 | 000323 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・一般化学演習 | | | | |
| 担当教員 | 奈良 雅之 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:金曜1時限

・対象学科:医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻

・募集人数 40名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

**授業の目的、概要等**

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学(主にPart1 とPart2 の分野)の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。

**授業の到達目標**

「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 14 | 1/19 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |
| 15 | 1/26 | 09:10-10:40 | 2番教室 | 奈良 雅之 |

**授業方法**

学生参加型の発表形式で授業が進行します。

**授業内容**

第1・2回 序論:単位、気体の測定、気体の分子量

第3・4回 電離平衡(酸・塩基)

第5・6回 電離平衡 (錯体と沈殿)

第7・8回 化学熱力学分野

第9・10回 化学熱力学分野

第11・12回 原子の構造

第13・14回 分子の構造

第15回 総合演習

**成績評価の方法**

評価:試験(期末考査)30%・レポート20%

その他50%（授業中の発表、貢献度）

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習：指定された問題をノートに解いておく。

復習：授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

**試験の受験資格**

定期試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

**教科書**

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳：オーム社, 1995

**参考書**

フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫　共著,：三共出版, 2013

**他科目との関連**

一般化学 M・D Part1, part2 の理解ができなかった方にもお勧めします。

**連絡先**

nara.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000338 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | R・符号理論 | | | | |
| 担当教員 | 清田 正夫 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時限:金曜日 1 時限

対象学科:

受講資格:

募集人数:10人以下

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2−1), 2−4)

**授業の目的、概要等**

講義またはゼミ形式で符号理論を初歩から学ぶ。

符号理論は、数字に変換された情報の信頼できる伝達という実用上の問題から発生した。

ここでは代数的符号理論の基礎を代数系(群、環、体)の応用として学ぶ。

**授業の到達目標**

誤り訂正符号の原理、および各種の有名な符号の構成法を理解することができる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 2 | 10/6 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 3 | 10/13 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 4 | 10/20 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 5 | 10/27 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 6 | 11/10 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 7 | 11/17 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 8 | 11/24 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 9 | 12/1 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 10 | 12/8 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 11 | 12/15 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 12 | 12/22 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 13 | 1/12 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 14 | 1/19 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |
| 15 | 1/26 | 09:10−10:40 | 5 番教室 | 清田 正夫 |

**授業方法**

講義またはゼミ形式で行なう。

発表する学生は、前もってレジュメを作成する。

**授業内容**

第1−2回　符号化概論と代数学からの準備

第3−4回　誤り訂正符号と線形符号

第5−6回　双対符号と MacWilliams の定理

第7−8回　完全符号と Hamming 符号

第9−10回　巡回符号と有限体

第11−12回　QR符号とBCH符号

第13−15回　Golay 符号と有限群

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100%

出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。

再評価: 無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

**備考**

受講に際し、数学的予備知識は不要である。

**連絡先**

kiyota.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜日、木曜日　12:00～13:00　ヒポクラテス4階数学研究室（清田）

| 時間割番号 | 000833 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・Basic Concepts in Physics | | | | |
| 担当教員 | 檜枝 光憲 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間：金曜1限

対象学科：医学科、歯学科、検査技術学

（英語で物理を学ぶ意欲のある人）

募集人数：10人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表3－1）別表4－2）

**授業の目的、概要等**

English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.

**授業の到達目標**

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Classical mechanics | 檜枝 光憲 |
| 2 | 10/6 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Classical mechanics | 檜枝 光憲 |
| 3 | 10/13 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Classical mechanics | 檜枝 光憲 |
| 4 | 10/20 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Classical mechanics | 檜枝 光憲 |
| 5 | 10/27 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Thermodynamics | 檜枝 光憲 |
| 6 | 11/10 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Thermodynamics | 檜枝 光憲 |
| 7 | 11/17 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Thermodynamics | 檜枝 光憲 |
| 8 | 11/24 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Thermodynamics | 檜枝 光憲 |
| 9 | 12/1 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Electrodynamics | 檜枝 光憲 |
| 10 | 12/8 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Electrodynamics | 檜枝 光憲 |
| 11 | 12/15 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Electrodynamics | 檜枝 光憲 |
| 12 | 12/22 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Electrodynamics | 檜枝 光憲 |
| 13 | 1/12 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Student presentation | 檜枝 光憲 |
| 14 | 1/19 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Student presentation | 檜枝 光憲 |
| 15 | 1/26 | 09:10-10:40 | 4番教室 | Student presentation | 檜枝 光憲 |

**授業方法**

Lecture

Presentation

Practice

**授業内容**

Classical mechanics

Introductory thermodynamics

Sound and hearing

Introductory electrodynamics

**成績評価の方法**

attendance/participation 30%

class assignments/quizzes 40%

presentation 30%

再評価：無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

Attendance and participation are both essential.

Check all unknown English words and read through the text book before the class.

**参考書**

University Physics with Modern Physics Technology Update / Hugh D. Young and Roger A. Freedman: Pearson Education Limited, 2013

**履修上の注意事項**

出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させます。

**連絡先**

hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月曜　11:00～13:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000341 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・中国語中級 | | | | |
| 担当教員 | 家永 真幸 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間:金曜2限

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4

**授業の目的、概要等**

本学 1 年生の中国語履修者のうち、さらにもう 1 コマ中国語を勉強したいという学生を対象とした授業です。半年から 1 年程度の学習歴があれば、本学の中国語を選択していない学生も歓迎します(それ以上の中国語能力のある者にとっては、退屈かもしれないので特に履修を勧めません)。

**授業の到達目標**

会話と読解を中心に、初級中国語で学んだ事項を運用する能力を高める。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 3 番教室 | 家永 真幸 |

**授業方法**

会話と読解の練習を中心に行います。1 回の授業で教科書 1 章分のペースで、新出単語の意味の確認、グループに分かれた会話練習、長めの文章の和訳に取り組みます。

**授業内容**

数字や挨拶などから始まり、道案内、色、人名・地名などのテーマに進みます。

**成績評価の方法**

評価:期末試験70%・その他(平常点)30%

再評価:有

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

新出単語の意味を事前に調べておく等、一定の予習を求めます。詳細は授業内で指示します。

**試験の受験資格**

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

**教科書**

ハピネス中国語/相原茂:朝日出版社, 2010

**参考書**

Why?にこたえるはじめての中国語の文法書/相原茂ほか:同学社, 1996

やさしくくわしい中国語文法の基礎/守屋宏則:東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法/瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中国語の構文／王亜新 著,:アルク, 2011

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

**他科目との関連**

中国語 a/b を履修済みの学生を想定した授業です。

**連絡先**

ienaga.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週月・水曜日　PM.12:20–PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室

| 時間割番号 | 000815 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | S・翻訳演習 | | | | |
| 担当教員 | 畔柳 和代 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間:金曜2限

・対象学科:医学科 歯学科 保健衛生学科 口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1－1)

別表3－4)

**授業の目的、概要等**

目的:互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。

概要:英文を日本語に訳す課題(授業内課題を含めて 10 回ほど)を通して、翻訳について考えます。受講者は訳文をつくり、提出することになります。

**授業の到達目標**

1)精読。

2)文脈の理解につとめる。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/29 | 10:50-12:20 | 4番教室 | イントロダクション | 課題1配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 2 | 10/6 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Non-fiction (1) ノンフィクション | 課題1の訳文を検討する。 課題2配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 3 | 10/13 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Non-fiction (2) | 課題2の訳文を検討する。 課題3配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 4 | 10/20 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Non-fiction (3) | 課題3の訳文を検討する。 課題4配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 5 | 10/27 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Beginnings (1) 小説の出だし | 課題4の訳文を検討する。 課題5の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 6 | 11/10 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Beginnings (2) | 課題5についてディスカッション。課題5の訳文を修正し、提出する。 | 畔柳 和代 |
| 7 | 11/17 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Beginnings (3) | 課題5の訳文を検討する。 課題6の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 8 | 11/24 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Short stories (1) 短編小説 | 課題6の訳文を検討する。 課題7の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 9 | 12/1 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Short stories (2) | 課題7の訳文を検討する。 課題8の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 10 | 12/8 | 10:50-12:20 | 4番教室 | Short stories (3) | 課題8の訳文を検討する。 特別課題の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 11 | 12/15 | 10:50-12:20 | 4番教室 | 発表 | 第10回までに授業で決めた課題について、短い発表を行う。 課題9の配布と紹介。 | 畔柳 和代 |
| 12 | 12/22 | 10:50-12:20 | 4番教室 | 名翻訳について | 日本文学の英訳例を見る。 | 畔柳 和代 |
| 13 | 1/12 | 10:50-12:20 | 4番教室 | ニュースの中の翻訳(1) | 課題9の訳文を検討する。課題10の配布と紹介 | 畔柳 和代 |
| 14 | 1/19 | 10:50-12:20 | 4番教室 | ニュースの中の翻訳(2) | 課題10の訳文を修正し、提出する。 | 畔柳 和代 |
| 15 | 1/26 | 10:50-12:20 | 4番教室 | まとめ | 課題10の訳文を検討する。 | 畔柳 和代 |

**授業方法**

授業では互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等を読みます。

数回の講義も含みます。

課題の訳文は、フィクションとノンフィクション、両方です。

**授業内容**

第 1 回　イントロダクション

第 2 回～第 14 回　訳文について意見交換 （講義数回を含む）

　　受講者から事前に提出された訳文を検討する。

第 15 回　まとめ

**成績評価の方法**

評価:　課題(提出状況と内容のふたつで評価):50%、参加度:50%、

再評価:　なし

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

わからなかったら、辞書を引く。調べる。考える。

※空白だらけの訳文を提出してはいけません。最後まで訳してください。

**参考書**

イエスの言葉 : ケセン語訳／山浦玄嗣 著,:文藝春秋, 2011

翻訳に遊ぶ／木村榮一 著,:岩波書店, 2012

さあ、見張りを立てよ／ハーパー・リー 著,上岡伸雄 訳:早川書房, 2016

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

**参照ホームページ**

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

**連絡先**

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

| 時間割番号 | 000297 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 教養総合講座 | | | | |
| 担当教員 | 服部 淳彦, 家永 真幸, フォス パトリック, 土佐 朋子, 中口 悦史, 高尾 千津子, 清田 正夫, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 伊藤 正則, 畔柳 和代, 中島 ひかる, 水野 哲也, 田中 智彦, 徳永 伸一, 越野 和樹, Dennisson Jeanette , 猪熊 恵子, シンチンガー エミ, 勝又 敏行, 松本 幸久, 今村 圭介, 澤野 頼子 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

・曜日・時間: 火曜日3・4限

・対象学科・専攻: 全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。

**授業の目的、概要等**

(1)人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。

(2)すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。

(3)学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。

**授業の到達目標**

大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 5/16 | 14:50-18:00 | 鈴木章夫記念講堂 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 3 | 5/23 | 13:10-14:40 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | が担当する。 |
| 4 | 5/23 | 14:50-16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 5 | 5/30 | 13:10-14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 6 | 5/30 | 14:50-16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 7 | 6/6 | 13:10-14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 8 | 6/6 | 14:50-16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 9 | 6/13 | 13:10-14:40 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 10 | 6/13 | 14:50-16:20 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 11 | 6/20 | 13:10–14:40 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 12 | 6/20 | 14:50–16:20 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 6/27 | 13:10–14:40 | 1番教室,<br>計算機実<br>習室 | 田中 智彦,<br>土佐 朋子,<br>髙尾 千津子,<br>水野 哲也,<br>徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>清田 正夫,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之,<br>服部 淳彦,<br>伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 | |
| 14 | 6/27 | 14:50–16:20 | 1番教室,<br>計算機実<br>習室 | 田中 智彦,<br>土佐 朋子,<br>髙尾 千津子,<br>水野 哲也,<br>徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>清田 正夫,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲,<br>澤野 頼子,<br>奈良 雅之,<br>服部 淳彦,<br>伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 | |
| 15 | 7/4 | 13:10–14:40 | 1番教室,<br>計算機実<br>習室 | 田中 智彦,<br>土佐 朋子,<br>髙尾 千津子,<br>水野 哲也,<br>徳永 伸一,<br>中口 悦史,<br>清田 正夫,<br>越野 和樹,<br>檜枝 光憲, | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 16 | 7/4 | 14:50–16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 17 | 7/11 | 13:10–14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シン | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)、今村圭介(日本語・助教)が担当する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | チンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 18 | 7/11 | 14:50–16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)、今村圭介(日本語・助教)が担当する。 |
| 19 | 7/18 | 13:10–14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)、今村圭介(日本語・助教)が担当する。 |
| 20 | 7/18 | 14:50–16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 教)、今村圭介(日本語・助教)が担当する。 |
| 21 | 7/25 | 13:10-14:40 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |
| 22 | 7/25 | 14:50-16:20 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵 | 基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 23 | 9/15 | 13:10–14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 全体発表会予行演習 |
| 24 | 9/15 | 14:50–16:20 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 全体発表会予行演習 |
| 25 | 9/22 | 13:10–14:40 | 1 番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, | 全体発表会 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | |
| 26 | 9/22 | 14:50-16:20 | 1番教室, 計算機実習室 | 田中 智彦, 土佐 朋子, 髙尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, フォス パトリック, 猪熊 恵子, Dennisson Jeanette , 畔柳 和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸 | 全体発表会 |

**授業方法**

講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。

教養部ガイダンスや第1回目の日(5 月 16 日)に、詳細な説明を行う。

**授業内容**

本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を7ー8名程度のグループに分けて、並行して進められる。

(1)基礎ゼミでは、指定された課題図書と、初回の基調講演を参考にして、班ごとに、大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。2グループに1名ずつ、教養部教員がチュータとして参加する。

(2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。

(3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。

「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。

5 月 16 日　外部講師による基調講演、ガイダンス
6 月 27 日　中間報告会
7 月 4 日　 中間報告会反省会(ワークシート作成)
7 月 11 日　英語インタビュー
9 月 15 日　最終発表会前リハーサル
9 月 22 日　最終発表会

**成績評価の方法**

評価:その他　100%
基礎ゼミ(50%)、文章表現リテラシー(25%)、情報活用リテラシー(25%)
出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。
なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。
再評価:　無

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

**準備学習などについての具体的な指示**

「文章表現リテラシーの課題図書」は第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

**教科書**

＜文章表現リテラシー指定教科書＞
尾関周二、環境思想・教育研究会編『「環境を守る」とはどういうことか―環境思想
入門』岩波ブックレット、2016 年。
※第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

**参考書**

レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで／江下雅之:中央公論新社, 2003 年
悪文　伝わる文章の作法／岩淵悦太郎:角川ソフィア文庫, 2016 年
レポートの組み立て方／木下是雄:ちくま学芸文庫, 1994 年
日本語の思考法／木下是雄:中公文庫, 2009 年
はじめてのエシカル／末吉里花:山川出版社, 2016 年
(注意)
上記、江下雅之『レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003 年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。

末吉里花『はじめてのエシカル』は、基調講演者推薦図書です。講演前後に通読することを強く勧めます。

**連絡先**

服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
水野　哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
清田　正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp
中島　ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
シンチンガー　エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
田中　智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
土佐　朋子:tosa.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

フォス　パトリック:foss.las@tmd.ac.jp
猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
家永　真幸:ienaga.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
今村　圭介:imamura.las@tmd.ac.jp
髙尾　千津子:takao.las@tmd.ac.jp
Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

**オフィスアワー**

服部　淳彦:毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室(A2)
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
水野　哲也:毎週金曜日　AM. 11:00　～　12:30　管理研究棟　2 階
清田　正夫:毎週月曜日、木曜日　12:00～13:00　ヒポクラテス4階数学研究室(清田)
中島　ひかる:毎週月曜　16:30～18:00　教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室
シンチンガー　エミ:毎週月曜日 16:30 – 18:00　管理研究棟 3 階研究室
徳永　伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)
＊計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。
奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室
田中　智彦:毎週月曜日　12:30～13:30　管理研究棟 2 階　哲学研究室
勝又　敏行:毎週木曜日　12:00-13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
土佐　朋子:毎週水曜　PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
フォス　パトリック:毎週水曜日　PM.12:30-PM.1:10
毎週木曜日　PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟　3階　フォス研究室
猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時
木曜日　12時30分～13時20分
管理研究棟　3階　猪熊研究室
家永　真幸:毎週月・水曜日　PM.12:20-PM13:10　管理研究棟 3 階 309 室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
中口　悦史:月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける
越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00　ヒポクラテス 4 階
今村　圭介:毎週水曜日　AM.10:00-PM.1:00
髙尾　千津子:高尾千津子
毎週月曜日　PM12:30-PM1:30
管理研究棟2階
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日　PM.12:30-13:00　管理研究棟3階
檜枝　光憲:毎週月曜　11:00～13:00　ヒポクラテス 4 階

| 時間割番号 | 000298 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学概論(倫理学) | | | | |
| 担当教員 | 藤井 達夫 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間: 火曜 1限

対象学科:保健衛生学科看護学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2) 1-9)

**授業の目的、概要等**

この授業では、倫理学の基礎的な理解から出発します。その上で、自己決定権という概念とインフォームドコンセントという実践を基盤にした生命倫理の内容と歴史を概観し、その現代的な課題について検討します。この検討のために、19 世紀に誕生した優生思想と、医療テクノロジーの発展によって普及しはじめた 21 世紀の新しい優生思想に焦点を当てます。また、今年度も、ケアについて、看護学ではなく倫理学の視点から議論する予定です。

**授業の到達目標**

到達目標は次の 3 点です。第 1 に、倫理学説の基礎的な理解を習得すること。第 2 に、日常的な倫理観を相対化する視点を獲得すること。第 3 に、現代の生命倫理が抱える課題に対する理解を深めること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/26 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 2 | 10/3 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 3 | 10/10 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 4 | 10/17 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 5 | 10/24 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 6 | 10/31 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 7 | 11/7 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |
| 8 | 11/14 | 08:50-10:20 | 保健衛生学科講義室1 | 藤井 達夫 |

**授業方法**

この授業は、講義形式で行われます。

**授業内容**

第 1 回 倫理学の基礎について

第 2 回 生命倫理とは何か？‥‥インフォームド・コンセントとその限界

第 3 回 優生思想と医療①‥‥西洋のケース

第 4 回 優生思想と医療②‥‥日本のケース

第 5 回 新しい優生思想の登場とその倫理的問題

第 6 回 医療テクノロジーの発展に伴う生命倫理の新たな課題

第7回 ケアリングとケアの倫理
第8回 まとめ

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 90% ・ その他(授業での取り組み )10%
再評価: 有(再評価方法) レポートの再提出

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

必要があれば、授業内で指示をします。

**教科書**

教科書は使用しません。スライドを使って授業を行います。

**参考書**

授業内で随時、紹介していきます。

**履修上の注意事項**

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

| 時間割番号 | 000299 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学概論(法学) | | | | |
| 担当教員 | 船橋　亜希子 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 |

曜日・時間: 火曜2限

受講資格: 保健衛生学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-9) 市民としての倫理観を養う

**主な講義場所**

3 号館 18 階保健衛生学講義室 1

**授業の目的、概要等**

現代医療の抱える問題を法的に考えるために必要な知識と思考方法を習得すること。

**授業の到達目標**

医療と法の問題について自ら考えるための基礎的な知識と、憲法・民法・刑法を中心とした法的思考方法を身につけることを目標とします。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/26 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 2 | 10/3 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 3 | 10/10 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 4 | 10/17 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 5 | 10/24 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 6 | 10/31 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 7 | 11/7 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |
| 8 | 11/14 | 10:30-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 船橋　亜希子 |

**授業方法**

授業は講義形式で行います。

**授業内容**

第 1,2 回　法とはなにか

第 3 回　医療従事者と法

第 4 回　インフォームド・コンセント

第 5,6 回　医療事故と医療過誤

**成績評価の方法**

評価：定期末の試験又はレポート 80%、その他 20%（出席状況、コメントシートへの回答など）

再評価：有（試験又はレポート）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習も歓迎するが、復習を優先的に行うこと。

「医療と法」に関心を持ち、ニュース等もフォローしておくこと。

**試験の受験資格**

講義に3分の2以上の出席をした者。

**参考書**

手嶋豊『医事法入門』（有斐閣、第 4 版、2015）

そのほか適宜授業内で紹介します。

**履修上の注意事項**

出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

| 時間割番号 | 000293 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学セミナーⅠ（法学） | | |
| 担当教員 | 中田 はる佳 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：火曜 1－2限

対象学科：保健衛生学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する、1－9)市民としての倫理観を養う

**授業の目的、概要等**

医療技術が発展していく中で、それに合わせて法や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この講義では、医療と法の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、新聞や映像などの資料をもとに自分の考えをまとめてもらいます。

**授業の到達目標**

医療と法の接点を知り、法の役割を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 11/21 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田 はる佳 |
| 3-4 | 11/28 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田 はる佳 |
| 5-6 | 12/5 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田 はる佳 |
| 7-8 | 12/12 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田 はる佳 |

**授業方法**

講義の中でグループワークを行います。

**授業内容**

第1回：子どもの権利、親の権利

第2－3回：親子に関連する医療と法(臓器移植と関連技術)

第4回：親子に関連する医療と法(遺伝子治療、遺伝子検査)

**成績評価の方法**

評価 ： 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他( 出席 ) 30 %

再評価： 有(再評価方法：レポート)

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は不要です。講義内容に関連する新聞記事等を探して読み、自分の考えをまとめてください。

**教科書**

資料は講義中に配布します。

**履修上の注意事項**

出欠は出欠管理システムによります。講義中に小レポートを実施する場合があります。

| 時間割番号 | 000294 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学セミナーⅠ（倫理学） | | |
| 担当教員 | 藤井 達夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 火曜 1・2 限

対象学科:保健衛生学科看護学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 1-9)

**授業の目的、概要等**

このセミナーでは、ケアの問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』を履修生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、ケアについて考えることを目指します。履修生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会におけるケアの問題を倫理学の視点から検討したいと思います。

**授業の到達目標**

倫理学の視点から現代社会におけるケアの問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかり読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 11/21 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 3-4 | 11/28 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 5-6 | 12/5 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 7-8 | 12/12 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |

**授業方法**

この授業は、セミナー形式で行われます。履修生には、担当箇所のレジュメの作成とそれを用いたプレゼンテーションをしてもらいます。

**授業内容**

第1回・・・・ケアについて(ホスピスから考える)

第2回・・・・ケアについて(障害者問題から考える)

第3回～第8回・・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み)100%

再評価: 有(再評価方法)レポートの提出

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備

**教科書**

渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』(文春文庫、2013 年)

**参考書**

授業内で随時、紹介していきます。

**履修上の注意事項**

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

| 時間割番号 | 000295 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学セミナーⅡ（法学） | | |
| 担当教員 | 中田　はる佳 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間：火曜　1－2限

対象学科：保健衛生学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する、1－9)市民としての倫理観を養う

**授業の目的、概要等**

医療技術が発展していく中で、それに合わせて法や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この講義では、医療と法の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、新聞や映像などの資料をもとに自分の考えをまとめてもらいます。

**授業の到達目標**

医療と法の接点を知り、法の役割を理解する。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 12/19 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田　はる佳 |
| 3-4 | 1/9 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田　はる佳 |
| 5-6 | 1/16 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田　はる佳 |
| 7-8 | 1/23 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室1 | 中田　はる佳 |

**授業方法**

講義の中でグループワークを行います。

**授業内容**

第1回：尊厳死・安楽死とは

第2-3回：人の死が問題となる医療と法（尊厳死・安楽死の事例）

第4回：　人の死が問題となる医療と法（脳死と関連医療）

**成績評価の方法**

評価　：　試験　　%　・　レポート　70　%　・　その他（　出席　）　30　%

再評価：　有（再評価方法：レポート）

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

予習は不要です。講義内容に関連する新聞記事等を探して読み、自分の考えをまとめてください。

**教科書**

資料は講義中に配布します。

**履修上の注意事項**

出欠は出欠管理システムによります。講義中に小レポートを実施する場合があります。

| 時間割番号 | 000296 | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療人間学セミナーⅡ（倫理学） | | |
| 担当教員 | 藤井 達夫 | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 |

曜日・時間: 火曜 1・2 限

対象学科：保健衛生学科看護学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 1-9)

**授業の目的、概要等**

このセミナーでは、死の問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、山崎章郎『病院で死ぬということ』を履修生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、死の問題について考えることを目指します。履修生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会における死の問題を倫理学の視点から検討したいと思います。

**授業の到達目標**

倫理学の視点から現代社会における死の問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかり読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。

**授業計画**

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2 | 12/19 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 3-4 | 1/9 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 5-6 | 1/16 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |
| 7-8 | 1/23 | 08:50-12:00 | 保健衛生学科講義室2 | 藤井 達夫 |

**授業方法**

この授業は、セミナー形式で行われます。履修生には、担当箇所のレジュメの作成とそれを用いたプレゼンテーションをしてもらいます。

**授業内容**

第1回・・・・死生学について(西洋のケース)

第2回・・・・死生学について(日本のケース)

第3回～第8回・・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション

**成績評価の方法**

評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み)100%

再評価: 有(再評価方法)レポートの提出

**成績評価の基準**

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

**準備学習などについての具体的な指示**

テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備

**教科書**

山崎章郎『病院で死ぬということ』（文春文庫、1996 年）

**参考書**

授業内で随時、紹介していきます。

**履修上の注意事項**

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。